



PRIMOJET SOFT-XG

プロファイルエディタ操作手順書



はじめに ...P6

1 章 事前準備 ...P9

2 章 プロファイルの作成 ...P15

3 章 プロファイルの修正 ...P87

4 章 プロファイルの適用 ...P121

5 章 その他 ...P131

作成日時	2017/2/21
改訂日時	2017/2/21
対象バージョン	Ver. 5.7.3.830 Ver. 5.8.1.911~

掲載画面

- 本書の画面はおお客様の画面と多少異なる場合があります。
- 本書に掲載する Windows の画面は Windows7 を使用しています。

ご注意

- 本書は、お客様が Windows® の基本操作に習熟していることを前提にしています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら弊社までご連絡ください。
- PRIMOJET プリンタにご使用になるインクカートリッジは純正のものを、用紙は弊社用紙をお使いください。これら以外のものをご使用になった場合の悪影響などに関して一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

本手順書について

プロファイルエディタとは PRIMOJET SOFT-XG に同梱されているカラーマッチングを目的としたプロファイル作成用ソフトウェアです。

PRIMOJET SOFT-XG には弊社品質保証紙・推奨紙用の標準プロファイルがバンドルされていますが、新たに 8bit 用・1bit 用のデバイスリンクプロファイルを作成することが可能です。

使用できるチャートや測色器に制限があります。また、品質保証紙・推奨紙以外を使用した場合、用紙によってはキャリブレーションが収束しない、精度が出ない等が懸念されますのでご使用をお控えください。

表示アイコンについて



守って頂きたい重要事項について説明しています。製品の故障や誤操作を防ぎ、品質を維持するために必ずお読みください。



正しく安全にお使い頂くための注意事項について説明しています。必ずお読みください。



操作の上で参考になるポイントについて説明しています。

memo

操作の上で便利な情報について説明しています。



操作の上で参照すべきページを表しています。

はじめに

はじめにP6

1 章 / 事前準備

- 1-1 ターゲット印刷物（出力物）を用意する ...P10
- 1-2 測色器を準備する ...P12
- 1-3 キャリブレーションを更新する ...P14

2 章 / プロファイルの作成

- 2-1 連続階調プルーフ（8bit）用プロファイルを作成する ...P16
- 2-2 ドットプルーフ（1bit）用プロファイルを作成する ...P56

3 章 / プロファイルの修正

- 3-1 カーブ調整をする ...P88
- 3-2 部分調整をする ...P98
- 3-3 グラデーション全体の色調を補正する ...P108

4 章 / プロファイルの適用

- 4-1 新規プルーフスタンダードを作成するP122
- 4-2 ホットフォルダに適用するP128

5 章 / その他

- 5-1 目標値をエクスポート / インポートするP132
- 5-2 icc プロファイルをインポートするP136
- 5-3 各測色器の動作についてP142

はじめに

<ソフトウェアインストール階層の違い>

Ver.Up 機 64bit ワークステーション：「C:/Program Files(x86)/GMG/ColorProof05」

新設機 64bit ワークステーション：「C:/Users/Public/GMG/ColorProof」

※本書の階層表記は新設機です。

<プロファイルエディタで出来ること>

プロファイルエディタで連続階調プルーフ (8bit) 用プロファイルと網点プルーフ (1bit) 用プロファイルを作成することが出来ます。作成したプロファイルは PRIMOJET SOFT-XG でのみ使用可能な専用の拡張子を持つデバイスリンクプロファイルです。

<プロファイル作成の流れ>

以下の手順でプロファイルを作成します。

- ① ターゲット印刷物（出力物）の測色
- ② 8bit 用プロファイルの作成 → 微調整
- ③ 8bit 用プロファイルを 1bit 用プロファイルに変換
- ④ 1bit プロファイルの作成 → 微調整
- ⑤ 出力確認し終了

※最初から 1bit 用プロファイルを作成することは出来ません。8bit 用プロファイルを作成してから 1bit 用プロファイルに変換します。

<プロファイルの拡張子>

- ◆ 8bit 用プロファイル拡張子・・・mx4
- ◆ 1bit 用プロファイル拡張子・・・mx5

<色評価する光源> **重要**

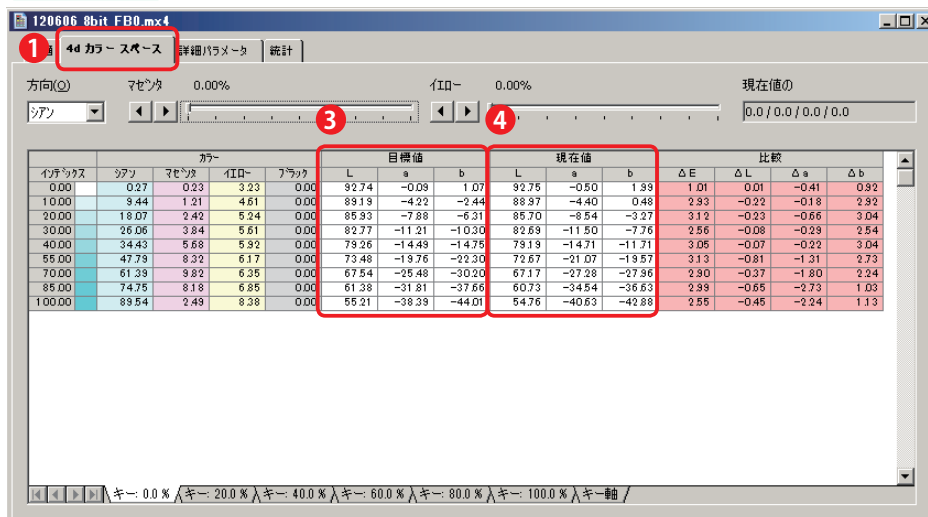
プロファイルの作成および評価は必ず適正な環境光下（色評価用光源）で行ってください。

<使用出来る用紙>

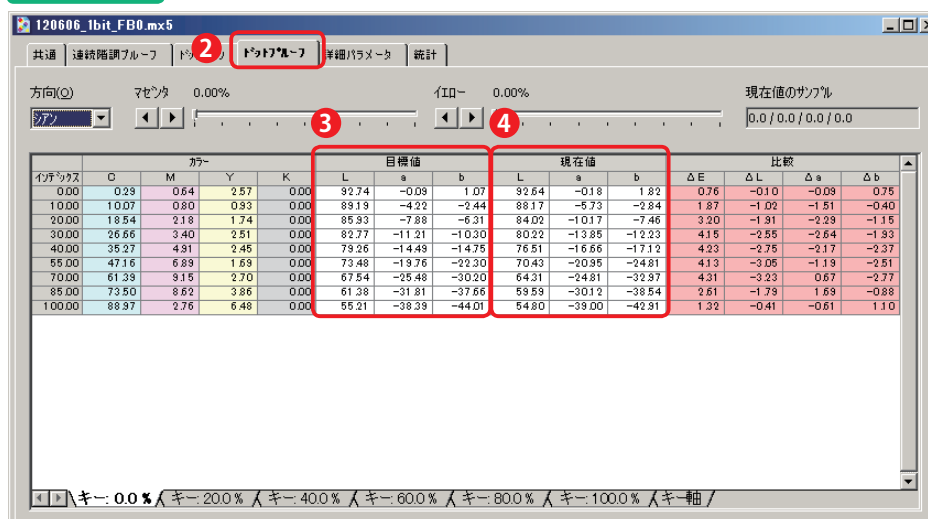
リアルプルーフ **G H R W MK O P**

< 8bit 用プロファイルと 1bit 用プロファイルについて >

拡張子：mx4 8bit 用プロファイル



拡張子：mx5 1bit 用プロファイル



- ① 「4d カラースペース」：8bit プロファイルを表示しています。
 - ② 「ドットプルーフ」：1bit プロファイルを表示しています。
 - ③ 「目標値」：ターゲット印刷物（出力物）を測色した値です。**不変の値**です。
 - ④ 「現在値」：プリンタ出力物を測色した値です。**可変の値**です。
- ※ mx5「連続階調プルーフ」タブは変換前のmx4「4d カラースペース」タブと同じです。
- ※ 「目標値」はターゲット印刷物（出力物）を測色した値なので絶対値であり不変です。「現在値」はプリンターから複数回出力する度、目標値に対して再計算をする為、値が変わっていきます。

1 章

事前準備

1-1 ターゲット印刷物（出力物）を用意する ...P10

1-2 測色器を用意する ...P12

1-3 キャリブレーションを更新する ...P14



ターゲット印刷物（出力物）を用意する



カラーマッチングの目標としたい印刷物（出力物）をご用意ください。
印刷物（出力物）は次ページのチャートを含めて印刷してください。

- 1 ターゲットとなるチャートを用意します。チャート部は折り目をつけしないでください。チャート種類については次ページをご参照ください。
- 2 印刷物（出力物）が用意出来たら、ガイド線に沿ってチャート部分をカットしておきます。ガイド線が無いチャートはパッチの3mm-5mm 外側でカットしてください。

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

4章

その他

5章

チャートデータ及び測色について

PRIMOJET SOFT-XG で使用可能なチャート

「**ECI2002 Random**」の TIF をご使用ください。

※各測色器にあわせた「ECI2002 Random」チャートが用意されています。

※同じ名前の PDF がありますが PDF は使わず TIFF を使ってください。

※チャートデータ以外に必要な評価画像を含めて印刷してください。

チャートデータ格納場所

- ◆ 64bit ワークステーション (Ver.Up 機) :
C:\Program Files(x86)\GMG\ColorProof05\ Testcharts
- ◆ 64bit ワークステーション (新設機) :
C:\Users\Public\GMG\ColorProof\ Testcharts

測色器ごとのチャート種類

■ X-Rite i1 iO / i1iO2 (アイワンアイオー / アイワンアイオー 2) をご使用の場合

- ・ GMG_ECI2002_random_i1iO.tif



■ X-Rite i1 iSis/i1 iSis2 (アイワンアイシス / アイワンアイシス 2) をご使用の場合

- ・ GMG_ECI2002_random_iSis.tif



測色テンプレート

測色器がチャートを測色する際、チャート種類を判別する為のテンプレートファイルです。P23 の 7番で選択する項目です。

■ X-Rite i1 iO / i1iO2 (アイワンアイオー / アイワンアイオー 2) をご使用の場合

GMG_ECI_2002_random_i1iO.tpl

■ X-Rite i1 iSis/i1 iSis2 (アイワンアイシス / アイワンアイシス 2) をご使用の場合

GMG_ECI_2002_random_iSis.tpl

■ 弊社提供チャートをご使用の場合

ECI2002_Random_V4_i1iO_2pages_p1.tpl . . . i1iO/i1iO2 使用

ECI2002_Random_V4_iSis_p1.tpl . . . i1iSis/i1 iSis2 使用

(※弊社提供チャートは配列が異なるだけで同じ ECI2002 ランダムチャートです)

1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

1章
2 測色器を準備する



以下の測色器をご使用頂けます。PRIMOJET SOFT-XG がインストールされたワークステーションと接続してください。

本システムでは以下の測色器をご使用頂けます。

■ X-Rite i1 iO / i1iO2

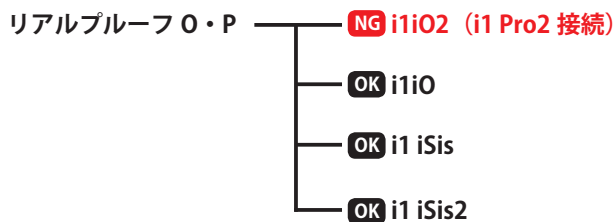


■ X-Rite i1 iSis / i1 iSis2



注意

※リアルプルーフ O、P は i1iO2 (i1 Pro2 接続) でご使用になれません。リアルプルーフ O、P では i1iO、i1 iSis もしくは i1 iSis2 をご使用ください。



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

注意



i1i0・i1i02 をご使用の場合、作業前に測色対象物の紙厚に合わせてアームの高さ調整が必要な場合があります。ターゲット印刷物（出力物）に厚みがある場合などご注意ください。正しく高さ調整を行っていないと測色ヘッドと測色物が衝突して双方を傷めてしまう可能性があります。ターゲット測色後はプリンタの出力用紙に合わせて高さを戻してください。

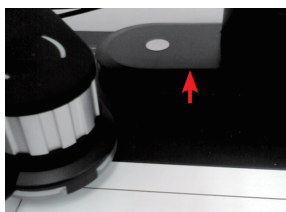
厚みのある測色対象物に対し測色ヘッドの高さが適正でないと、衝突したり、光が漏れて正しく測色出来ないなどの不具合が発生します。

高さ調整方法

- 1) 高さ調節つまみを時計回り方向に回します。



- 2) 白色パッチがついたプレートごと測色器が上に上がりますので、隙間に測色物を挿し込みます。次に高さ調節つまみを反時計回り方向に回し下げてください。測色ヘッドが測色物に触れない状態で極力近づけてください。



プレートごと測色器が上に上がる



測色物を隙間に挿入し、つまみを反時計方向に回してプレートを下げる。

LED インジケータについて

- ◆ランプがついていない 帯電マットはオフ状態です。
- ◆**緑色**ランプが点灯 帯電マットはオン状態です。
- ◆**赤色**ランプが点滅 グライダーリングの交換時期です。



※グライダーリングの交換については、i1i0/i1i02 付属の説明書をお読みください。

1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

1章
3

キャリブレーションを更新する

HOW TO



プロファイルを作成する前に、必ず用紙のキャリブレーションを更新してください。

前回キャリブレーションから日数が経過した状態でプロファイルを作成すると、次回キャリブレーションを更新した際、作成直後の色を再現出来ない可能性があります。必ずキャリブレーションを更新してからプロファイルを作成してください。

参考

FFGS 品質保証紙・推奨紙の標準設定しきい値

FFGS リアルプルーフ H G R			
平均ΔE (カラー)	0.70	平均ΔL (ブラック)	0.70
最大ΔE (カラー)	4.00	最大ΔL (ブラック)	3.00

FFGS リアルプルーフ W			
平均ΔE (カラー)	0.7	平均ΔL (ブラック)	0.7
最大ΔE (カラー)	5.00	最大ΔL (ブラック)	3.00

FFGS リアルプルーフ MK			
平均ΔE (カラー)	1.20	平均ΔL (ブラック)	1.50
最大ΔE (カラー)	10.00	最大ΔL (ブラック)	9.00

FFGS リアルプルーフ O P			
平均ΔE (カラー)	1.00	平均ΔL (ブラック)	1.00
最大ΔE (カラー)	10.00	最大ΔL (ブラック)	7.00

※品質保証紙はリアルプルーフ G、それ以外は推奨紙です。

重要



品質保証紙・推奨紙以外の適正値はご用意しておりません。上記以外の用紙では正常な品質を得られない他、キャリブレーションが収束しない可能性がありますのでご使用をお控えください。

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

4章

その他

5章

2 章

プロフィールの作成

2-1 連続階調プルーフ（8bit）用プロフィールを作成する ...P16

2-2 ドットプルーフ（1bit）用プロフィールを作成する ...P54

2章
1連続階調プルーフ（8bit）用プロファイル
を作成する

ターゲット印刷物（出力物）を手元に用意し、以下の手順に従って操作してください。

作業の流れ（詳細）

STEP 1

(P19) 新規プロファイル（mx4）を作成

STEP 2

(P25) ターゲットを測色 → 測色値の状態を確認

STEP 3

(P33) ターゲット測色値から **FB0** 回の mx4 を作成

STEP 4

(P35) **STEP 3** の **FB0** 回の mx4 を適用してチャート出力

STEP 5

(P39) **STEP 4** のチャートを測色 → ターゲットと比較 → **1 回目の FB**

STEP 6

(P43) **STEP 5** の **FB1** 回の mx4 を適用してチャート出力

STEP 7

(P46) **STEP 6** のチャートを測色 → ターゲットと比較 → **2 回目の FB**

STEP 8

(P50) **STEP 7** の **FB2** 回の mx4 を適用してチャート出力

STEP 9

(P53) **STEP 8** のチャートを測色 → ターゲットと比較✔ 目安となる目標精度は ΔE が「1.0」程度（品質保証紙・推奨紙の場合）

STEP 10

(P55) ターゲット印刷物（出力物）と目視の比較 → 良ければ終了

✔ 必要であればプロファイルを調整

「FB」・・・目標値と現在値を比較し精度アップする為のフィードバック計算

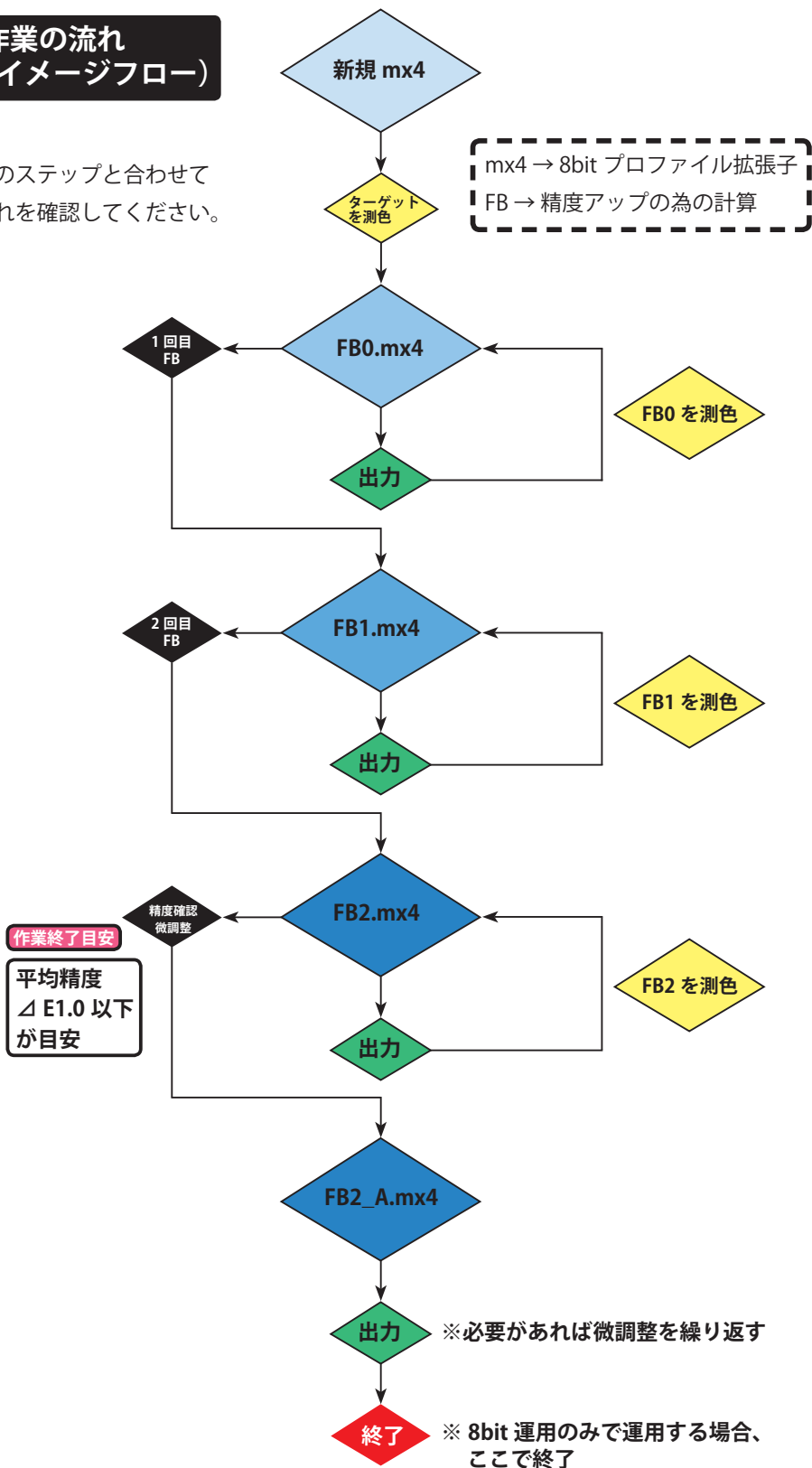
注意



品質保証紙・推奨紙をお使いください。それら以外の用紙での収束精度及び品質結果については保証致しかねます。

**作業の流れ
(イメージフロー)**

左のステップと合わせて
流れを確認してください。



- 1章 事前準備
- 2章 プロファイルの作成
- 3章 プロファイルの修正
- 4章 プロファイルの適用
- 5章 その他

目録 本手順書におけるプロファイル作成条件

本手順書の説明は以下の環境を想定しています。

+++++

◆プリンター：PRIMOJET PRINTER 9050V (EPSON 型番：SC-P9050V)

◆用紙：リアルブルーフ G

◆出力設定：720 × 720dpi / 単方向印刷

◆測色器：X-Rite i1iO2

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

4章

その他

5章

注意：印字モードについて

PRIMOJET のバージョンによって標準印刷モードが異なります。
意図した設定になっているか確認してください。

Unidir (Uni Direction) 単方向印刷

Bidir (Bi Direction) 双方向印刷

間違い防止のために記入しましょう

貴社バージョン：(Ver.)

使用用紙：リアルブルーフ ()

標準印刷モード (Unidir ・ Bidir) ※いずれかに○印

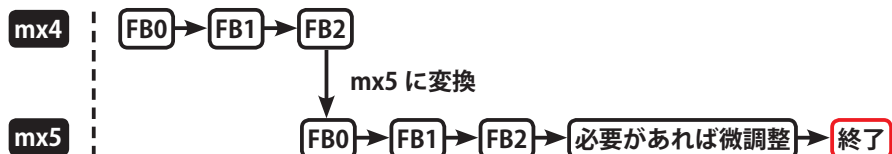
STEP 1 新規プロファイル (mx4) を作成

作成手順概要 (8bit 運用 / 1bit 運用 / 8bit・1bit 併用)

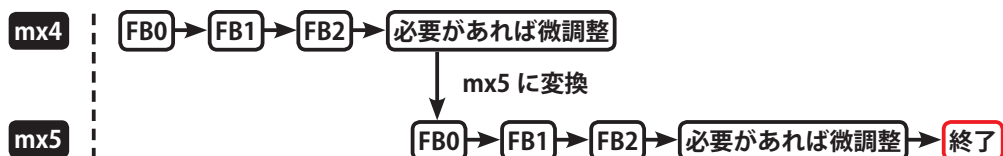
8bit 運用する場合



1bit 運用する場合



8bit/1bit 併用する場合



「FB」・・・目標値と現在値を比較し精度アップする為のフィードバック計算

目安となる目標精度

品質保証紙・推奨紙の場合、mx4・mx5 共に「すべての値の平均」が「1.0」程度を目安としてください。

- ・ターゲット印刷物（出力物）の刷りムラなどが原因で、品質保証紙・推奨紙であっても「1.0」程度にならないことがあります。

1章 事前準備

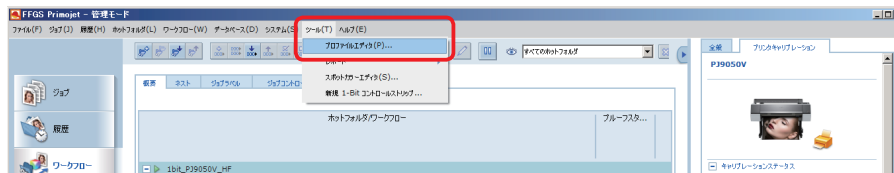
2章 プロファイルの作成

3章 プロファイルの修正

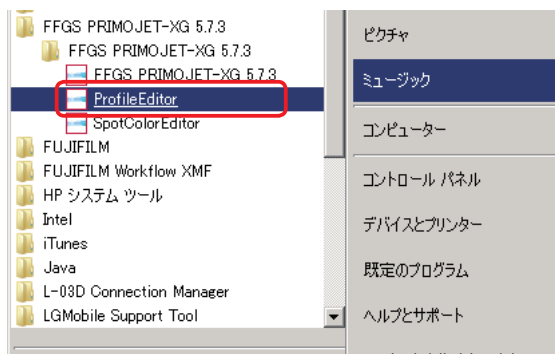
4章 プロファイルの適用

5章 その他

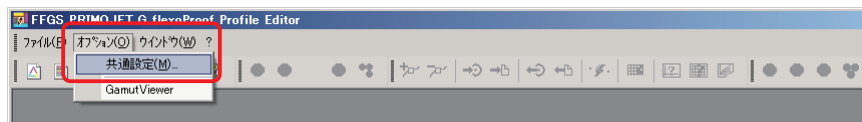
1 PRIMOJET SOFT-XG の「ツール」メニューから「プロファイルエディタ」をクリックします。



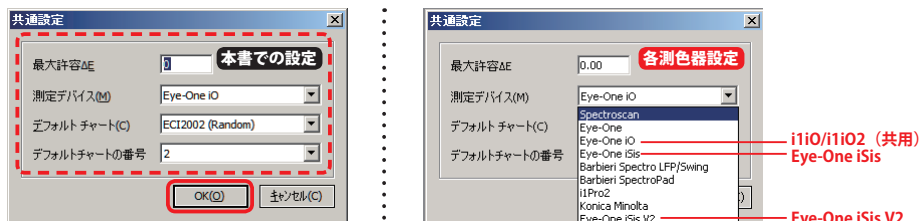
もしくは、Windows の「スタート」メニューから「FFGS PRIMOJET v5.x」下の「ProfileEditor」をクリックします。



2 プロファイルエディタ (= FFGS PRIMOJET G flexProof Profile Editor) が起動したら、「オプション」メニューから「共通設定」をクリックします。



3 「共通設定」というウィンドウが表示されたら点線内を以下のように設定し「OK」をクリックします。本書は i1iO2 を想定の上で説明していますが、「測定デバイス」は実際に使用される測色器を選択してください。本設定は一度行うだけで記憶します。



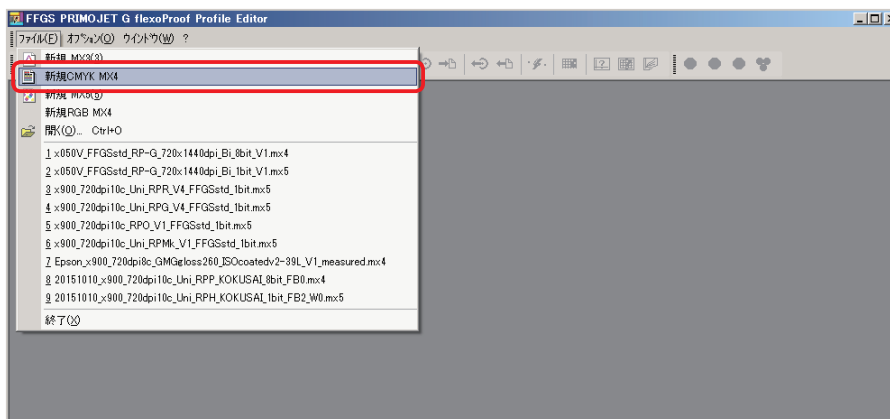
- ◆最大許容ΔE・・・「0」
- ◆測定デバイス・・・お使いの測色器（本書では i1iO2）
- ◆デフォルトチャート・・・「ECI2002 (Random)」
- ◆デフォルトチャートの番号・・・「2」



「最大許容ΔE」とはプロファイルの収束精度（ΔE）を決定する項目です。仮にこの設定を「1」とした場合、ΔE1 以下には収束しません。実力精度を出すには「0」としておく必要があります。

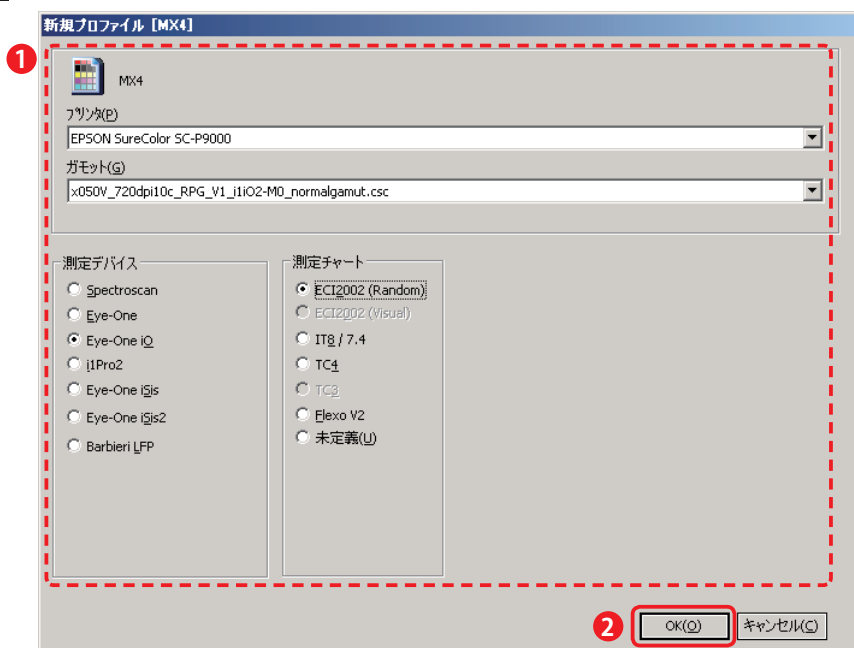
4

「ファイル」メニューから「新規 CMYK MX4」をクリックします。



5

「新規プロファイル [MX4]」というウィンドウが表示されたら、必要項目を設定し
①、「OK ②」をクリックします。



① の設定

- ◆プリンタ・・・お使いのプリンタ
- ◆ガモット・・・お使いの用紙・測色器に適したガモットファイル
- ◆測定デバイス・・・お使いの測色器
- ◆測定チャート・・・「ECI2002 (Random)」

「プリンタ」と「ガモット」の選択項目については次ページをご参照ください。

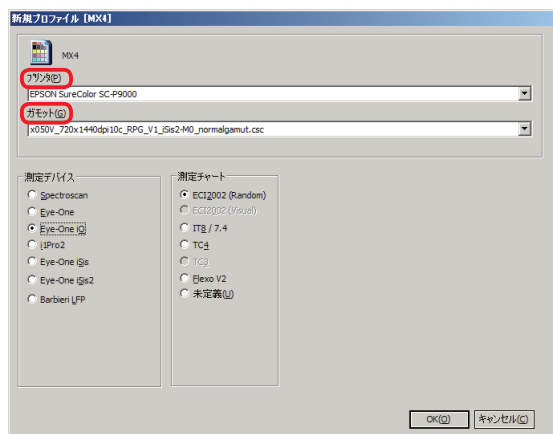
1 章
事前準備

2 章
プロファイル
の作成

3 章
プロファイル
の修正

4 章
プロファイル
の適用

5 章
その他



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

■「プリンタ」について

- ・PX-H10000の場合 → 「EPSON Stylus Pro 9900」を選択
- ・PX-H8000の場合 → 「EPSON Stylus Pro 7900」を選択
- ・SC-P9050Vの場合 → 「EPSON SureColor SC-P9000」を選択
- ・SC-P7050Vの場合 → 「EPSON SureColor SC-P7000」を選択
(↑ EPSON 国内型番)

■「ガモット」について

例) x050V_720dpi10c_RPG_V1_i1iO2-M0_normalgamut.csc

1 2 3 4 5 6

- 1 プリンタ名
- 2 解像度 / インク数
- 3 出力用紙名
- 4 ガモットのバージョン
- 5 お使いの測色器
- 6 測色器のフィルター

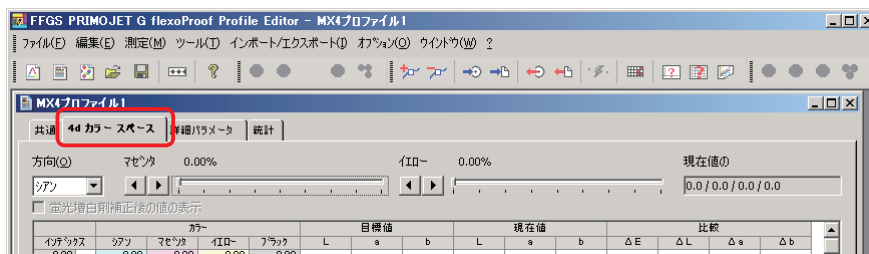
※測色器によって 6 のフィルターが変わります (次頁参照)。

本書ではリアルブルーフ G を使用した想定で説明していますが、お使いの用紙・測色器に適したガモットファイルは既にワークステーション内にコピーしてありますので、1 ~ 6 を参照の上、適正なガモットファイルを選択してください。

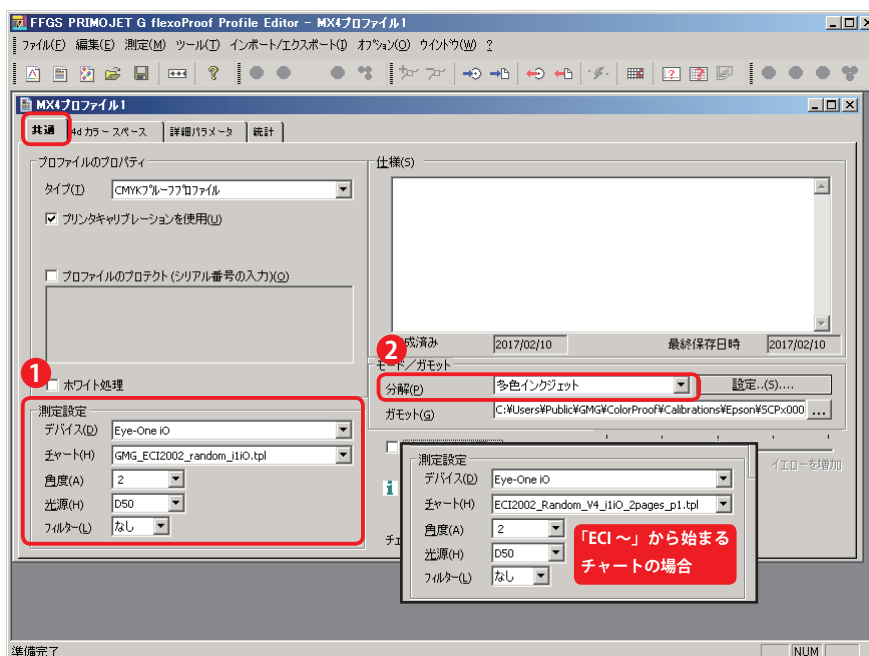
例) リアルブルーフ G / V5.7.3.830 の場合

- ・PX-H シリーズ + iSis / iSis2
x900_720dpi10c_RPG_V3_iSis_UV_normalgamut.csc
- ・PX-H シリーズ + i1iO / i1iO2
x900_720dpi10c_RPG_V3_i1iO_No_normalgamut.csc
- ・SC-P シリーズ + iSis / iSis2
x050V_720dpi10c_RPG_V1_iSis2-M2_UVCut_normalgamut.csc
- ・SC-P シリーズ + i1iO / i1iO2
x050V_720dpi10c_RPG_V1_i1iO2-M0_normalgamut.csc

- 6 「MX4 プロファイル 1」というウィンドウが作成されます。最初は「4d カラースペース」というタブが開いています。



- 7 「共通」タブをクリックし、①と②の設定をします。



① 測定設定

- ・「デバイス」 → お使いの測色器
- ・「チャート」 → お使いの測色器に合ったテンプレート (P11 参照)
- ・「角度」 → 「2°」
- ・「光源」 → 「D50」
- ・「フィルター」 → お使いの測色器に合ったフィルター

iSis・iSis2 「M2」推奨

i1i0 Eye-One の種類により「M0」か「M2」を選択

i1i02 「M0」推奨

② モード/ガモット

「分解」 → 「多色インクジェット」を選択

[参考]

M0・・・UV-Cut なし

M1・・・D50 シミュレーション

M2・・・UV-Cut

1 事前準備

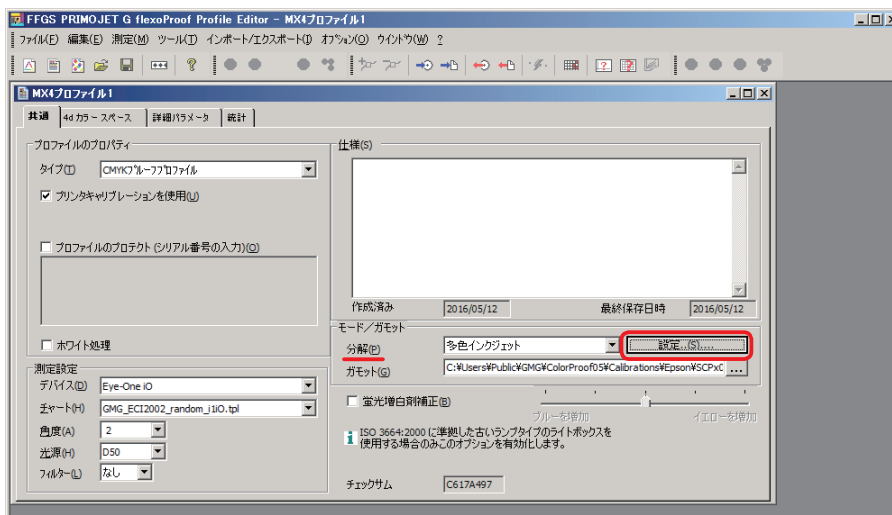
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

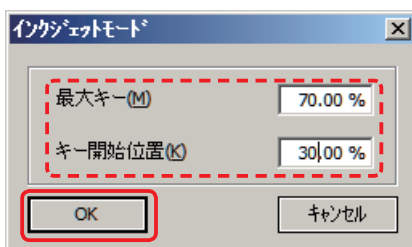
4 プロファイルの適用

5 その他

8 続いて「分解」の「設定」をクリックします。



9 「インクジェットモード」というウィンドウが表示されたら、「最大キー」に「70」、「キー開始位置」に「30」と入力し、「OK」をクリックします。



参考

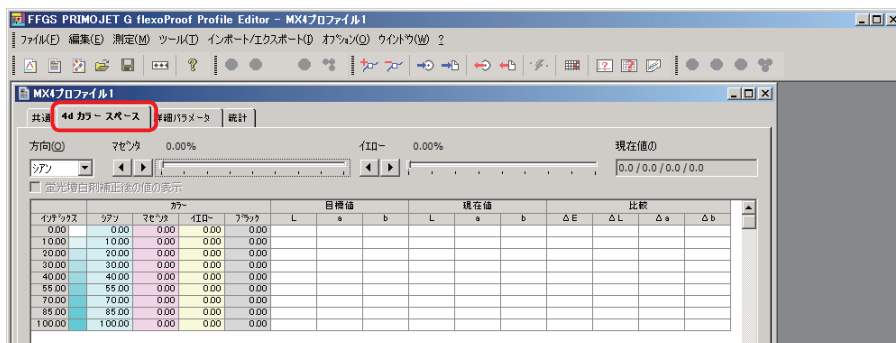
ご使用の網種や角度によってはモアレが出る場合があります。まずは「70%/30%」でスタートし、モアレが目立つ場合はキーの数値を調整してみてください。

参考

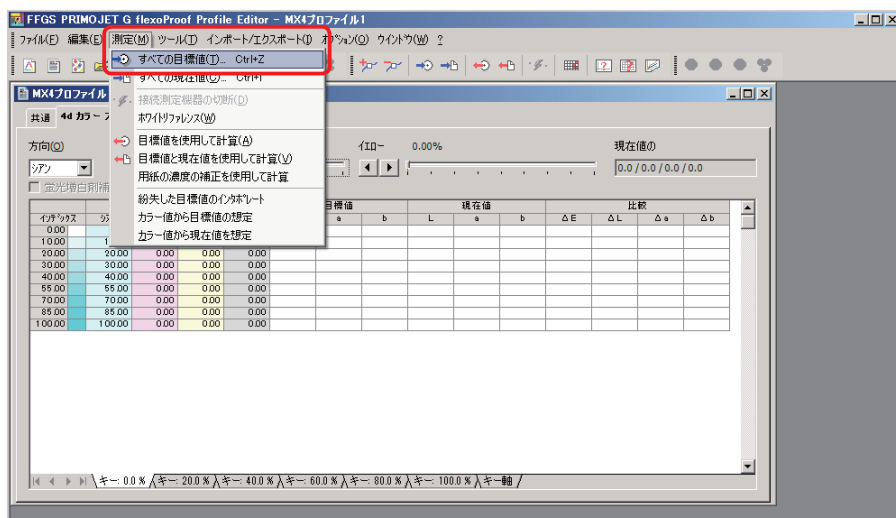
「最大キー」と「キー開始位置」はモアレが目立ちやすいK版（キー）のインク使用率を決定する項目です。上記設定の場合、71%～100%及び1%～29%まではKインクを使用せずに再現します。キー変更することでモアレ軽減に効果があります。

STEP 2 ターゲットを測色 → 測色値の状態を確認

10 「4d カラースペース」タブをクリックします。



11 ターゲット印刷物（出力物）からカットしたチャートを測色器にセットし、「測定」メニューから「すべての目標値」をクリックします。



1 事前準備

2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

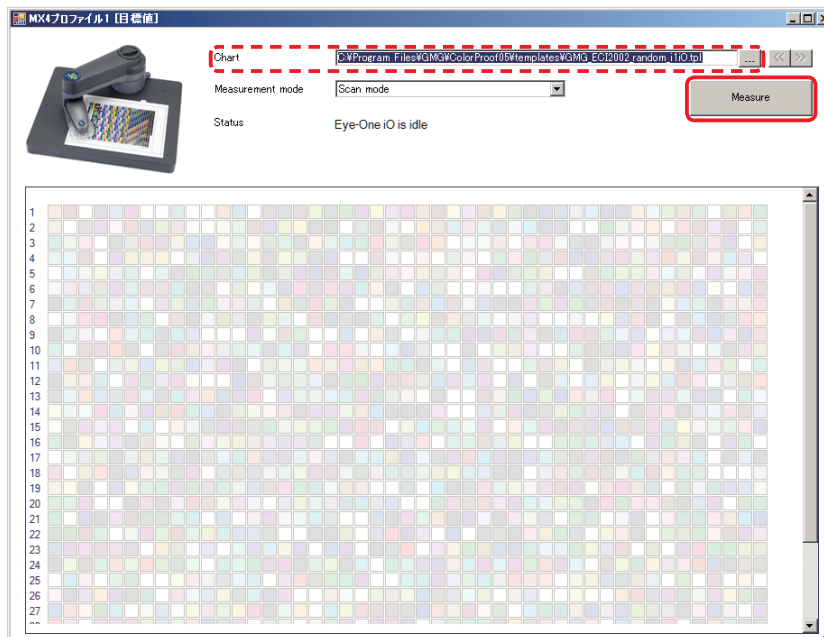
5 その他



お使いの測色器が正しく接続されていない場合や電源が供給されていない場合などに出るメッセージです。

➡ 本書は i1i02 でご説明しています。iSis や iSis2 をお使いの場合、チャートを読み込む際の測色器の動作に若干違いがあります。詳しくは 4 章「各測色器の動作について」をご参照ください。

- 12** 測色ウィンドウが表示されますので、「Measure」をクリックします。
 ※「Chart」には**7**番の「チャート」で設定したテンプレートファイル (*.tpl) が自動的に選択されていますが、誤ったテンプレートを選択していても [...] をクリックすれば変更可能です (テンプレート種類は P11 参照)。
 ※正しいテンプレートが選択されていないとエラーとなり、測色出来ません。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

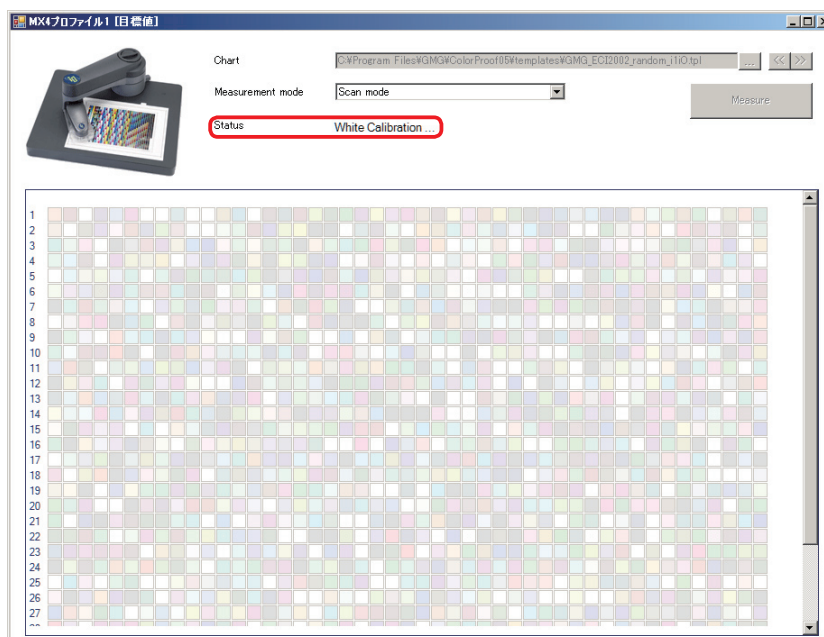
プロファイル
の適用

4章

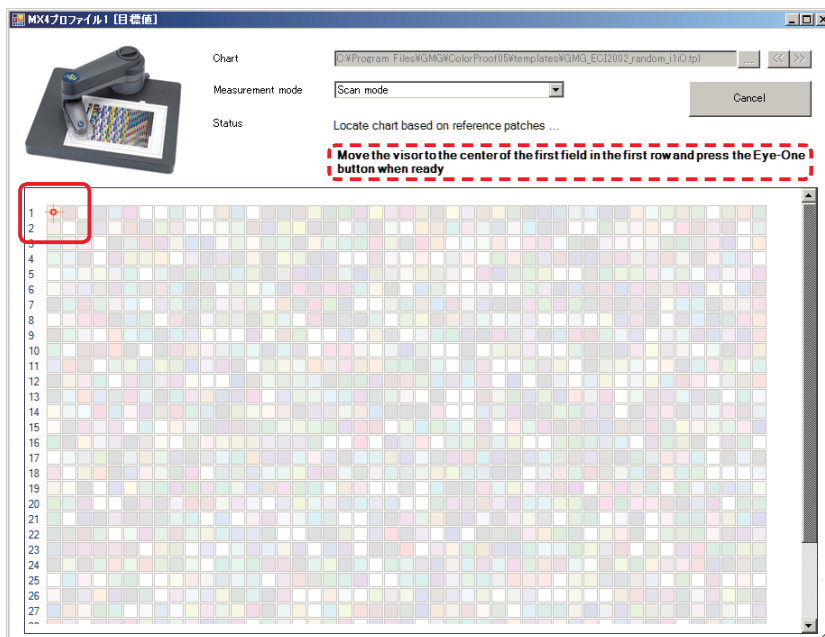
その他

5章

- 13** 「Status」に「White Calibration...」と表示され、自動的にアームが動き、測色器のホワイトキャリブレーションが始まりますので少し待ちます。



- 14** ホワイトキャリブレーションが終了したら、「Move the visor to the center of the first field in the first row and press the Eye-One button when ready」というメッセージと共にチャートの左上（1列目の一番左）のパッチに赤い十字が表示されます。



手で i1iO2 のアームを動かし（写真 A）、i1 の半透明のベースプレートの照準がパッチのちょうど真ん中に来ようセットします（写真 B）。セットしたら i1 本体左の黒いボタンを押します。

※この作業は測色器のチャート位置認識の為にいきます。



このような感じでアームを動かし、指定のパッチに合わせてください。



半透明のベースプレートの+印がパッチの真ん中に来ようセットしボタンを押してください。

1 事前準備

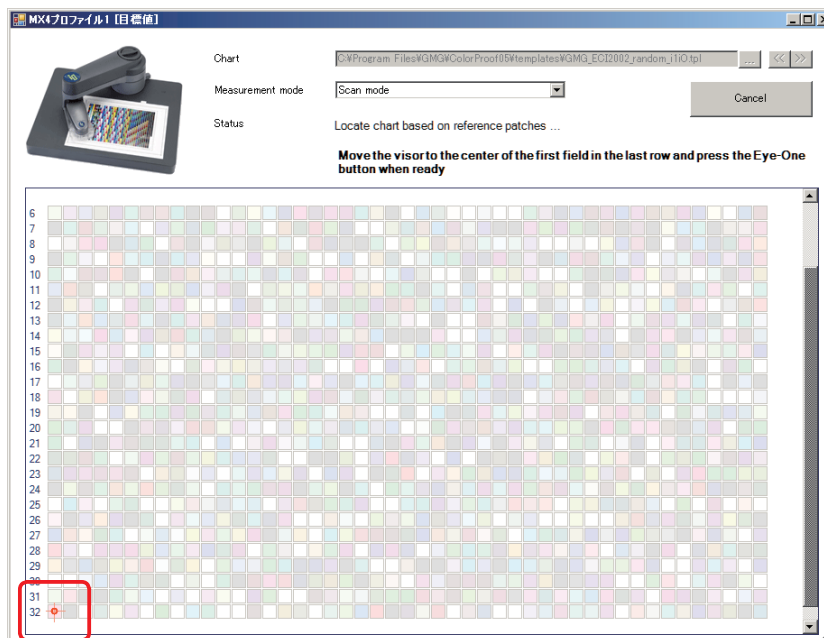
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

5 その他

15 引き続き左下のパッチに赤い十字が表示されますので、同じ作業を繰り返します。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

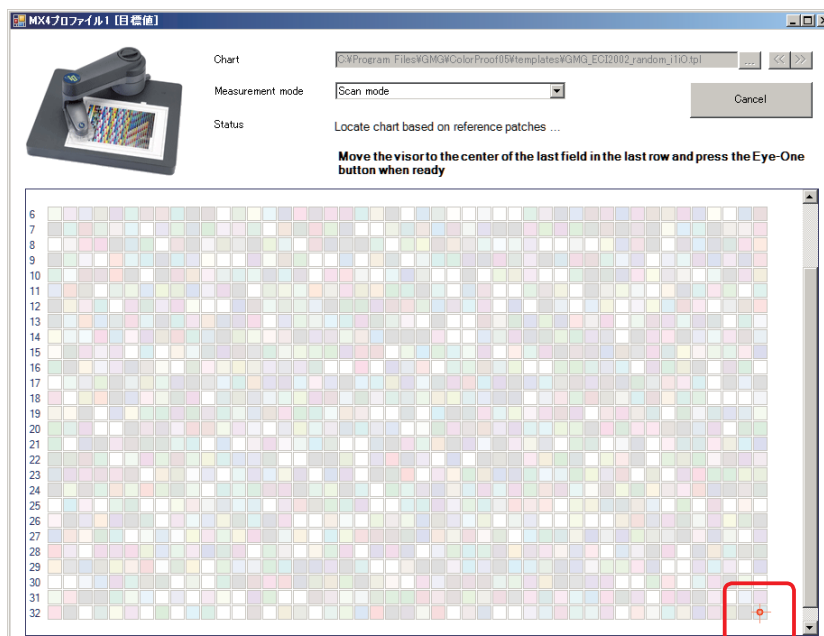
プロファイル
の適用

4章

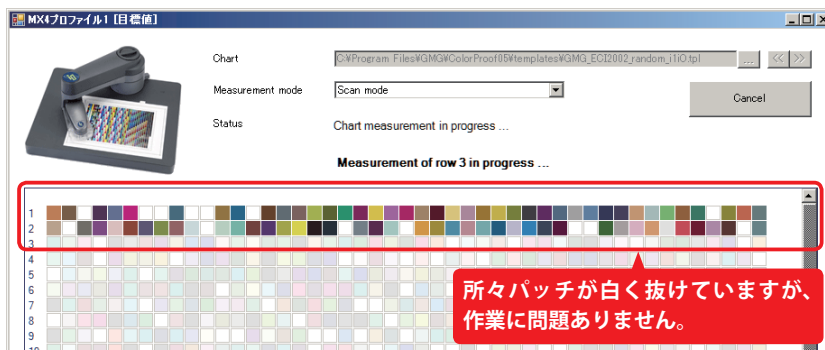
その他

5章

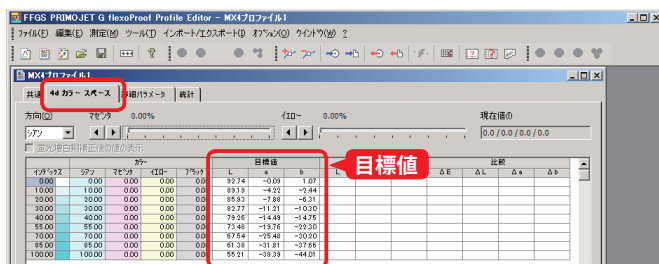
16 最後に右下に赤い十字が表示されますので、同じ作業を繰り返します。



17 左上、左下、右下3点のポイント指定が終わると、自動的に測色が始まります。



18 測色が終了すると、「4d カラースペース」タブの「目標値」欄に測色値が入力されます。



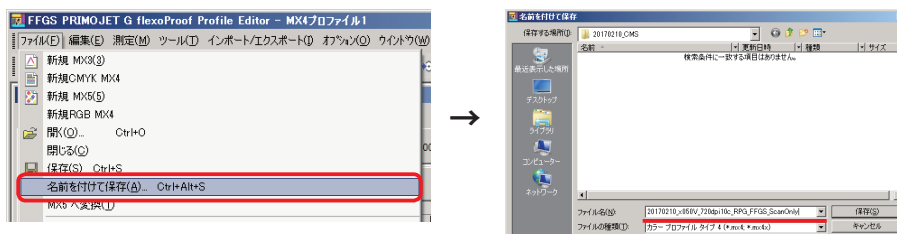
重要 測色したらすぐ保存しましょう

この段階で後述の「スムージング」のため、「ファイル」-「名前を付けて保存」をクリックし保存します。保存名にルールはありませんが、便宜上日付や用紙などの情報を入れておくとう便利です。

<すぐ保存する理由>

「スムージング」は数回やり直す可能性があります。やり直すにはプロファイルを一度閉じて再度開く必要がありますが、保存していないと閉じた時に測色値が失われてしまうためです。

例) xxxxxx_x050V_720dpi10c_RPG_FFGS_ScanOnly.mx4
日付 用紙 測定しただけだと分かる名前

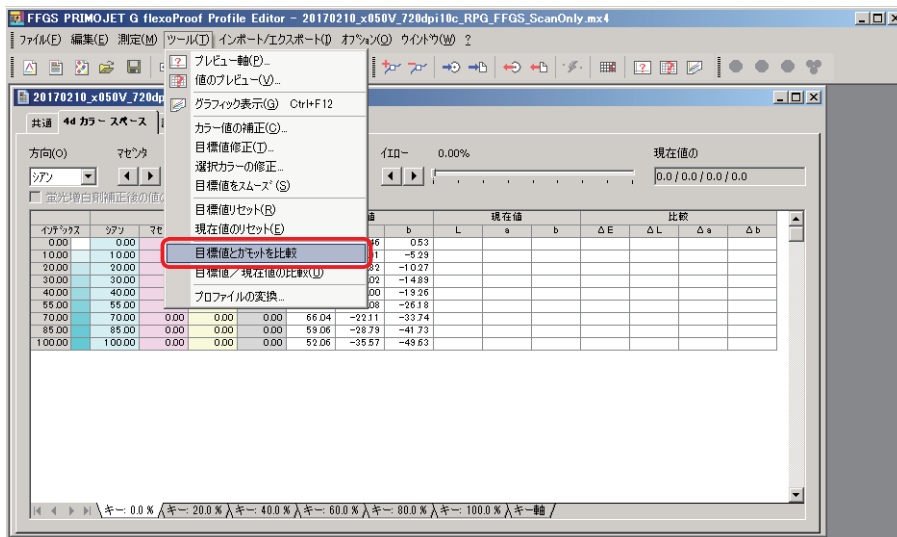


デスクトップなどにフォルダを作って作業すると誤ってプロファイルを削除してしまう可能性があるため避けてください。プロファイルを削除するとリンク切れが発生し、出力時やバックアップ採取時にエラーが出ます。

<推奨保存階層>
P34 をご参照ください。

- 1 事前準備
- 2 プロファイルの作成
- 3 プロファイルの修正
- 4 プロファイルの適用
- 5 その他

19 測色したターゲット印刷物(出力物)の測色値の状態を確認します。「ツール」メニューから「目標値とガモットを比較」をクリックします。



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

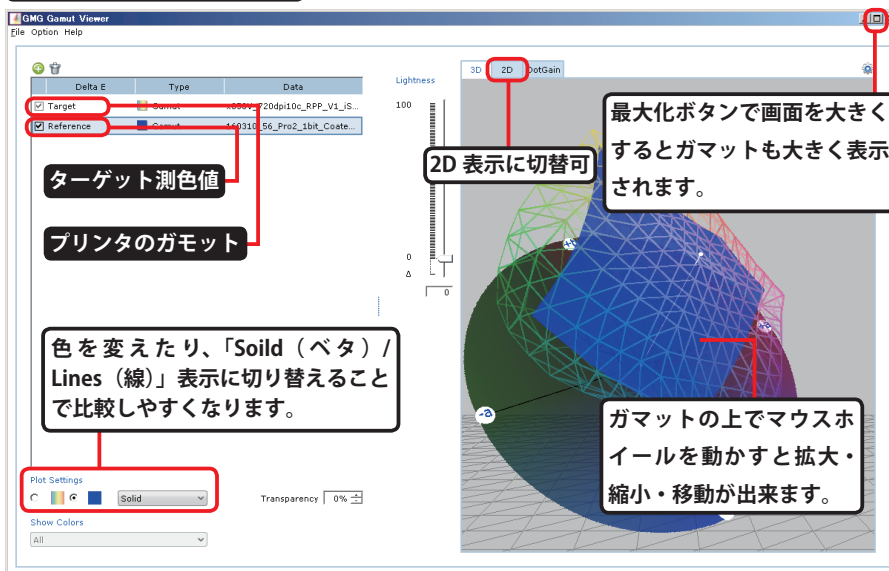
プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

20 ガモットビューワー (FFGS PRIMOJET G Gamut Viewer) が開きます。測色した目標値の状態を立体的に確認することができます。ガモットと測色値のバランスの確認、測色値のガタつきの有無などを確認します。なお、ガモットからはみ出した測色値はプリンタの再現範囲外となりますので表現出来ません。

ガモットビューワーの見方



注意

ガモットビューワーが起動しない場合、該当プロファイルウィンドウがアクティブになっていない可能性があります。プロファイルの「カラー」値欄下部にある空白をクリックし、プロファイルをアクティブにすることで起動するようになります。

！ 必要であればこの段階でスムージングをかけます

ガモットビューワーで測色値を確認し、必要があればスムージングをかけます（手順はP32で説明）。スムージング機能を使用すると以下のような効果が期待出来ます。
（※測色値の状態が良好であればスムージングをかける必要はありません）

スムージングの効果

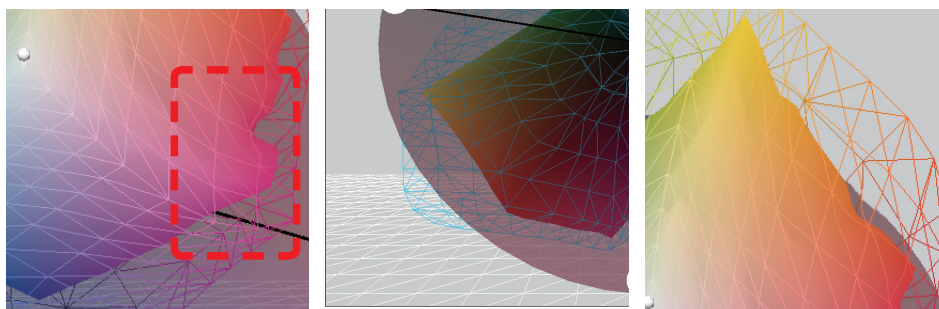
- ◆トーンジャンプを改善する。
- ◆ターゲット印刷物・出力物の階調つぶれを改善する（階調を取り戻す）。

スムージングをかける判断基準

- 1) ガモットビューワーで測色値の輪郭にガタつき（凸凹）が見られる。
- 2) ターゲット印刷物（出力物）に階調つぶれがある。

※ 1) は測色器トラブルにより測色結果が安定しないなどの可能性もあります。この場合、スムージングでは良化しません。

スムージングをかける必要がないと判断される場合は本章 **STEP 3** へ進んでください。



状態の良くない測色値

極端なガタつきがある。

状態の良い測色値

ガタつきがほとんどない。

ガタつきの許容

スムーズをかけなくても問題が出ない可能性があるレベル。

※ プロファイルを作成し、ジャンプが見られる場合はスムージングをかける。

1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

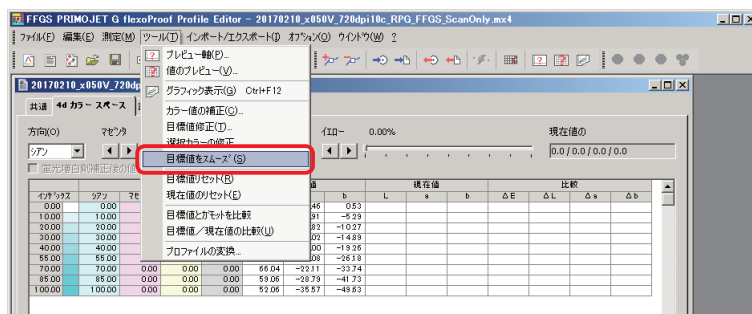
スムージング

スムージングの目安

スムージング限度の目安は強度「2～5」です。これ以上かけないとスムーズ効果が得られない場合、上手く測色出来ていないかターゲットに問題がある可能性があります。また、スムージングをかけると補正計算される為、スムージングのかけすぎはプロファイルのマッチング精度を落とす可能性があります。

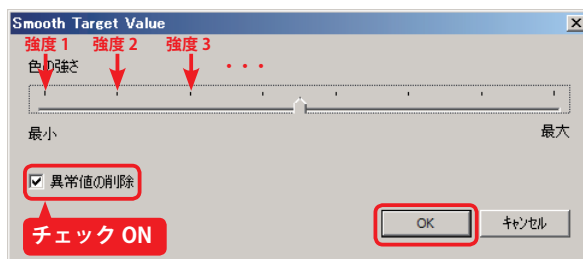
21

「ツール」メニューから「目標値をスムーズ」をクリックします。



22

「Smooth Target Value」というウィンドウが表示されたら「色の強さ（＝スムーズレベル）」を設定し、「OK」をクリックします。なお、「異常値の削除」にチェックを入れることで、チャート上で想定より大きく色域がずれているポイントを削除出来ます。通常はチェックを入れてください。



異常値の削除

ターゲットの印刷状態に不備がある場合（ヒッキーなどの印刷故障やキズがある場合等）に有効です。

重要

スムージングをかけた後、再度ガモットビューワーで目標値とガモットを比較するとスムージングの効果を立体的に確認できます。ガタつきや尖っている箇所が低減しない場合、スムージング→確認の作業を繰り返すか（同じ強度を複数回かける）、「色の強さ」の強度を上げてかけ直し、ガタつきや尖っている箇所が目立たなくなるようにするとトーンジャンプの発生等を抑制することが出来ます。

<スムージングをかけ直す場合>

- ① スムージングをかける
- ② ガモットビューワーで確認→再度かけ直したい
- ③ プロファイルを×で閉じる→保存しない→再度プロファイルを開く
- ④ スムージングをかけ直す
- ⑤ ガモットビューワーで確認
- ⑥ 1～5を繰り返す

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

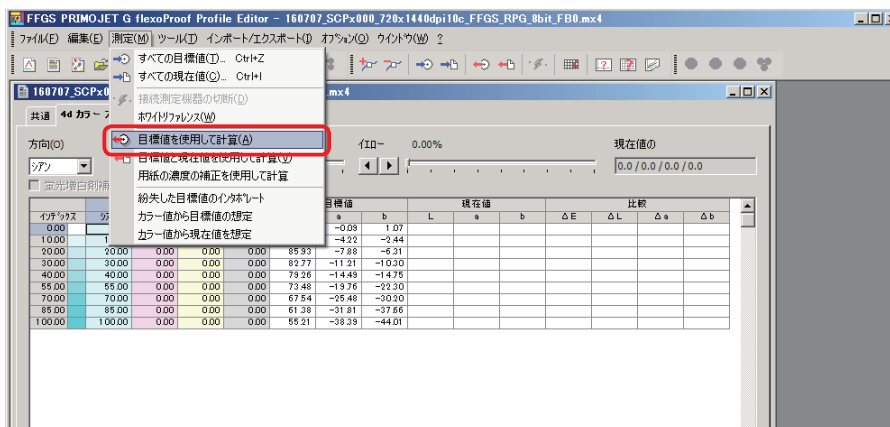
4章

その他

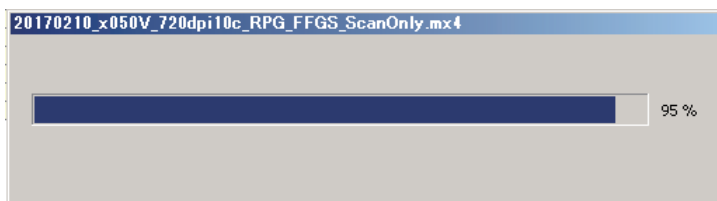
5章

STEP 3 ターゲット測色値から **(FBO)** 回の mx4 を作成

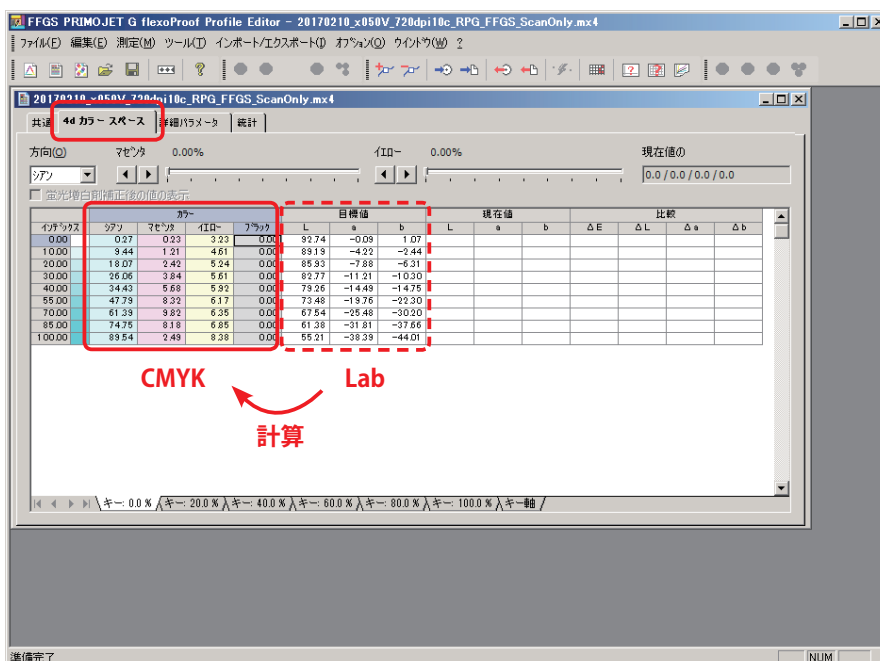
23 「測定」メニューから「目標値を使用して計算」をクリックします。



24 計算の進捗状況が表示されます。

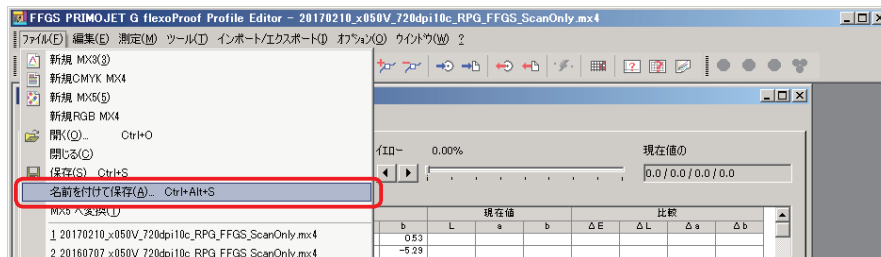


25 計算が終了すると、「4d カラースペース」タブの「カラー」欄にターゲットの測色値が Lab から CMYK に計算された結果が表示されます。



- 1 事前準備
- 2 プロファイルの作成
- 3 プロファイルの修正
- 4 プロファイルの適用
- 5 その他

26 「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリックします。



推奨保存階層

◆ VerUp 機

C:/ProgramFiles(x86)/GMG/ColorProof05/Profiles_Proof/Epson/(x900)
/ (SCPx000)

◆ 新設機

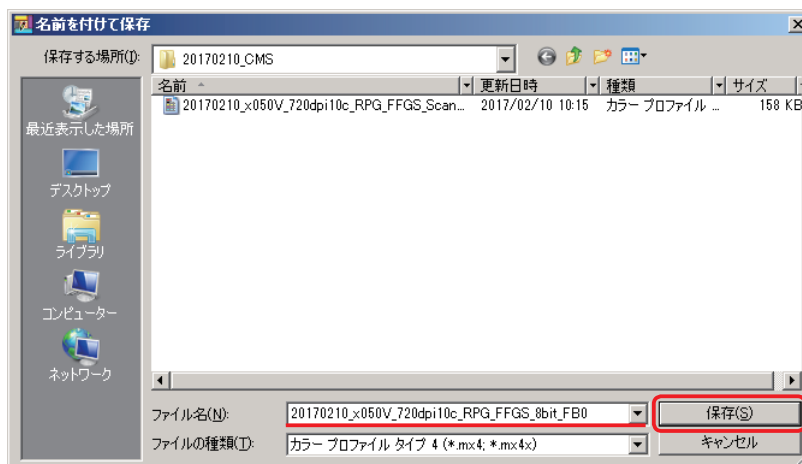
C:/Users/Public/GMG/ColorProof/Profiles_Proof/Epson/(x900)
/(SCPx000)

上記階層下の各用紙フォルダ（「FFGSRealProofG」等）直下に保存、もしくは各用紙フォルダの下に任意の名称をつけたフォルダを作成し保存してください。

※ (x900)・・・PX-H シリーズ (SCPx000)・・・SC-P シリーズ

27 ファイル名を入力したら「保存」をクリックします。ファイル名は任意で構いませんが、便宜上日付や用紙などの情報を入れておくと便利です。種類とフィードバック回数は必ず入れてください（赤字部分）。

例) xxxxxx_x050V_720dpi10c_RPG_FFGS_8bit_FB0.mx4
日付 用紙 種類 フィードバック回数



memo

本書では C:/Users/Public/GMG/ColorProof/Profiles_Proof/Epson/SCPx000/FFGS RealProof G の下に「(日付) _CMS」フォルダを作成し説明します。

事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

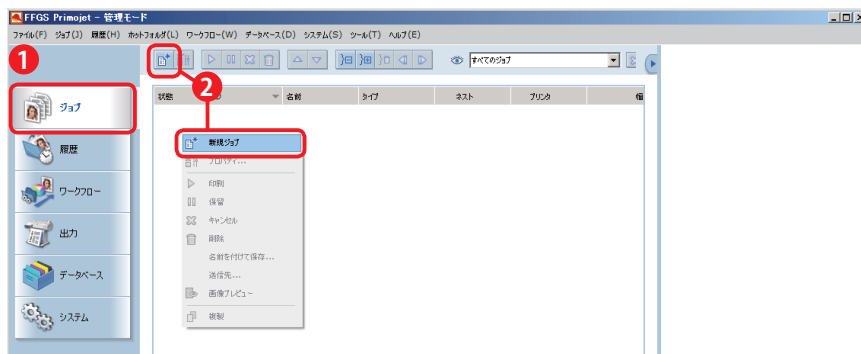
その他 5章

STEP 4 **STEP 3** の **FBO** 回の mx4 を適用してチャート出力

memo

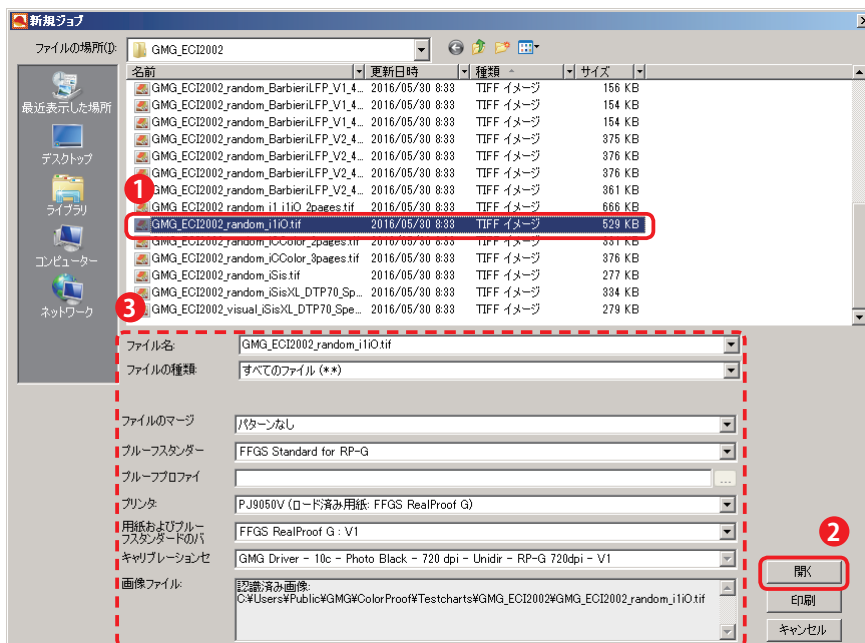
プロファイル作成後は基本的に「ホットフォルダに完成プロファイルを割り当て」→「自動出力」となりますが、プロファイル作成中は作成途中のプロファイルを都度割り当てる必要がある為、暫定的に**手動出力**します。

28 PRIMOJET SOFT-XGに戻ります。「ジョブ」ビュー **(1)** の何もないところで右クリックし、「新規ジョブ」をクリック、または「新規ジョブ」アイコン **(2)** をクリックします。



29 「新規ジョブ」ウィンドウが表示されたら、「C:\~\GMG\ColorProof\Testcharts」フォルダ内から**お使いの測色器に合ったチャートデータ** (※) を選択し **(1)**、「開く」をクリックします **(2)**。その他の設定は次のステップで変更しますので何を選択していても構いません **(3)**。

※各測色器用のチャートデータについては本書 P11 をご参照ください。



1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

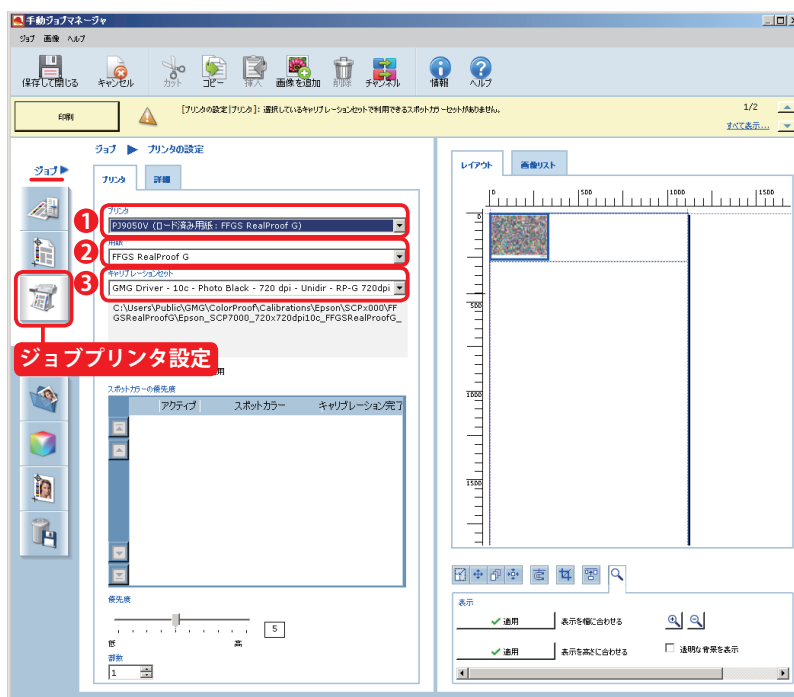
3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

30 手動ジョブマネージャが表示されたら以下の設定を行います (1 ~ 6)。

ジョブ/ジョブプリンタ設定



- ①「プリンタ」→ お使いのプリンタを選択
- ②「用紙」→ お使いの用紙を選択
- ③「キャリブレーションセット」→ お使いのキャリブレーションを選択

注意：印字モードについて

PRIMOJET のバージョンによって標準印刷モードが異なります。意図した設定になっているか確認してください。

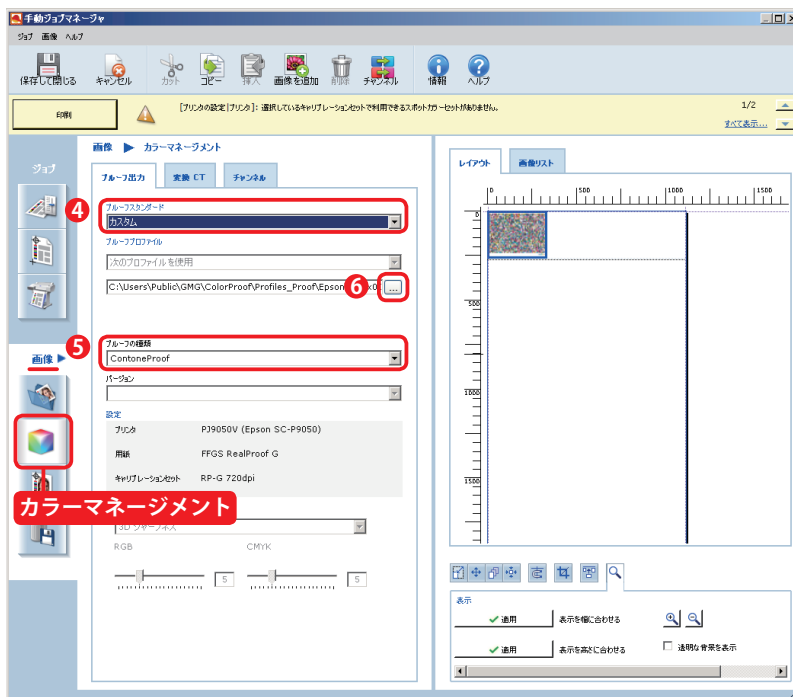
Unidir (Uni Direction) ... 単方向印刷

Bidir (Bi Direction) ... 双方向印刷

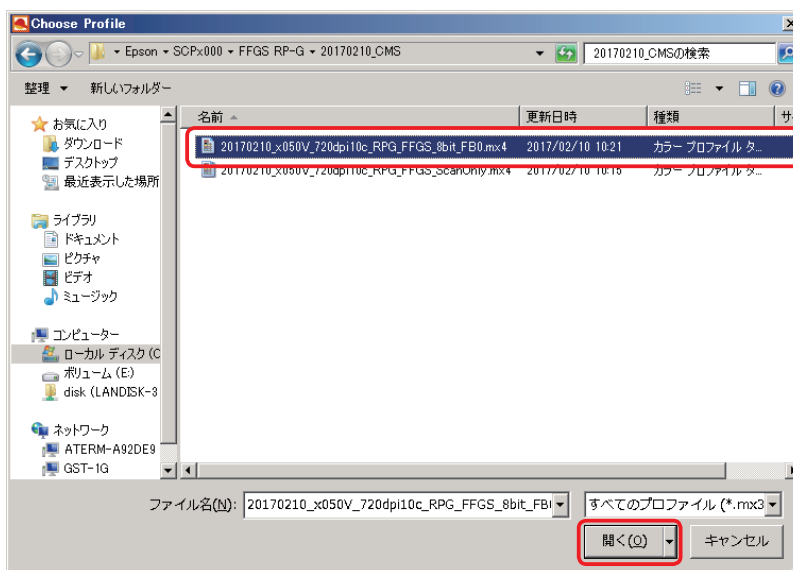
間違い防止のために記入しましょう

貴社バージョン：(Ver.)
 使用用紙：リアルブルーフ ()
 標準印刷モード (Unidir ・ Bidir) ※いずれかに○印

画像 / カラーマネージメント



- 4 「プルーフスタンダード」 → 「カスタム」 を選択
- 5 「プルーフの種類」 → 「ContoneProof」 が選択されていることを確認
- 6 ... をクリック



27番で保存したプロファイル (*.mx4) を選択し、「開く」をクリックします。

1 章 事前準備

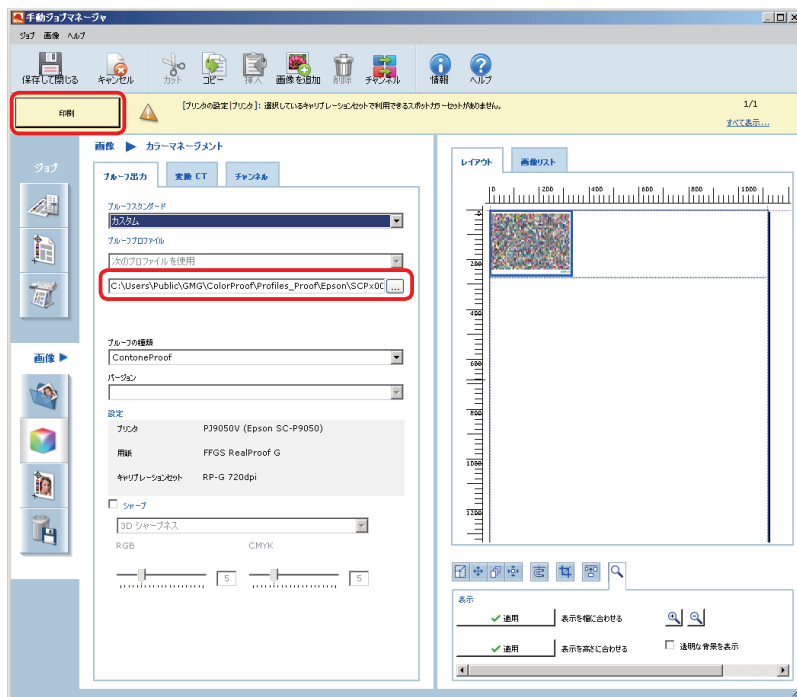
2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

選択したプロファイルが指定されていることを確認したら「印刷」をクリックします。



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

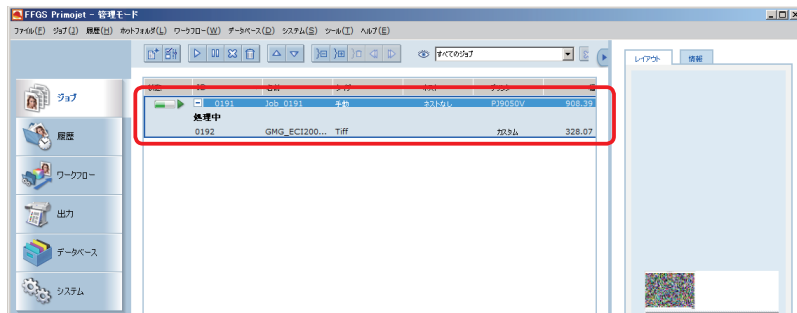
その他 5章

31

チャート出力後、乾燥時間を設けてからカットしてください。

※色を安定させる為、乾燥時間を設けてください。

※カットする際、印刷部分に定規などが当たってこすれたり剥げたりしないようご注意ください。



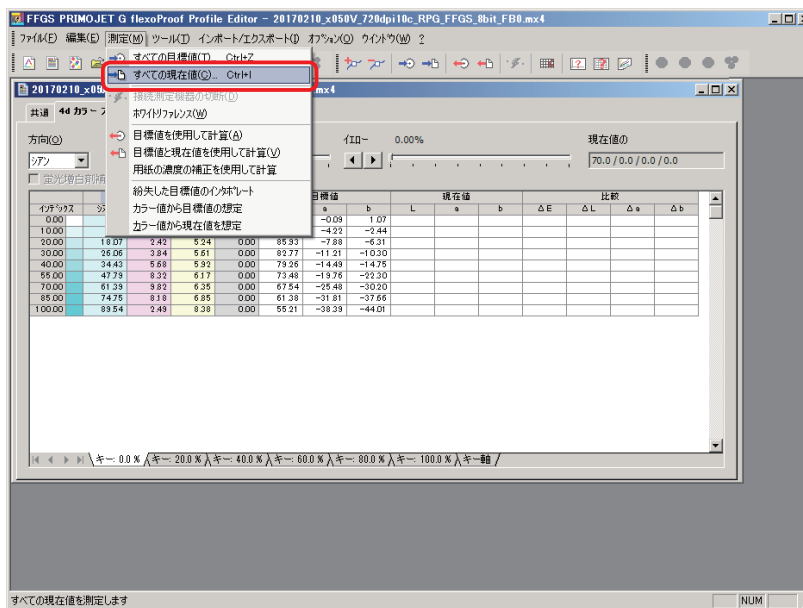
<乾燥時間>

リアルブルーフ G/H/R/W/O/P : 5分

リアルブルーフ MK : 10分

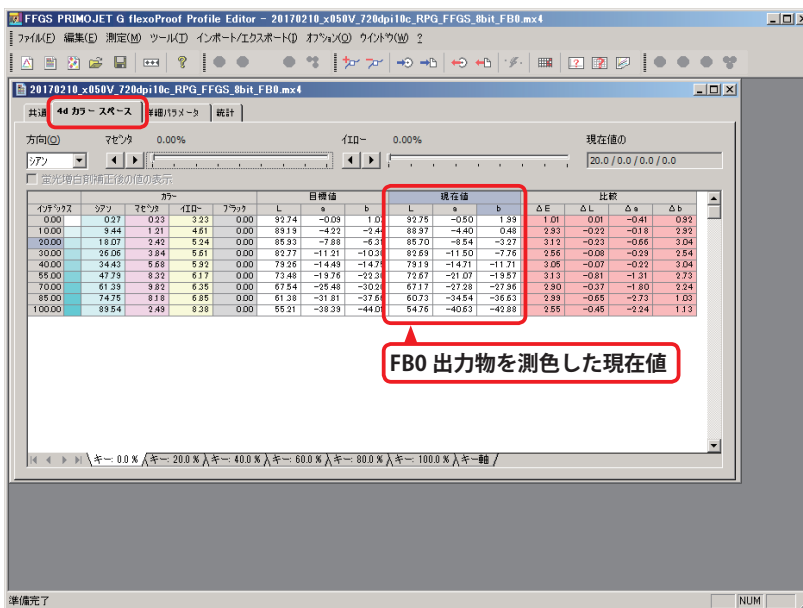
STEP 5 **STEP 4** のチャートを測色 → ターゲットと比較 → **1 回目**のFB

32 カットしたチャートを測色器にセットしたら、プロファイルエディタの「測定」メニューから「すべての現在値」をクリックします。測色が始まります。



- 1 章 事前準備
- 2 章 プロファイルの作成
- 3 章 プロファイルの修正
- 4 章 プロファイルの適用
- 5 章 その他

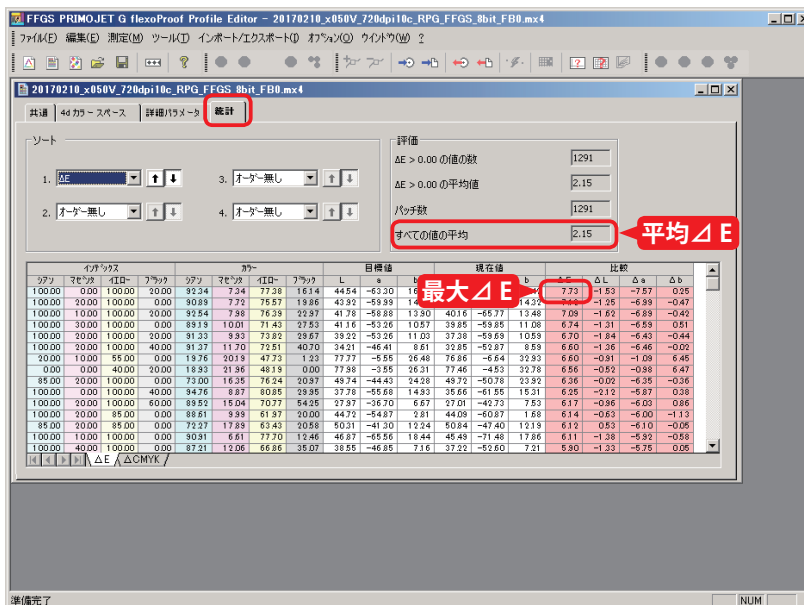
33 測色が終了すると、「4d カラースペース」タブの「現在値」欄に測色値が表示されます。



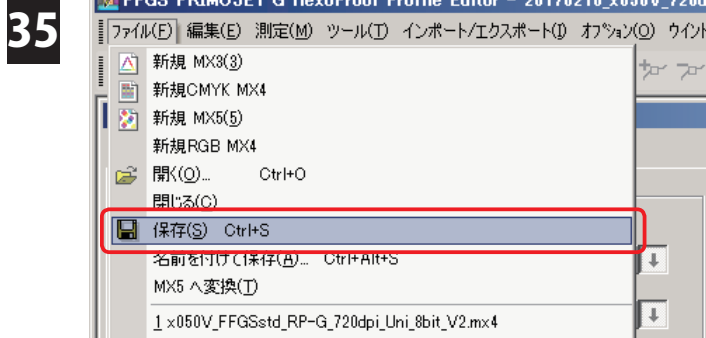
34 「統計」タブをクリックし、「すべての値の平均」と「最大ΔE」を確認します。「すべての平均」が「1.0」を下回っていない場合、確認した数値をメモ等に控えて次に進みます。

目安となる目標精度

品質保証紙・推奨紙の場合、「すべての値の平均」の目安が「1.0」程度です。ターゲットの刷りムラなどが原因で「1.0」程度にならないことがあります。



「ファイル」メニューから「保存」をクリックします。



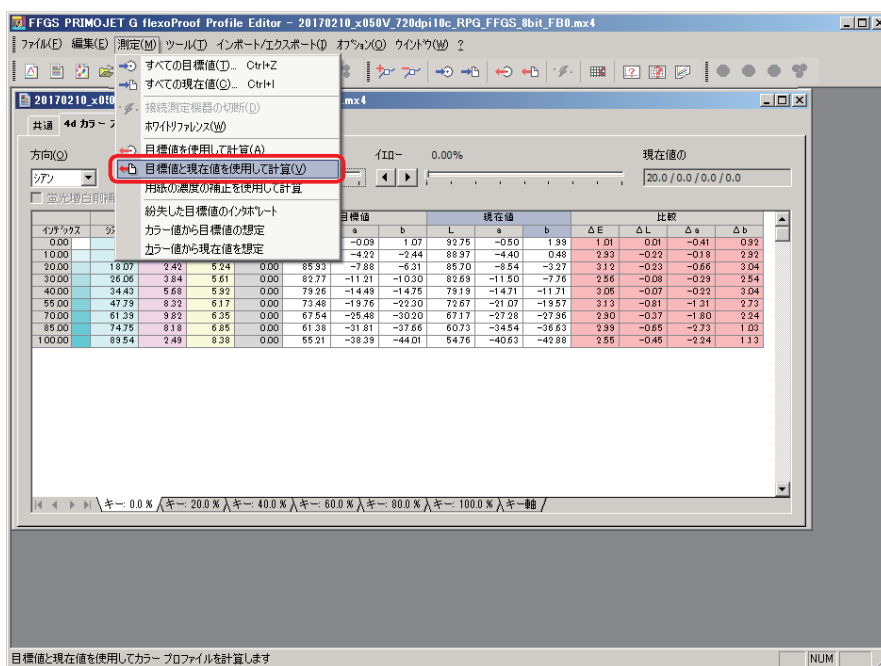
memo

ここで上書き保存しておくことで「統計タブ」のΔE値表示が保持されます。つまり、FBOのプロファイルにFBOの測色結果が記録されます。上書き保存しないと次のステップで行う作業によって表示が消えてしまいます。あくまで表示が消えるだけで作業に問題はありませんが、後の工程で前作業に立ち戻ってΔE値を確認したいケースなどに備え、上書き保存してΔE表示を保持しておくことをおすすめします。

8bit プロファイル 1 回目の FB

36 再び「4d カラースペース」タブをクリックし、「測定」メニューから「目標値と現在値を使用して計算」をクリックします。

※必ず「4d カラースペース」タブを選択した状態で「目標値と現在値を使用して計算」をクリックしてください。



1 章 事前準備

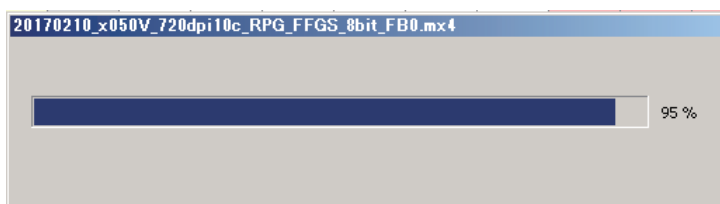
2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

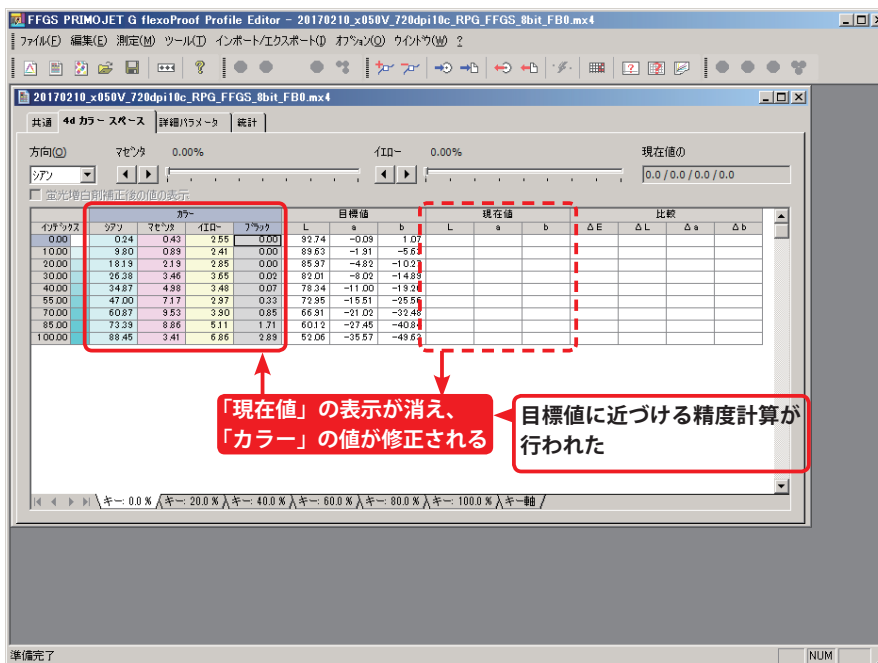
5 章 その他

37 計算の進捗状況が表示されます。



38

計算が終了すると「現在値」の表示が消え、「カラー」の値が修正されます。



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

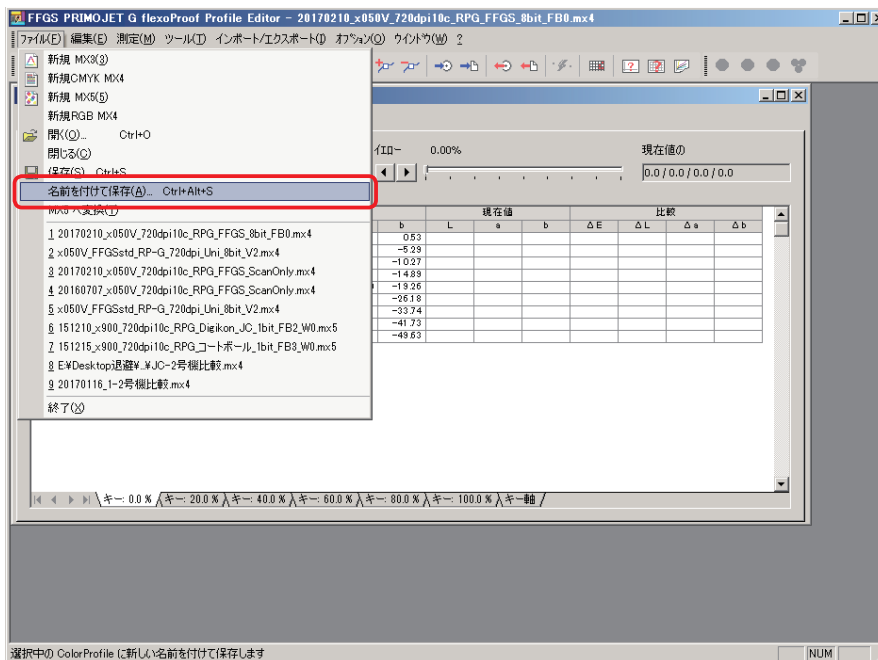
プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

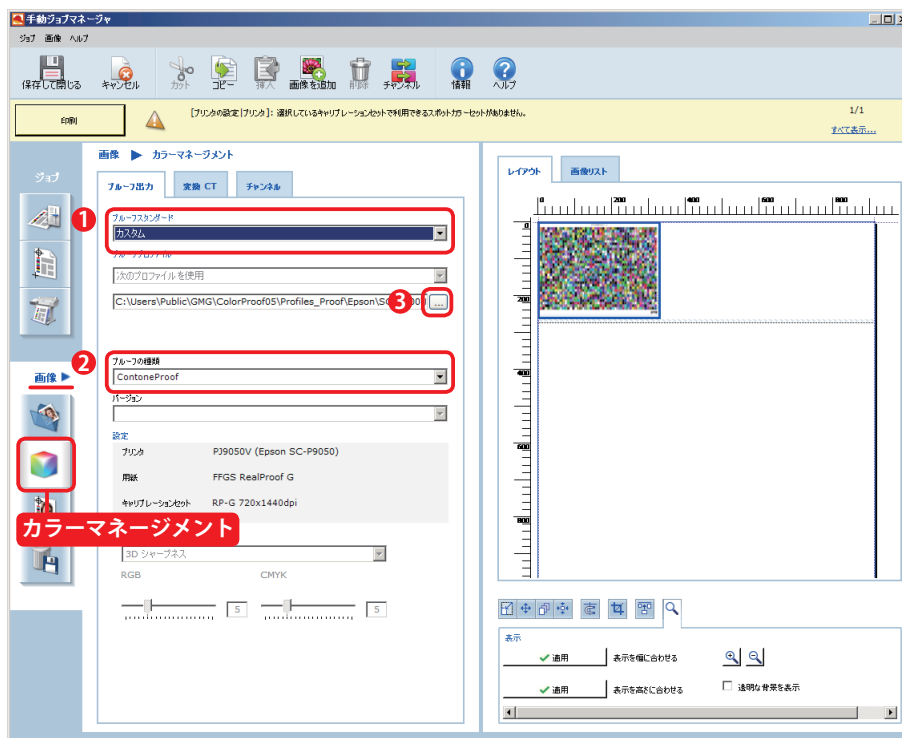
39

「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリックします。

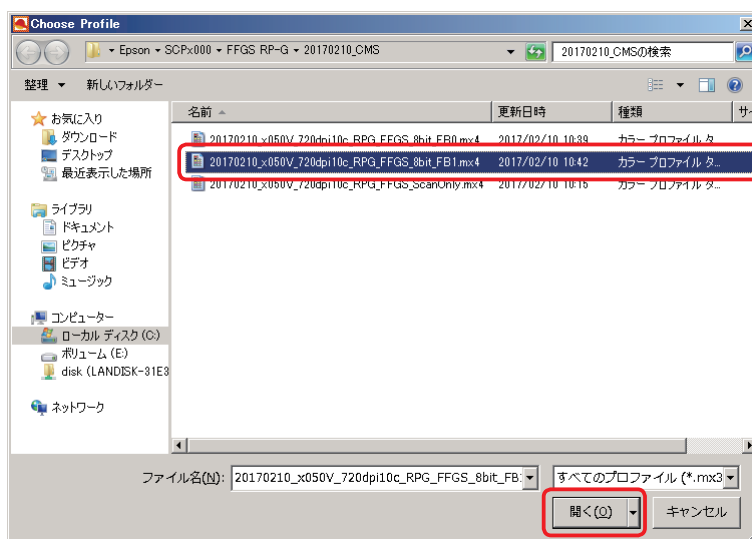


42 手動ジョブマネージャが表示されたら以下の設定を行います (①～③)。

画像 / カラーマネージメント

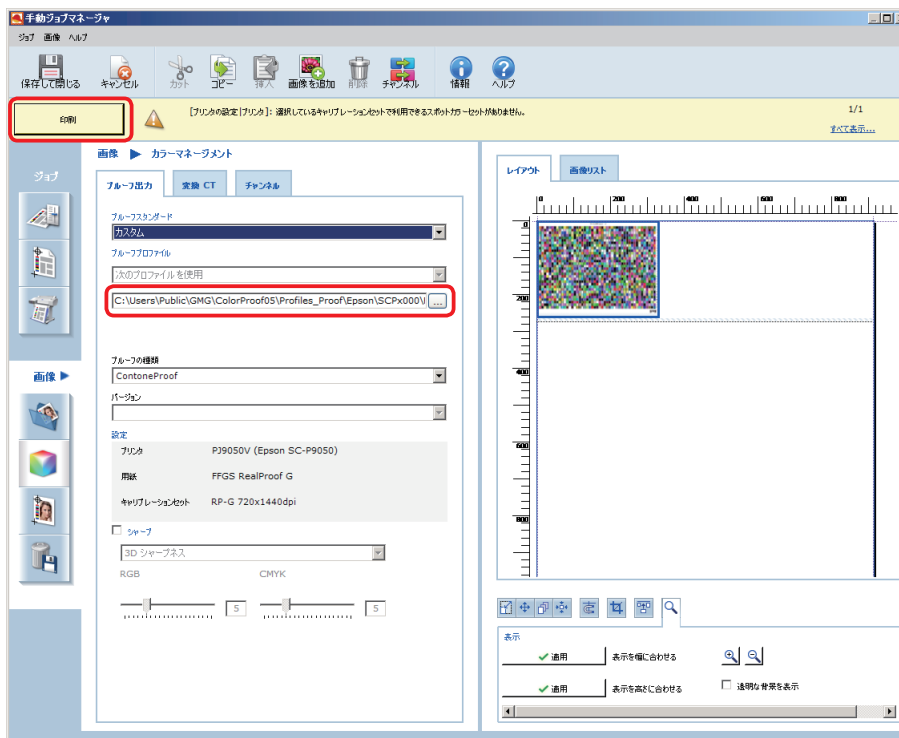


- ① 「プルーフスタンダード」 → 「カスタム」が選択されていることを確認
- ② 「プルーフの種類」 → 「ContoneProof」が選択されていることを確認
- ③ 「...」をクリック



40番で保存したプロファイル (*.mx4) を選択し、「開く」をクリックします。

43 選択したプロファイルが指定されていることを確認したら「印刷」をクリックします。



1 章 事前準備

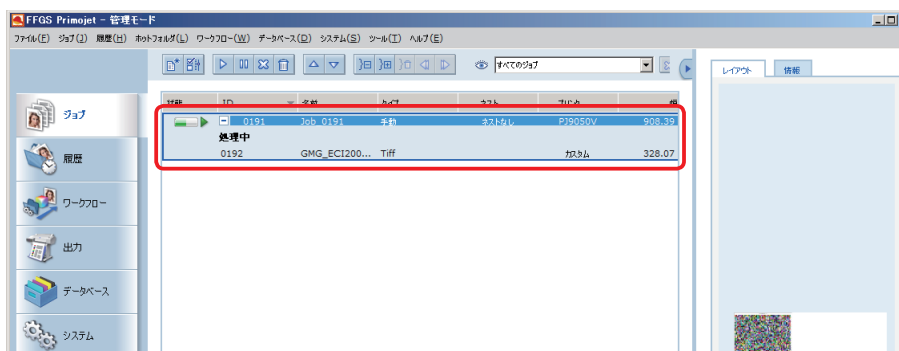
2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

44 チャート出力後、乾燥時間を設けてからカットしてください。
 ※色を安定させる為、必ず乾燥時間を設けてください。
 ※カットする際、印刷部分に定規などが当たってこすれたり剥げたりしないようご注意ください。



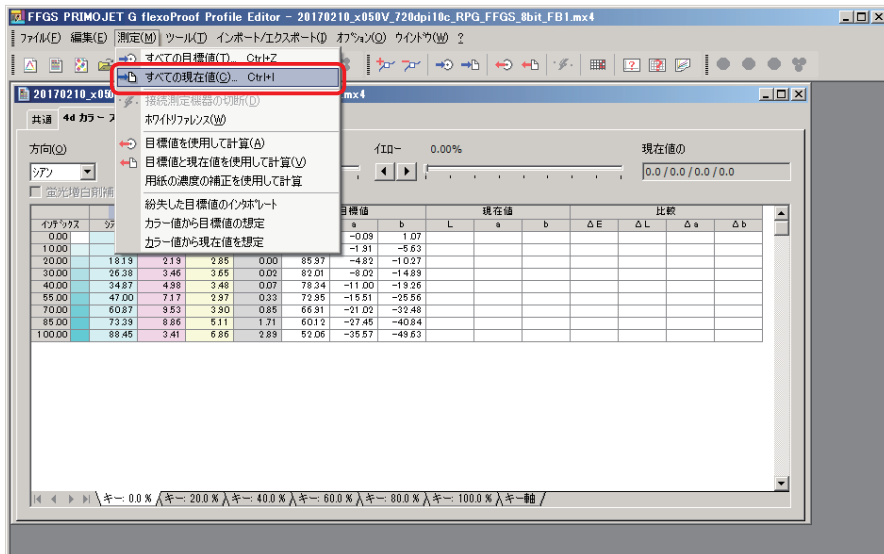
<乾燥時間>

リアルプルーフ G/H/R/W/O/P : 5分

リアルプルーフ MK : 10分

STEP 7 **STEP 6** のチャートを測色 → ターゲットと比較 → **2 回目**のFB

45 カットしたチャートを測色器にセットしたら、プロファイルエディタの「測定」メニューから「すべての現在値」をクリックします。測色が始まります。



事前準備 1章

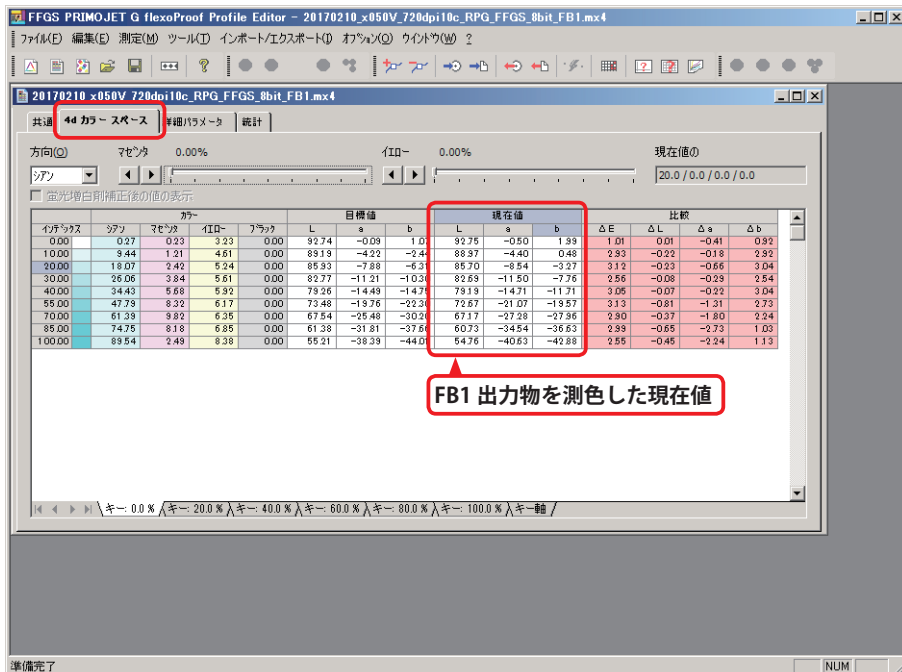
プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

46 測色が終了すると、「4d カラースペース」タブの「現在値」欄に測色値が表示されます。



47 「統計」タブをクリックし、「すべての平均」と「最大 ΔE 」が **34** 番で控えた数値より小さくなっていることを確認します。「すべての平均」が「1.0」を下回っていない場合、確認した数値をメモ等に控えて次に進みます。

目安となる目標精度

品質保証紙・推奨紙の場合、「すべての値の平均」の目安が「1.0」程度です。ターゲットの刷りムラなどが原因で「1.0」程度にならないことがあります。

CHECK!
図に示した「平均 ΔE 」と「最大 ΔE 」が共に FB0 より小さくなっていることを確認してください。

値	b	現在値	b	ΔE	L	比較	Δa	Δb
26	80.56	80.21	4.47	314	0.56	-1.58		
50	77.21	77.21	0.00	359	0.25	-1.76		
44	12.31	83.26	-111.01	14.95	38	-318	0.21	3.28
59	54.18	59.35	29.51	56.72	00	182	0.25	-0.98
84	23.46	52.52	-6.44	26.08	99	-318	-0.21	2.98
85	61.72	83.86	-9.06	64.27	90	-314	0.18	2.88
89	74.97	76.94	1.081	77.11	62	-340	-0.17	2.66
81	10.92	59.23	17.91	19.27	100	37	0.00	-1.58
13	52.76	76.74	-7.19	55.09	252	2.43	-0.20	-0.58
10	11.85	31.51	-47.30	11.81	252	0.12	0.30	2.80
61	-41.85	-48.95	-40.97	-40.89	246	2.11	0.06	-1.25
10000	0.00	100.00	80.00	86.55	16.86	69.95	64.32	-33.24
7000	10.00	0.00	0.00	62.72	19.07	6.88	0.37	63.64
10000	10.00	10.00	20.00	81.47	14.59	16.56	14.28	44.89
-40.00	0.00	70.00	0.00	341.6	16.78	59.64	0.72	741.4
					-22.11	31.98	741.4	-22.33
					33.94	2.95	0.06	-0.11
					2.95			2.95

1 事前準備

2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

48 ΔE を確認したら「ファイル」メニューから「保存」をクリックします。

memo

ここで上書き保存しておくことで「統計」タブの ΔE 値表示が保持されます。つまり、FB1のプロファイルにFB1の測色結果が記録されます。上書き保存しないと次のステップで行う作業によって表示が消えてしまいます。あくまで表示が消えるだけで作業に問題はありませんが、後の工程で前作業に立ち戻って ΔE 値を確認したいケースなどに備え、上書き保存して ΔE 表示を保持しておくことをおすすめします。

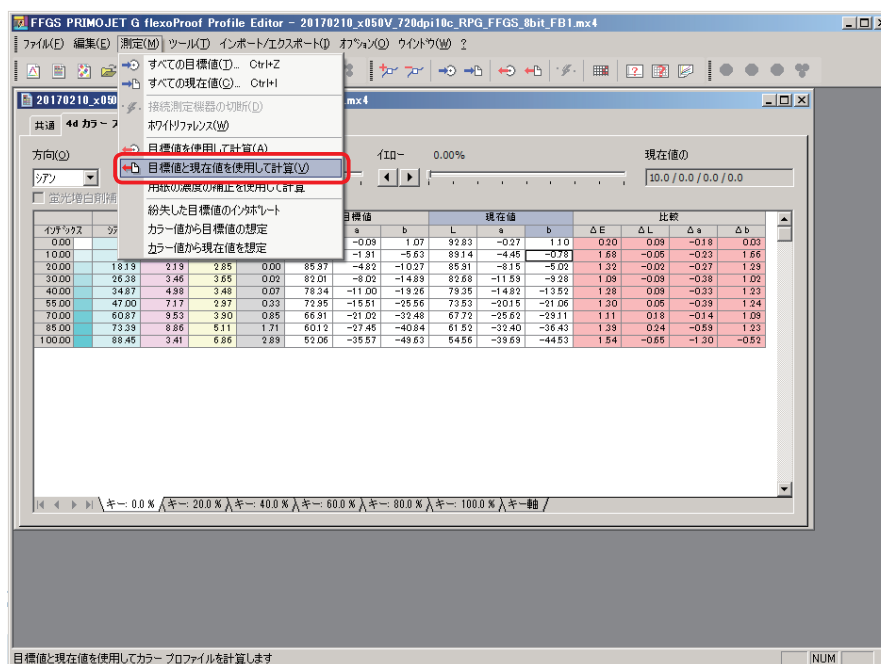
5 その他

8bit プロファイル 2 回目のフィードバック

49

再び「4d カラースペース」タブをクリックし、「測定」メニューから「目標値と現在値を使用して計算」をクリックします。

※必ず「4d カラースペース」タブを選択した状態で「目標値と現在値を使用して計算」をクリックしてください。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

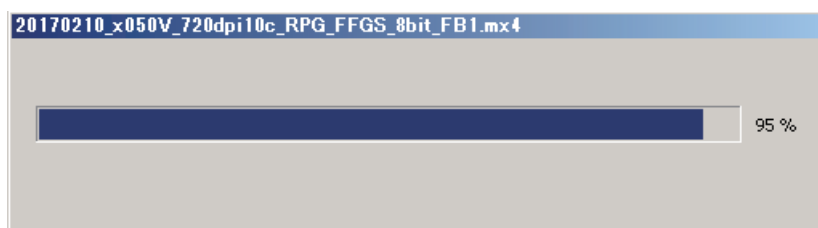
4章

その他

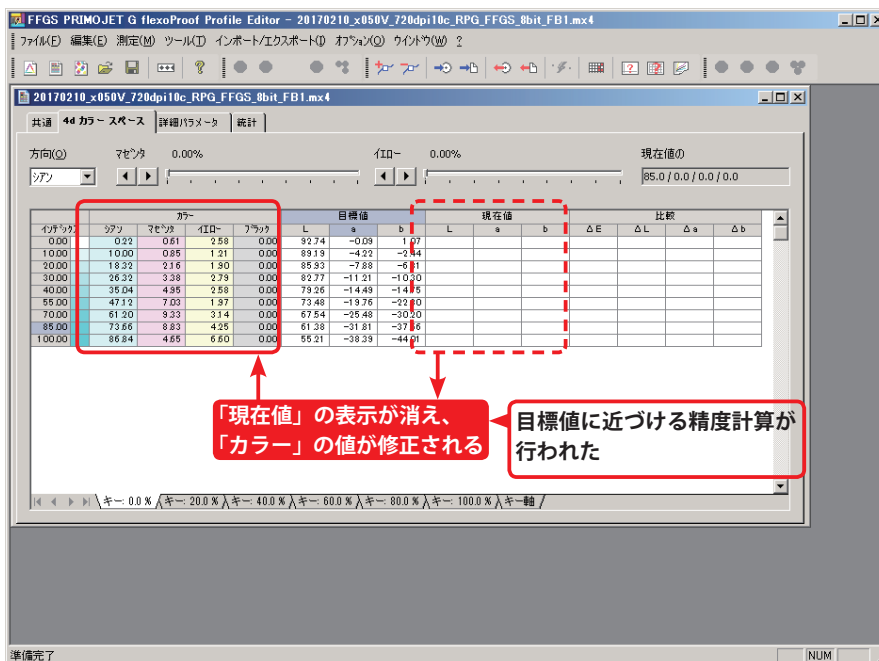
5章

50

計算の進捗状況が表示されます。



51 計算が終了すると「現在値」の表示が消え、「カラー」の値が修正されます。



1 事前準備

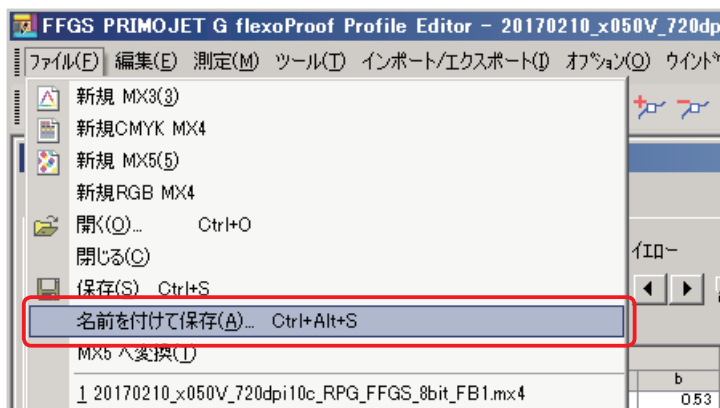
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

5 その他

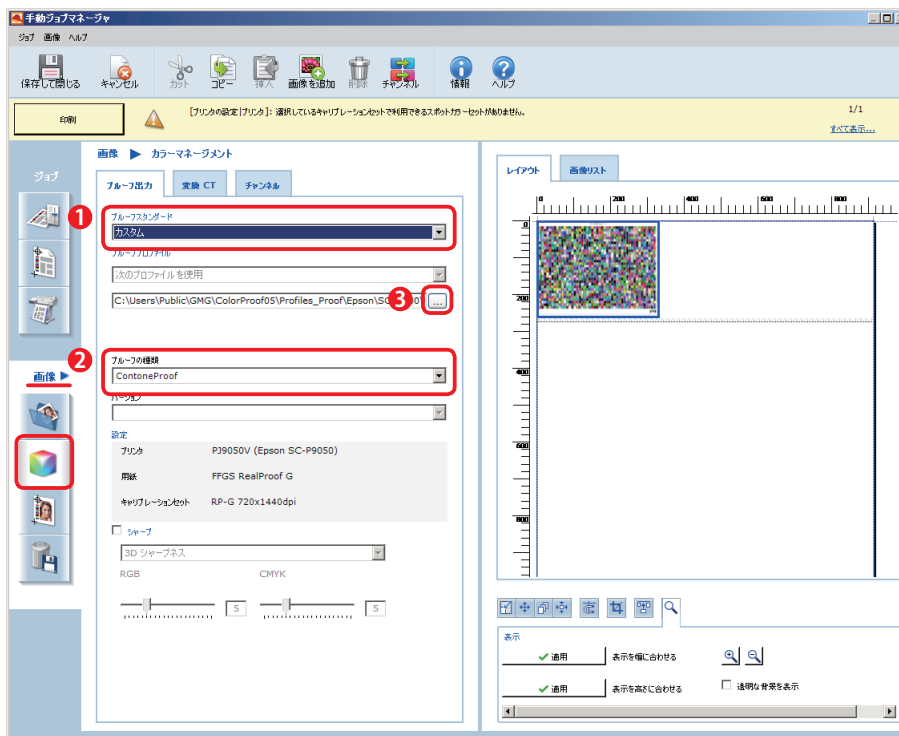
52 「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリックします。



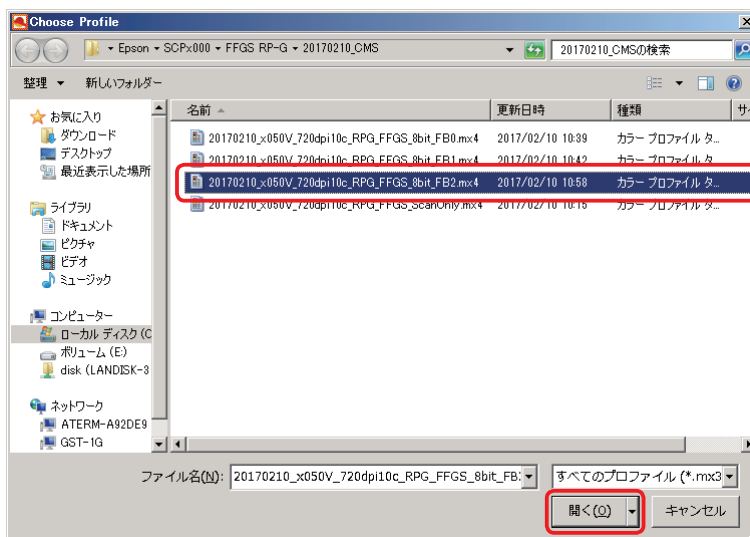
55

手動ジョブマネージャが表示されたら、以下の設定を行います (1 ~ 3)。

画像 / カラーマネージメント



- ① 「プルーフスタンダード」 → 「カスタム」が選択されていることを確認
- ② 「プルーフの種類」 → 「ContoneProof」が選択されていることを確認
- ③ ... をクリック



53番で保存したプロファイル (*.mx4) を選択し、「開く」をクリックします。

1章 事前準備

2章 プロファイルの作成

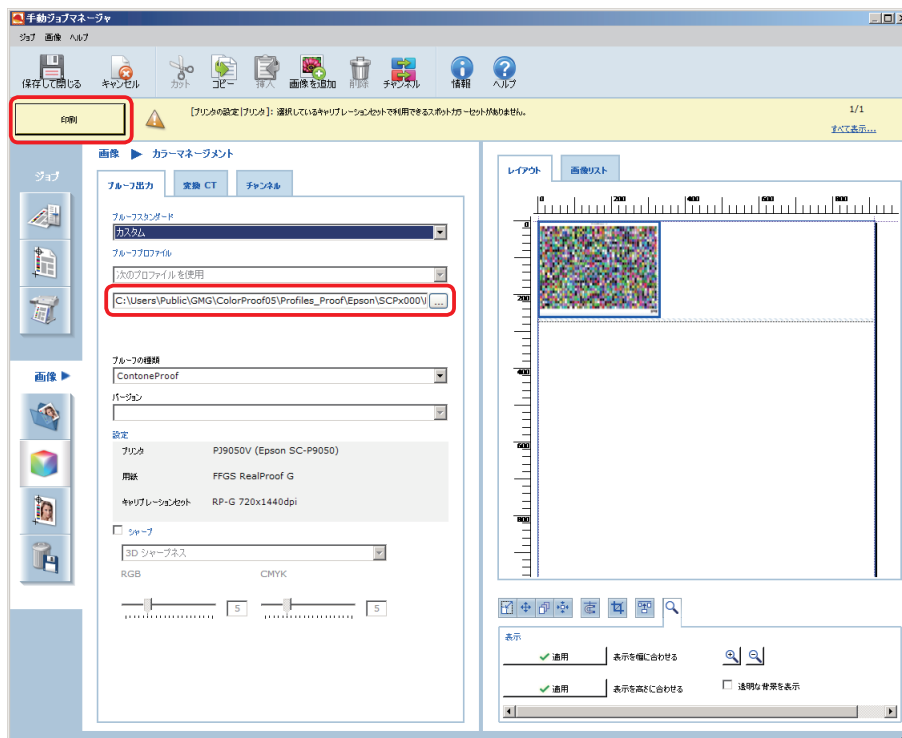
3章 プロファイルの修正

4章 プロファイルの適用

5章 その他

56

選択したプロファイルが指定されていることを確認したら「印刷」をクリックします。



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

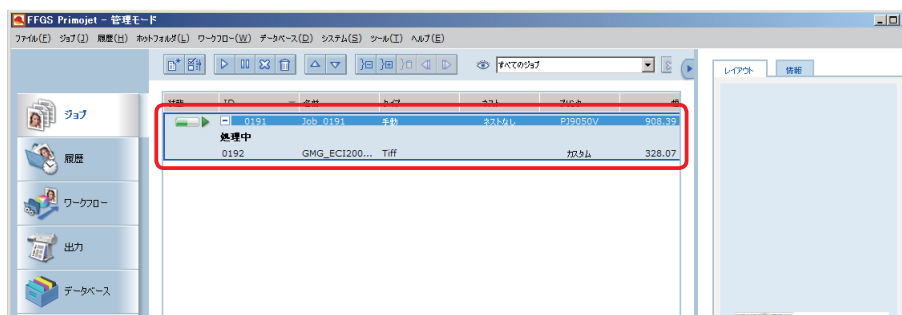
その他 5章

57

チャート出力後、乾燥時間を設けてからカットしてください。

※色を安定させる為、必ず乾燥時間を設けてください。

※カットする際、印刷部分に定規などが当たってこすれたり剥げたりしないようご注意ください。



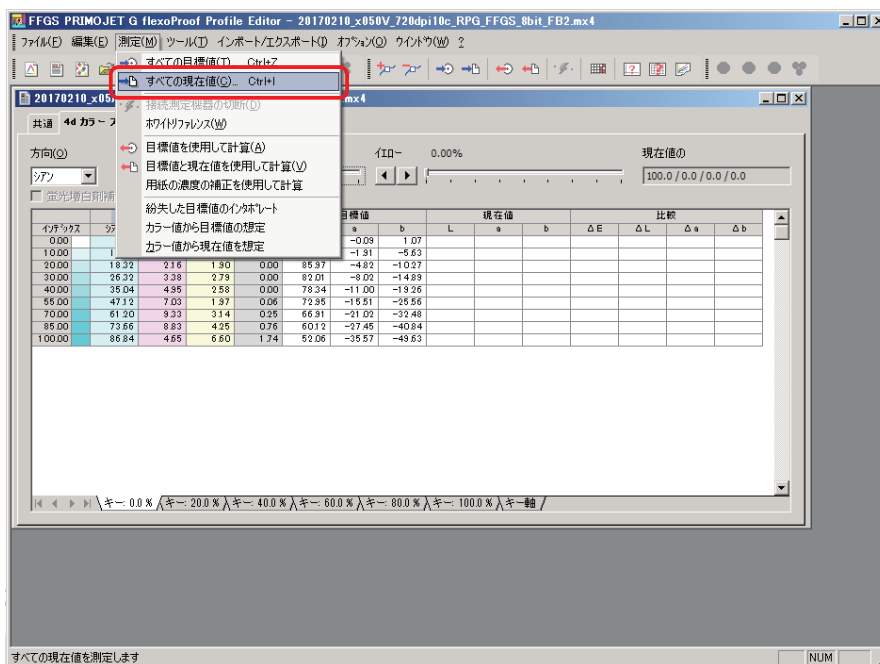
<乾燥時間>

リアルプルーフ G/H/R/W/O/P : 5分

リアルプルーフ MK : 10分

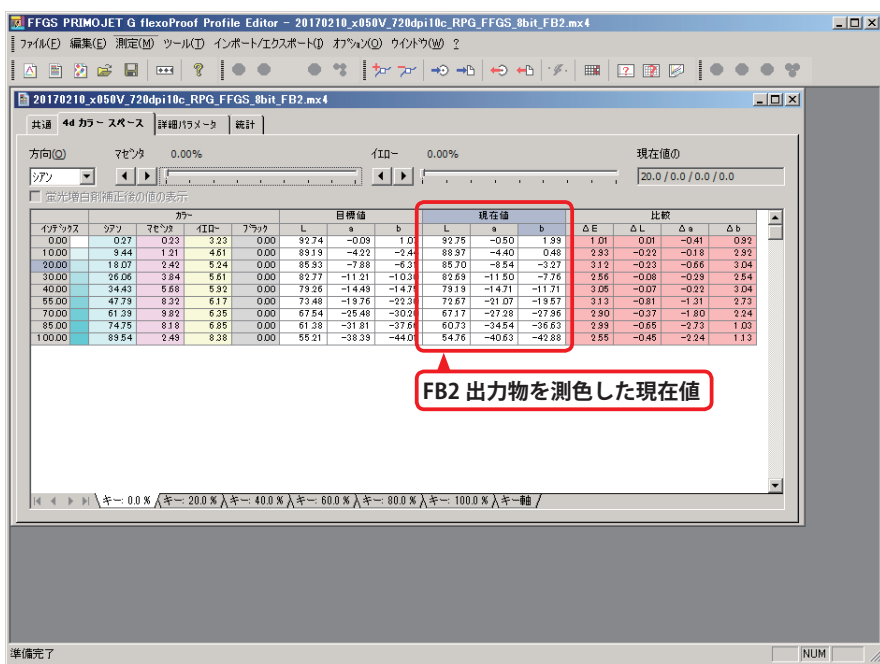
STEP 9 **STEP 8** のチャートを測色 → ターゲットと比較

58 カットしたチャートを測色器にセットしたら、プロファイルエディタの「測定」メニューから「すべての現在値」をクリックします。測色が始まります。



- 1 事前準備
- 2 プロファイルの作成
- 3 プロファイルの修正
- 4 プロファイルの適用
- 5 その他

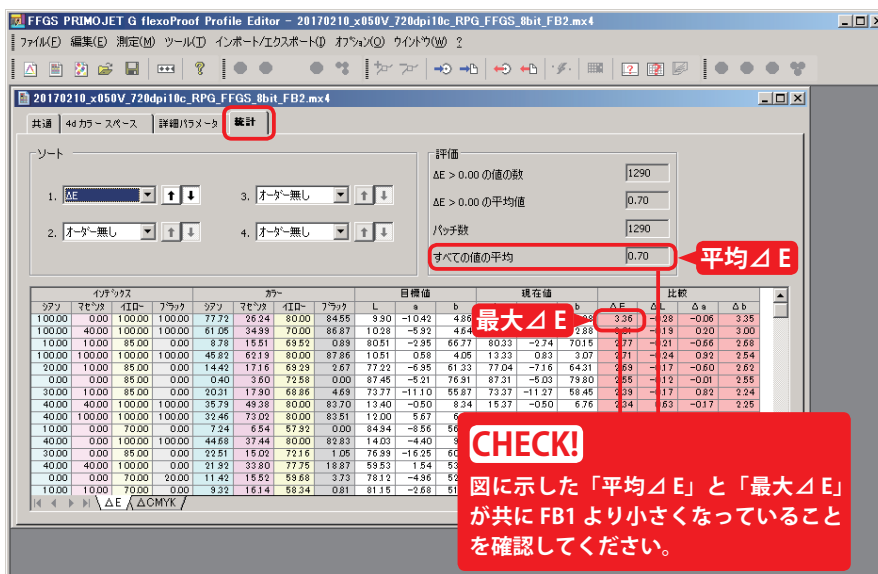
59 測色が終了すると、「4d カラースペース」タブの「現在値」欄に測色値が表示されます。



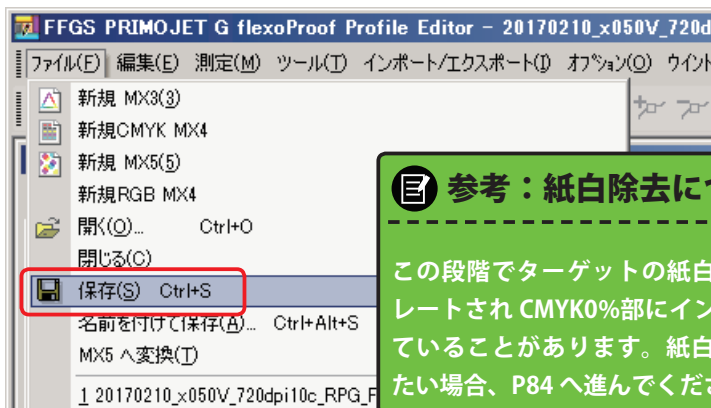
60 「統計」タブをクリックし、「すべての平均」と「最大ΔE」が47番で控えた数値より小さく、かつ「すべての平均」が「1.0」程度になっているか確認します。

目安となる目標精度

品質保証紙・推奨紙の場合、「すべての値の平均」の目安が「1.0」程度です。ターゲットの刷りムラなどが原因で「1.0」程度にならないことがあります。



61 ΔEを確認したら「ファイル」メニューから「保存」をクリックします。



memo

ここで上書き保存しておくことで「統計」タブのΔE値表示が保持されます。つまり、FB2のプロファイルにFB2の測色結果が記録されます。上書き保存しないと次のステップで行う作業によって表示が消えてしまいます。あくまで表示が消えるだけで作業に問題はありませんが、後の工程で前作業に立ち戻ってΔE値を確認したいケースなどに備え、上書き保存してΔE表示を保持しておくことをおすすめします。

STEP 10 ターゲット出力物と目視の比較 → 良ければ終了
 必要であればプロファイルを調整

62 この段階で絵柄も含めた品質確認の出力を行い、必要であればプロファイルの色調整を行います。

8bit 運用する場合	
色調整する 必要がない	色調整する 必要がある
終了	P88

1bit 運用する場合
引き続き 1bit 用プロファイルを作成する
P56

8bit/1bit 併用する場合
8bit プロファイルの色調整後 (P88)、 引き続き 1bit 用プロファイルを作成する
P56

1章 事前準備

2章 プロファイルの作成

3章 プロファイルの修正

4章 プロファイルの適用

5章 その他

2章
2ドットブルーフ (1bit) 用
プロファイルを作成する

実運用でご使用の RIP から書き出されたターゲット印刷物（出力物）の **1bitTIFF データ** をご用意頂き、以下の手順に従って操作してください。

！ 注意

プロファイル作成及び作成後の運用で使用する 1bitTIFF データは **リニア** の状態にしてください。カーブやバイスリンクプロファイル、キャリブレーションなどを設定せず 50% が 50% の網になるよう 1bitTIFF を生成してください。リニアでない 1bitTIFF でプロファイルを作成すると精度が出なかったり、トーンジャンプが起きる場合があります。

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

4章

その他

5章

作業の流れ (詳細)

STEP 1

(P59) 作成した 8bit 用 mx4 を 1bit 用 mx5 に変換

STEP 2(P63) **STEP 1** の **FB0** 回の mx5 を適用してチャート出力**STEP 3**(P67) **STEP 2** のチャートを測色 → ターゲットと比較 → **1 回目の FB****STEP 4**(P71) **STEP 3** の **FB1** 回の mx5 を適用してチャート出力**STEP 5**(P74) **STEP 4** のチャートを測色 → ターゲットと比較 → **2 回目の FB****STEP 6**(P79) **STEP 5** の **FB2** 回の mx5 を適用してチャート出力**STEP 7**(P82) **STEP 6** のチャートを測色 → ターゲットと比較

✓ 目安となる目標精度は ΔE が「1.0」程度 (品質保証紙・推奨紙の場合)

STEP 8

(P85) ターゲット出力物と目視の比較 → 良ければ終了

✓ 必要であればプロファイルを調整

「FB」・・・目標値と現在値を比較し精度アップする為のフィードバック計算

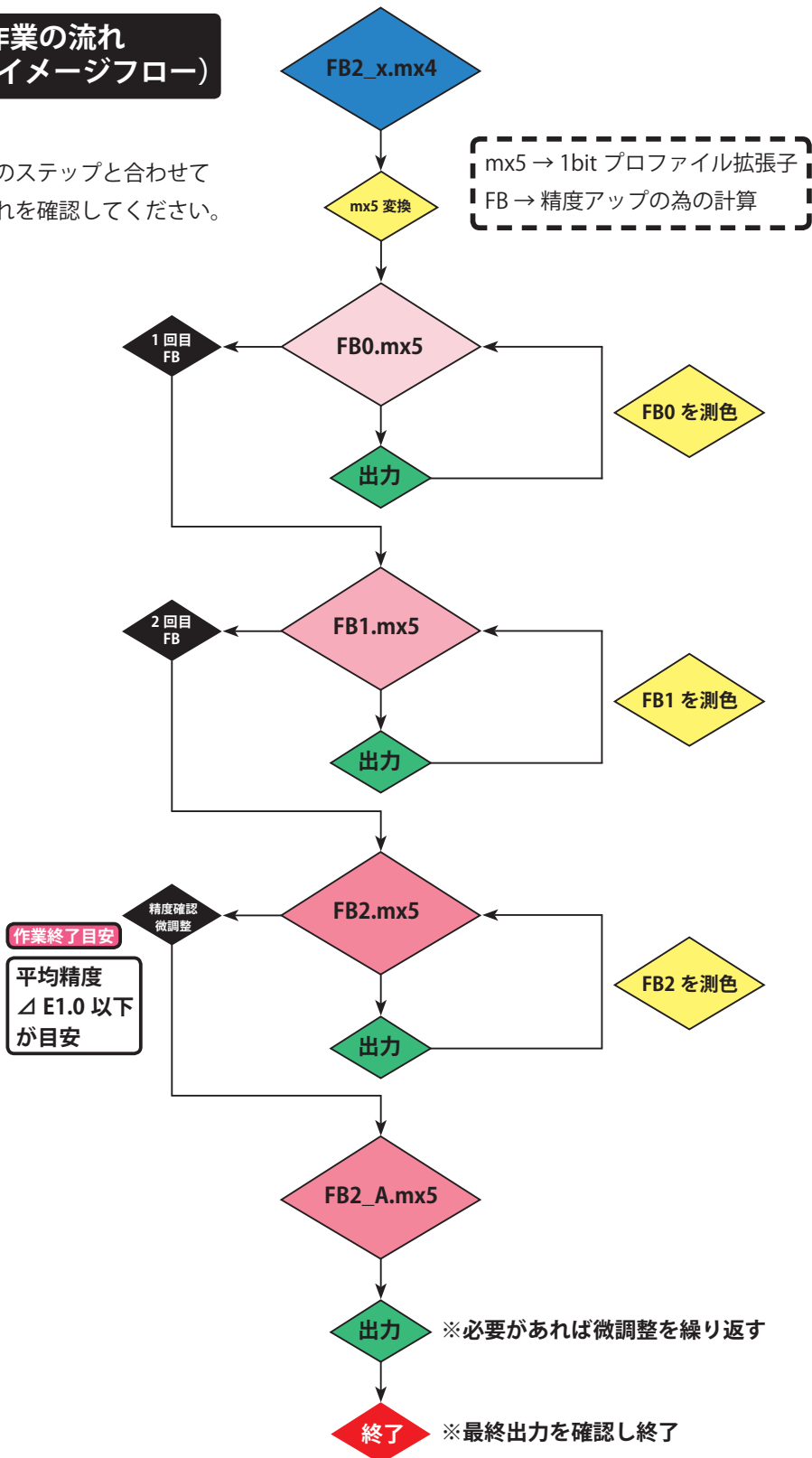
注意



品質保証紙・推奨紙をお使いください。それら以外の用紙での収束精度及び品質結果については保証致しかねます。

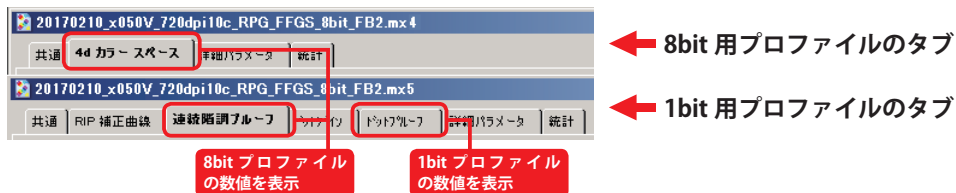
**作業の流れ
(イメージフロー)**

左のステップと合わせて
流れを確認してください。



- 1 章 事前準備
- 2 章 プロファイルの作成
- 3 章 プロファイルの修正
- 4 章 プロファイルの適用
- 5 章 その他

8bit プロファイルと 1bit プロファイルのタブの違い



本章では 1bit 用プロファイルである mx5 を作成します。前章で作成した mx4 を mx5 へ変換しますが、mx5 に変換されるとタブが増えます。なお、8bit 用プロファイルの「4d カラースペース」タブは mx5 変換後「連続階調ブルーフ」タブという名称に変わりますが、「連続階調ブルーフ」タブは変換前の 8bit プロファイルと全く同じ数値を保持しています。「ドットブルーフ」タブは 1bit プロファイルを表しています。

事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

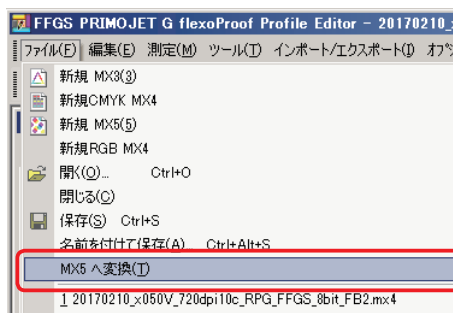
プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

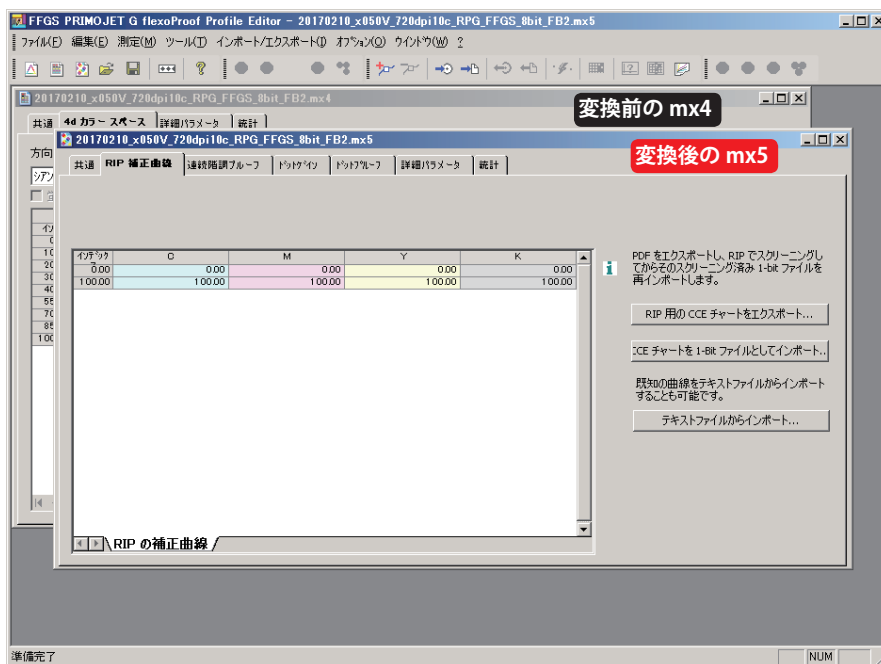
その他 5章

STEP 1 1章で作成した 8bit 用 DLP を 1bit 用 mx5 に変換

- 1** 1章で作成した 8bit 用プロファイルを開いた状態で、「ファイル」メニューから「MX5 へ変換」をクリックします。



- 2** 1bit 用プロファイル (mx5) に変換されます。



1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

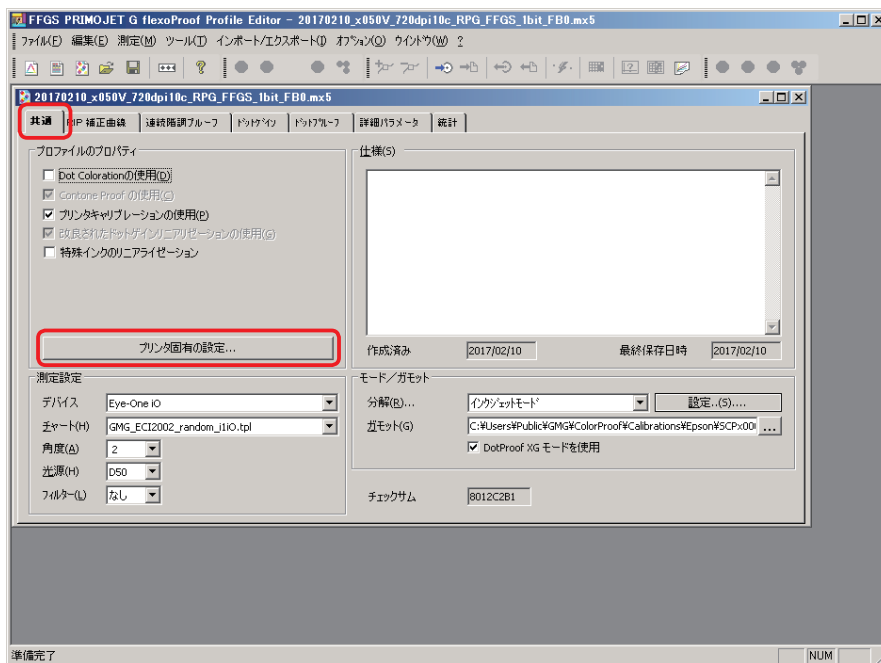
3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

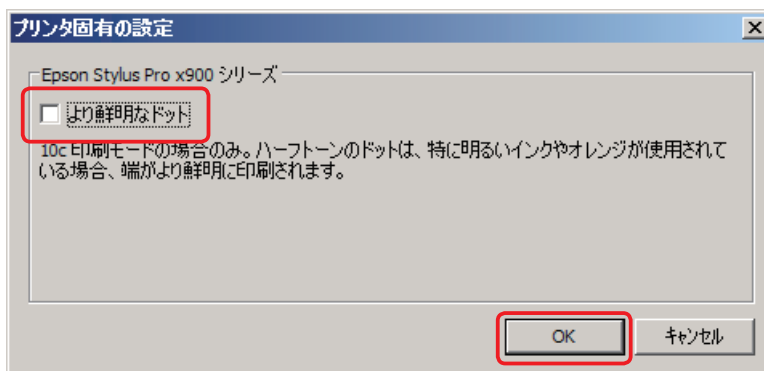
5

「共通」タブの「プリンタ固有の設定」をクリックします。



6

以下のウィンドウが表示されたら、「より鮮明なドット」のチェックを外し、「OK」をクリックします。



1 事前準備

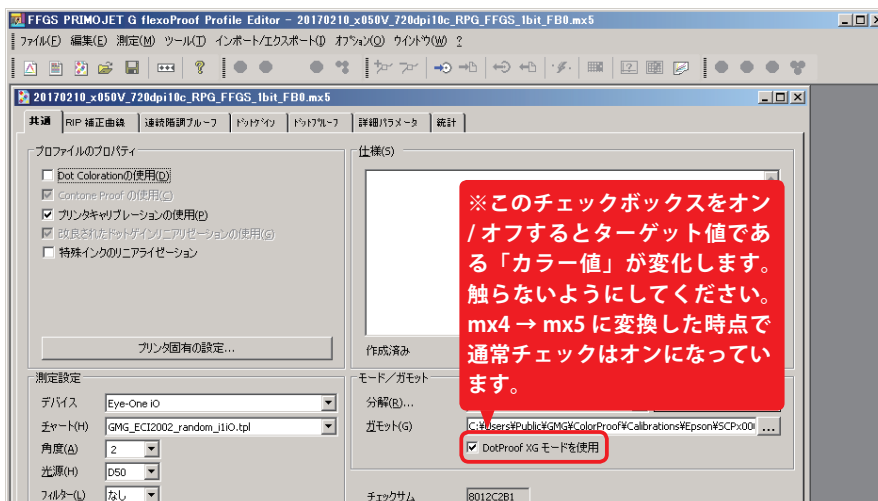
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

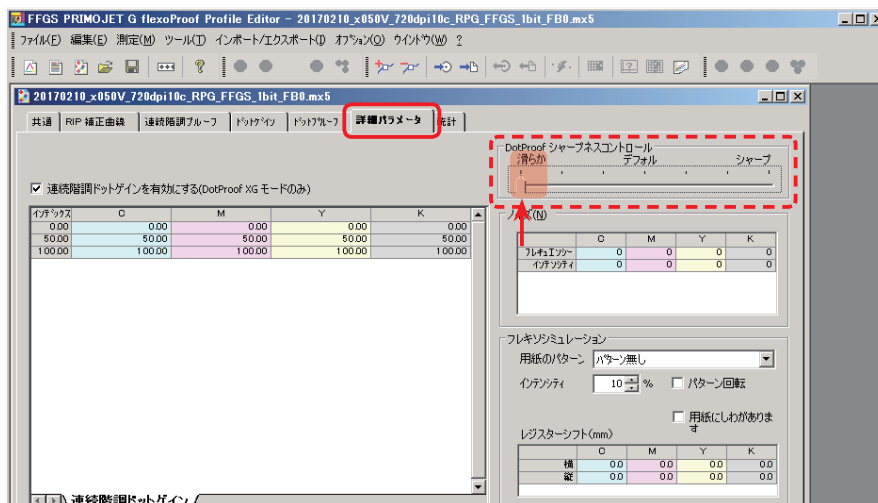
4 プロファイルの適用

5 その他

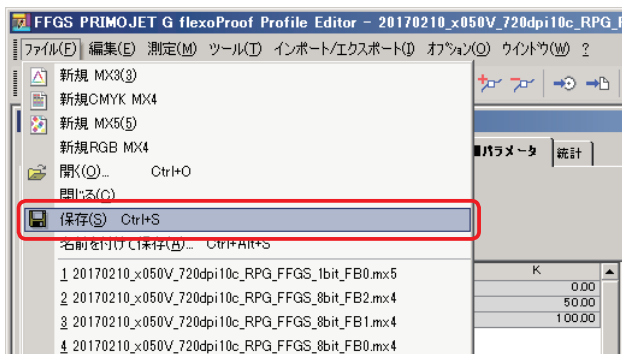
7 「共通」タブに戻ったら、「DotProof XG モードを使用」のチェックが外れていないことを確認します（＝チェックが入っている状態はそのまま触らない）。



8 「詳細パラメータ」タブをクリックし、「DotProof シャープネスコントロール」のスライダーを一番左の「滑らか」に設定します。

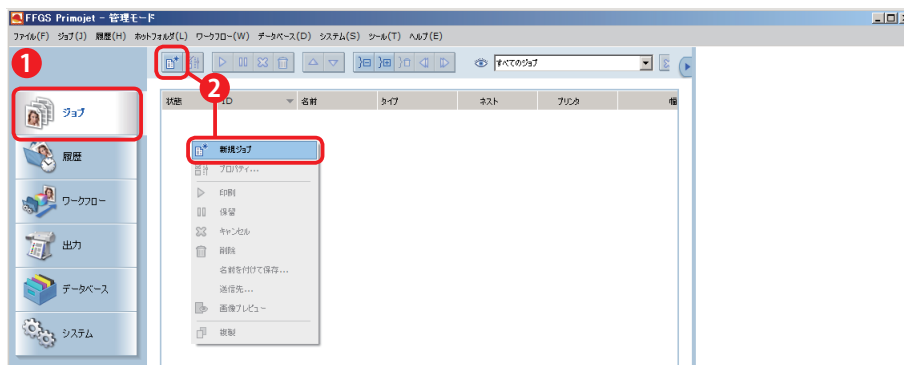


9 「ファイル」メニューから「保存」をクリックします。

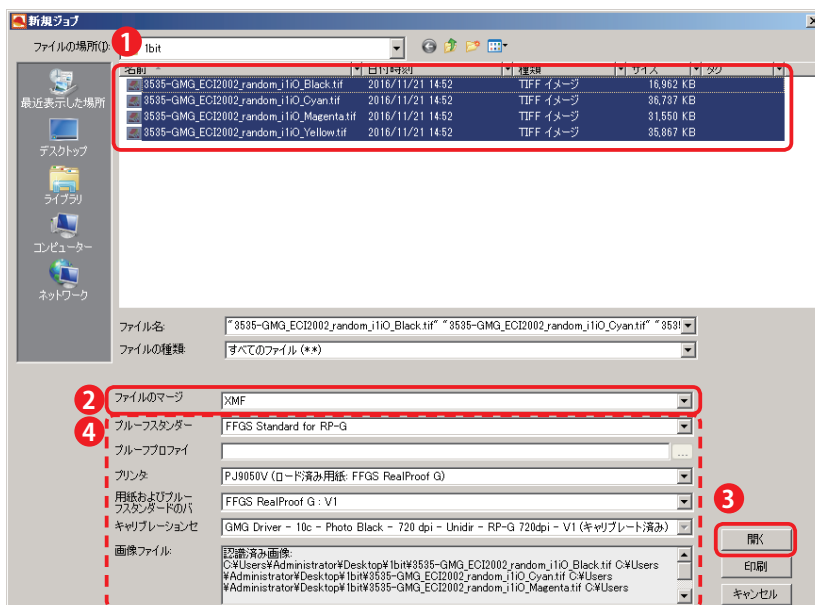


STEP 2 **STEP 1** の **FBO** 回の mx5 を適用してチャート出力

- 10** PRIMOJET SOFT-XGに戻ります。「ジョブ」ビュー (①) の何もないところで右クリックし、「新規ジョブ」をクリック、または「新規ジョブ」アイコン (②) をクリックします。



- 11** 「新規ジョブ」ウィンドウが表示されたら、お使いの RIP にて生成した 1bitTIFF ファイルを選択 (①)、環境に合った「ファイルのマージ」パターン (②) を選択したら「開く」をクリックします (③)。その他の設定は次のステップで変更しますので何を選択していても構いません (④)。



1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

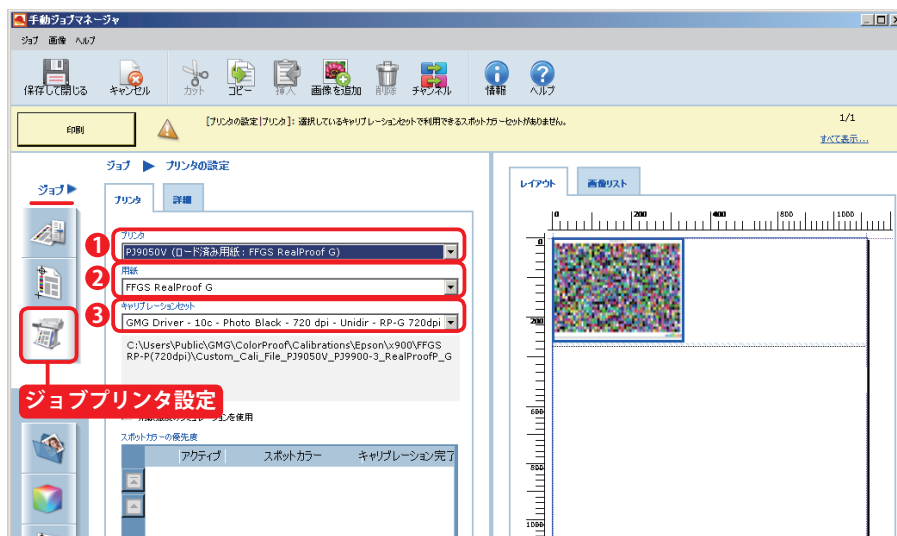
3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

12 手動ジョブマネージャが表示されたら以下の設定を行います (①～⑥)。

ジョブ/ジョブプリンタ設定



- ①「プリンタ」→ お使いのプリンタを選択
- ②「用紙」→ お使いの用紙を選択
- ③「キャリブレーションセット」→ お使いのキャリブレーションを選択

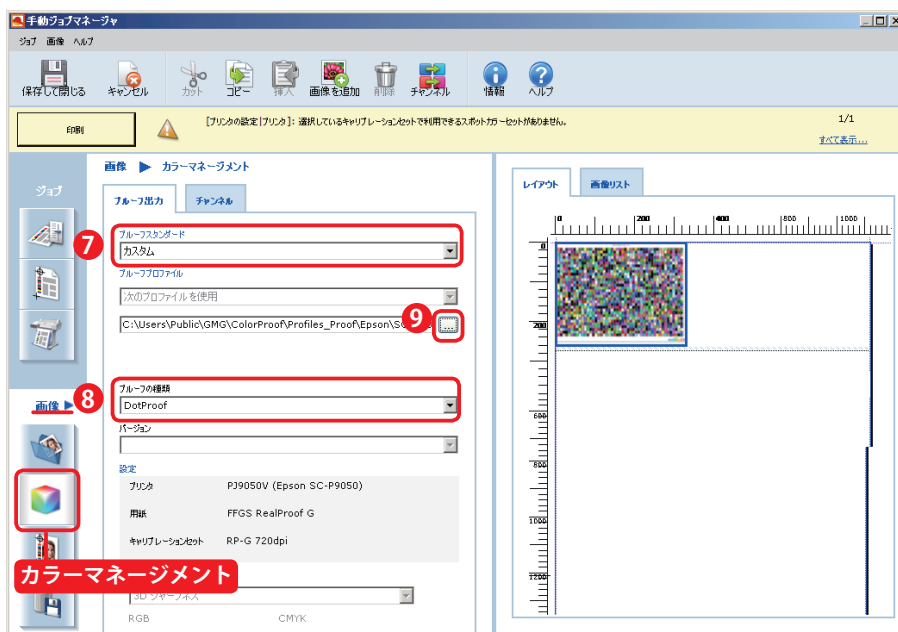
注意
 単方向印刷/双方向印刷の切替について P36 をご参照ください。

画像 / 画像ファイル設定

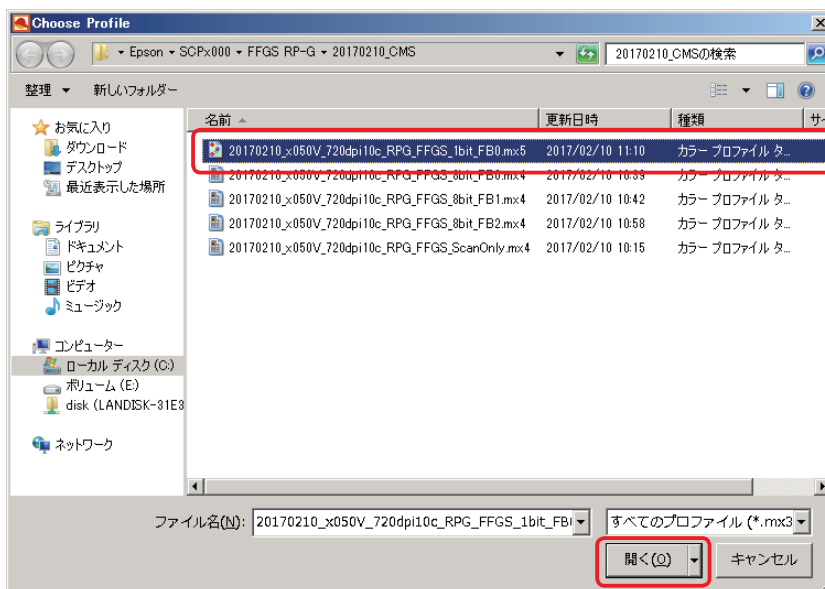


- ④「スクリーン線数」→ 1bitTIFF の線数を入力 (例：175)
- ⑤「標準測定角」→ 1bitTIFF の網角度を入力
- ⑥「Screening」→ 「スクリーン」を選択

画像 / カラーマネージメント



- ⑦ 「プルーフスタンダード」 → 「カスタム」 を選択
 ⑧ 「プルーフの種類」 → 「DotProof」 を選択 (= mx5 は必ず DotProof を選択)
 ⑨ ... をクリック



- ⑨ ⑨番で保存したプロファイル (*.mx5) を選択し、「開く」をクリックします。

1 章 事前準備

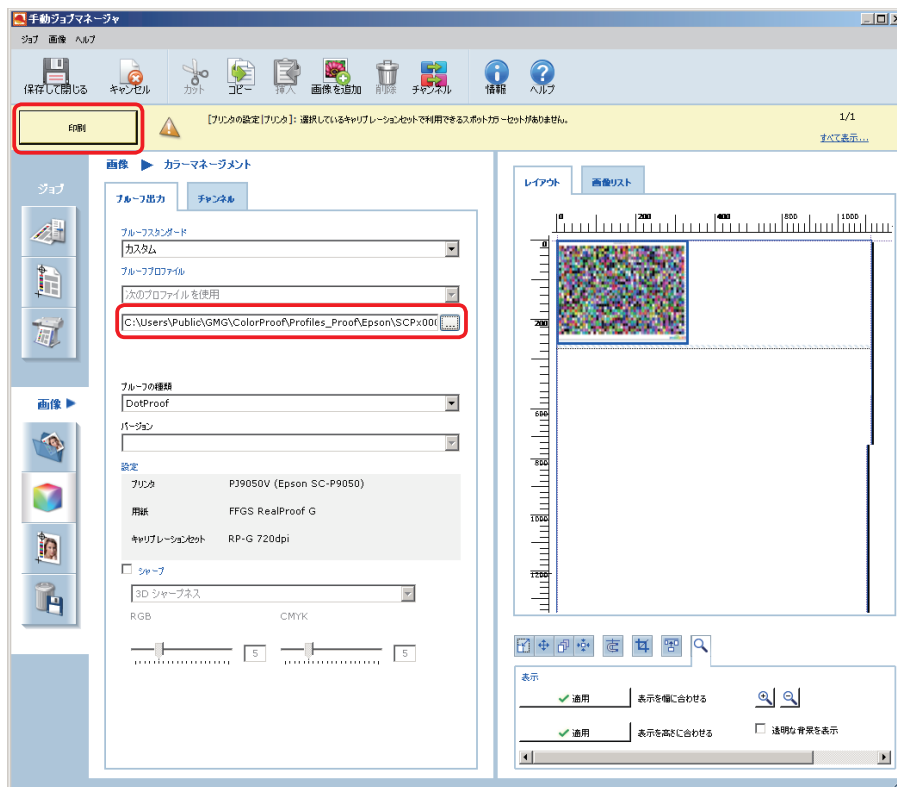
2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

選択したプロファイルが指定されていることを確認したら「印刷」をクリックします。



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

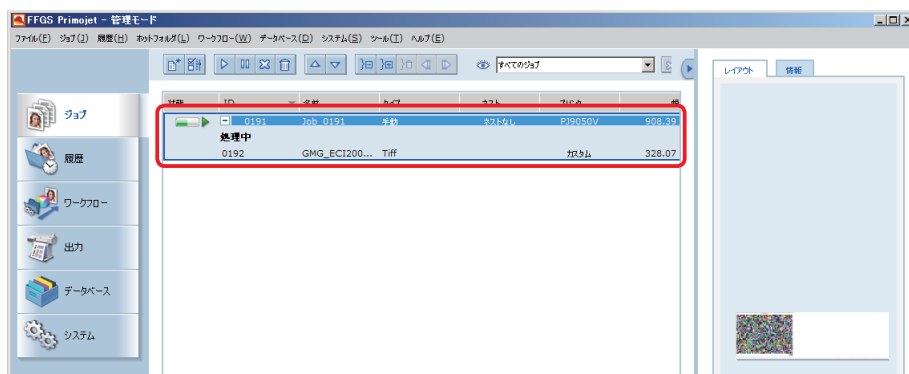
プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

13

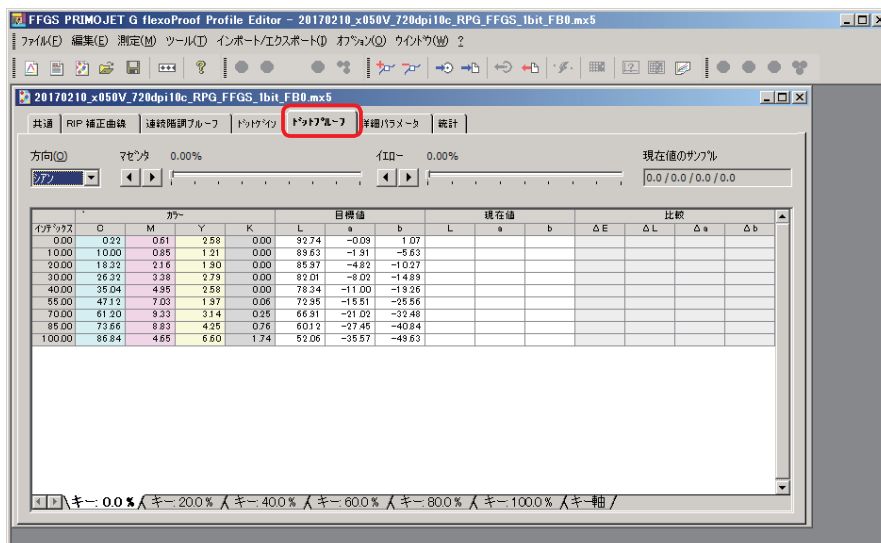
チャート出力後、乾燥時間を設けてからカットしてください。
 ※色を安定させる為、必ず乾燥時間を設けてください。
 ※カットする際、印刷部分に定規などが当たってこすれたり剥げたりしないようご注意ください。



<乾燥時間>
 リアルプルーフ G/H/R/W/O/P : 5分
 リアルプルーフ MK : 10分

STEP 3 **STEP 2** のチャートを測色 → ターゲットと比較 → **1 回目のFB**

14 プロファイルエディタに戻り、「ドットプルーフ」タブをクリックします。

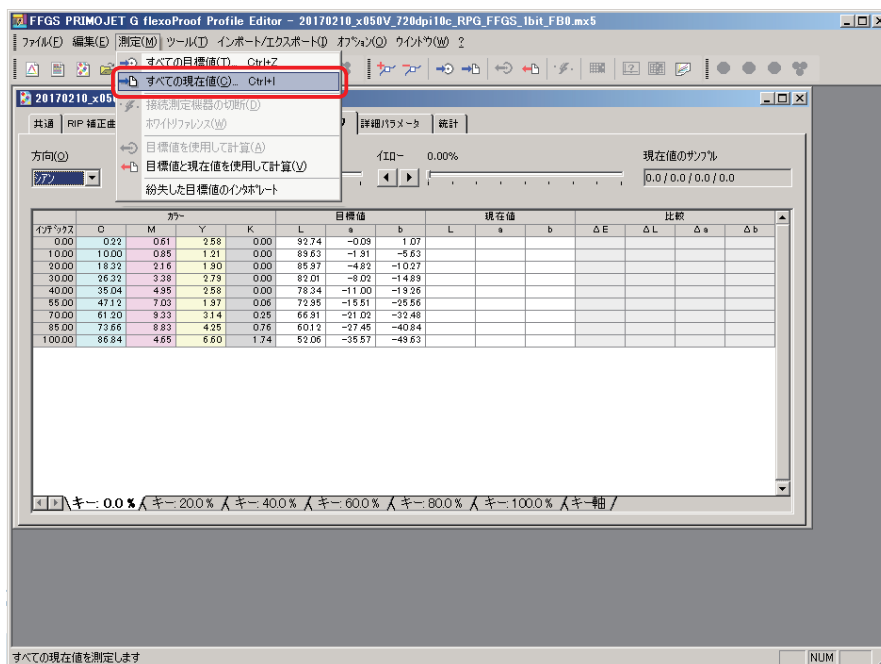


1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

15 カットしたチャートを測色器にセットしたら、「測定」メニューから「すべての現在値」をクリックします。測色が始まります。

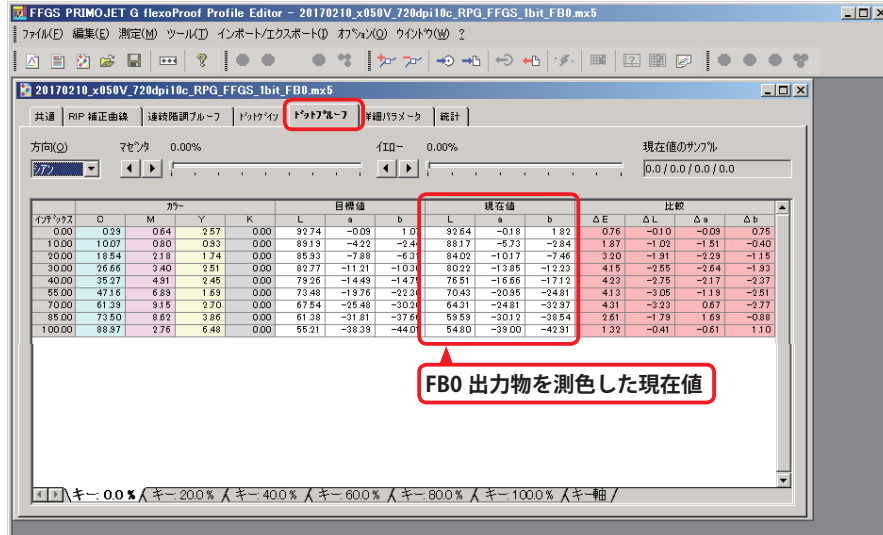


4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

16

測色が終了すると、「ドットプルーフ」タブの「現在値」欄に測色値が表示されます。



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

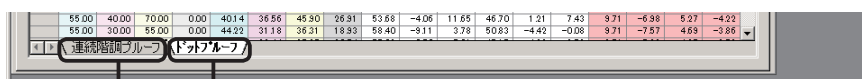
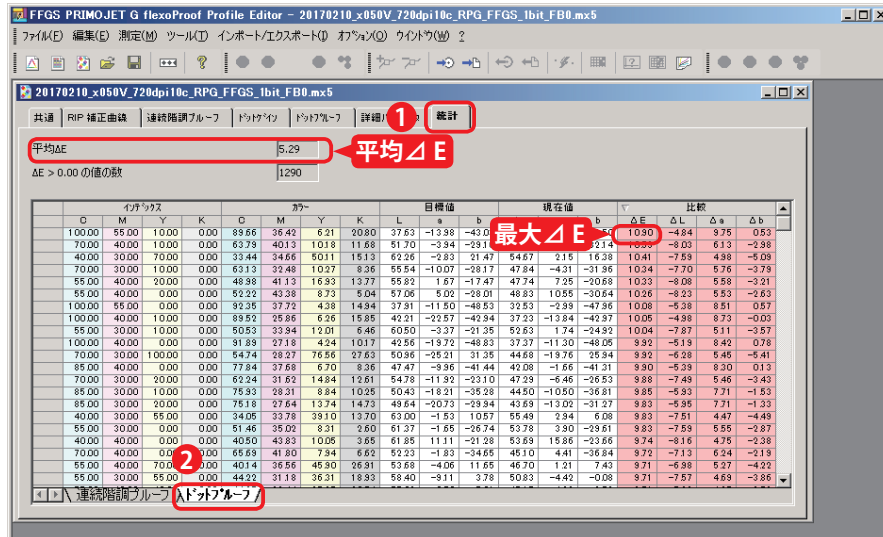
プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

17

「統計 (1)」タブの「ドットプルーフ」シート (2)」をクリックし、「すべての平均」と「最大ΔE」を確認します。「すべての平均」が「1.0」を下回っていない場合、確認した数値をメモ等に控えて次に進みます。

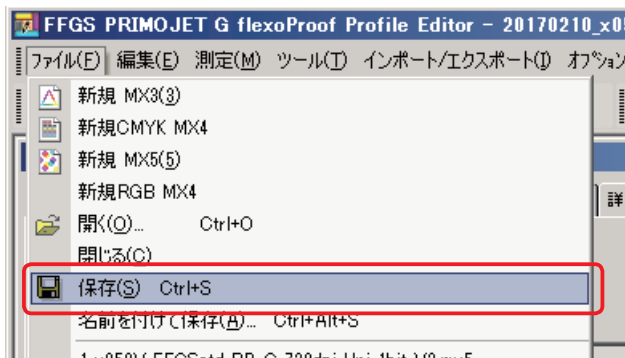


1bitの測色結果を表示
(本章ではこちらを確認)

8bitの測色結果を表示

1bit用プロファイル作成時は必ず「ドットプルーフ」シートのΔEを確認してください。

18 「ファイル」メニューから「保存」をクリックします。



memo

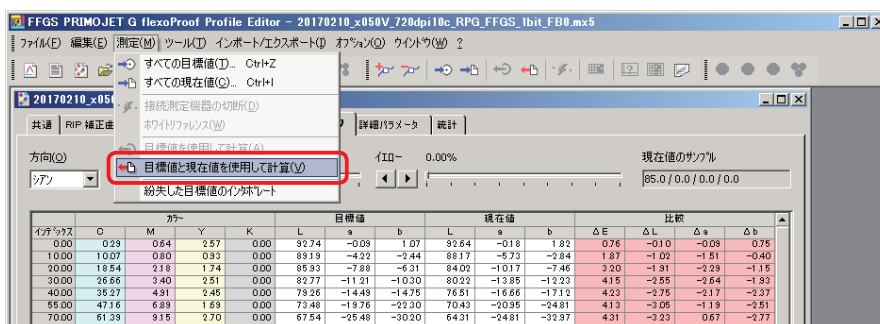
ここで上書き保存しておくことで ΔE 値表示が保持されます。つまり、FB0のプロファイルにFB0の測色結果が記録されます。上書き保存しないと次のステップで行う作業によって表示が消えてしまいます。あくまで表示が消えるだけで作業に問題はありませんが、後の工程で前作業に立ち戻って ΔE 値を確認したいケースなどに備え、上書き保存して ΔE 表示を保持しておくことをおすすめします。

1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

1bit プロファイル 1回目のフィードバック

19 再度「ドットプルーフ」タブをクリックし、「測定」メニューから「目標値と現在値を使用して計算」をクリックします。
 ※必ず「ドットプルーフ」タブを選択した状態で「目標値と現在値を使用して計算」をクリックしてください。

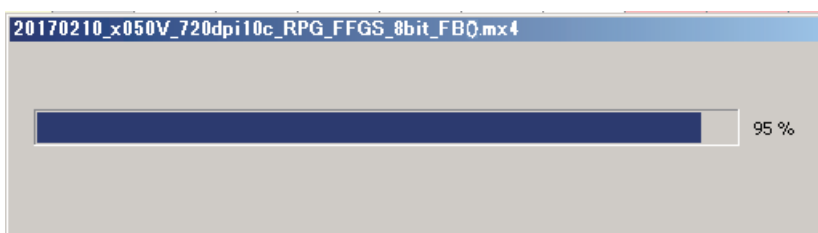


3 章 プロファイルの修正

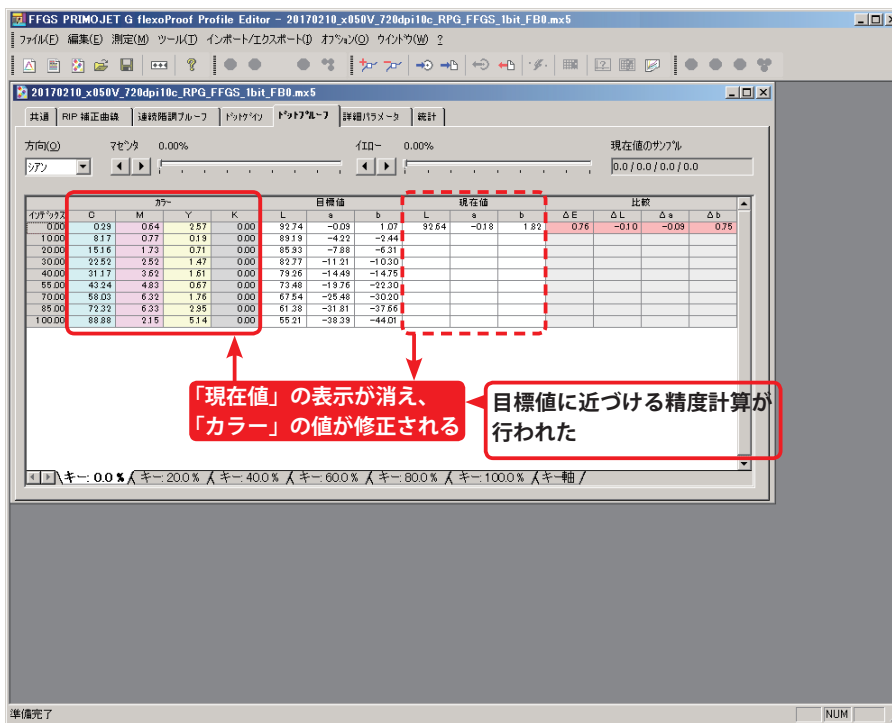
4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

20 計算の進捗状況が表示されます。



21 計算が終了すると「現在値」の表示が消え、「カラー」の値が修正されます。



事前準備 1章

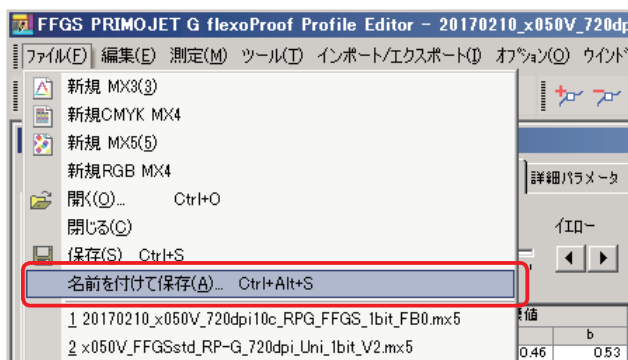
プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

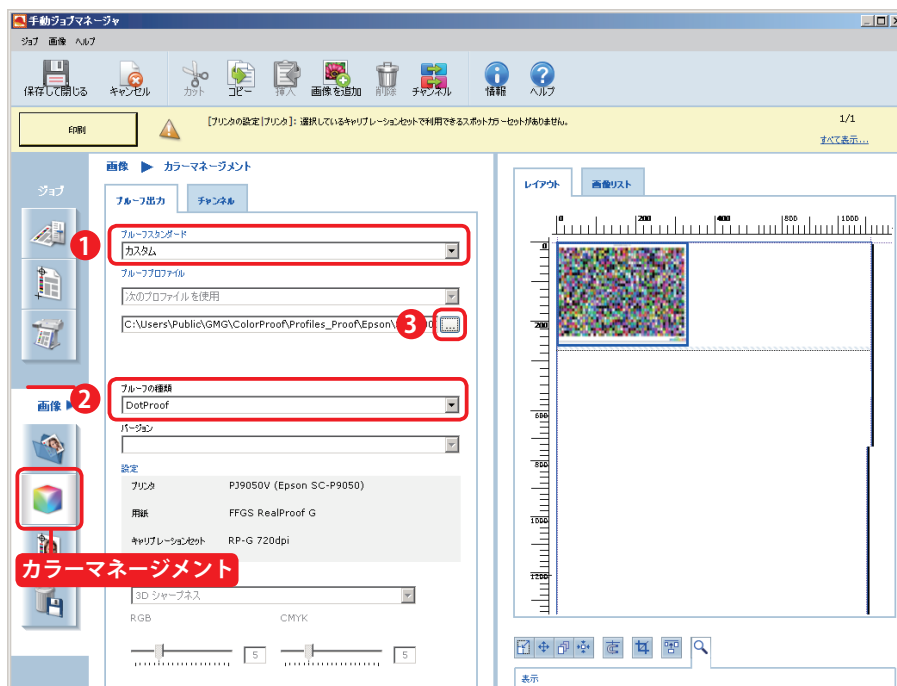
その他 5章

22 「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリックします。

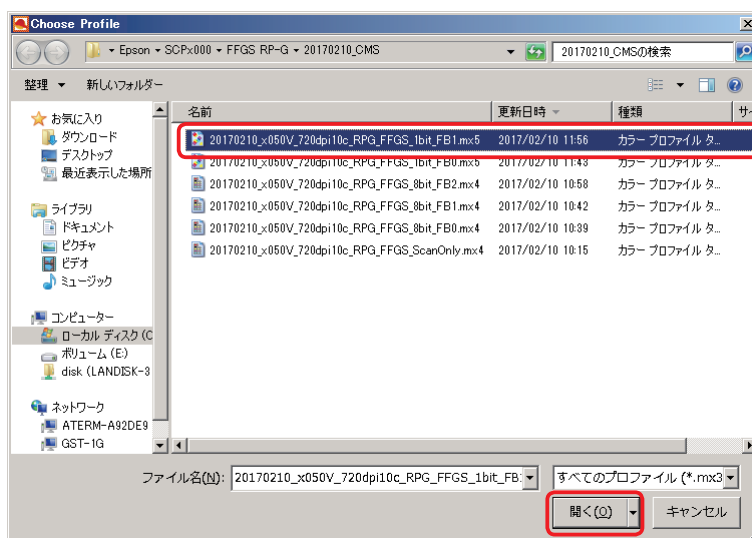


25 手動ジョブマネージャが表示されたら以下の設定を行います (1~3)。

画像 / カラーマネージメント

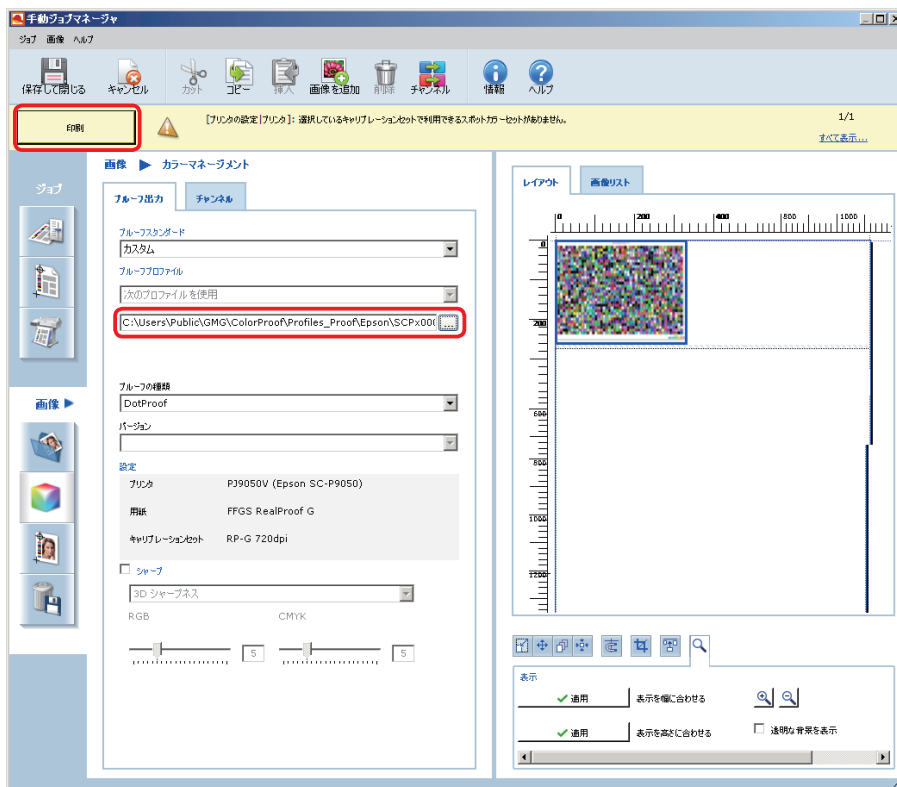


- ① 「ブルースタンダード」 → 「カスタム」が選択されていることを確認
- ② 「プルーフの種類」 → 「DotProof」が選択されていることを確認
- ③ ... をクリック



23 番で保存したプロファイル (*.mx5) を選択し、「開く」をクリックします。

26 選択したプロファイルが指定されていることを確認したら「印刷」をクリックします。



1 章 事前準備

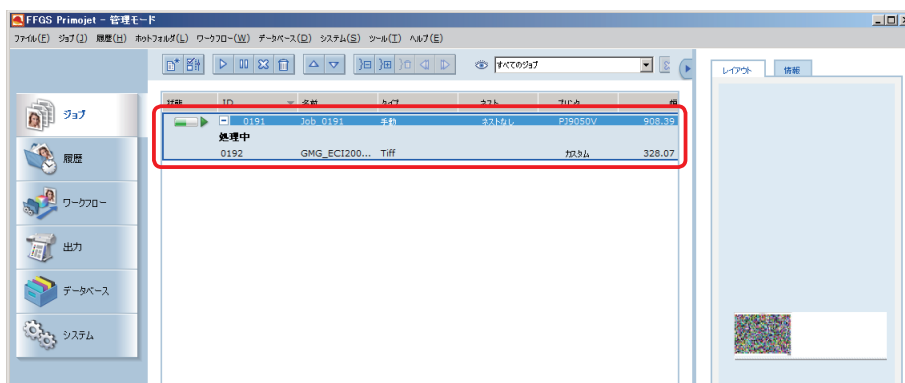
2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

27 チャート出力後、乾燥時間を設けてからカットしてください。
 ※色を安定させる為、必ず乾燥時間を設けてください。
 ※カットする際、印刷部分に定規などが当たってこすれたり剥げたりしないようご注意ください。

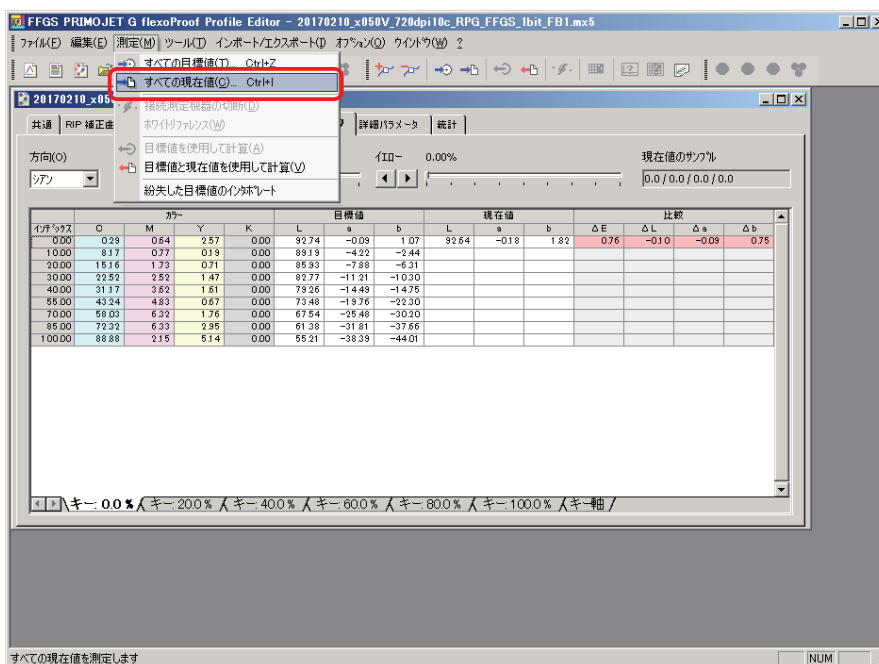


<乾燥時間>

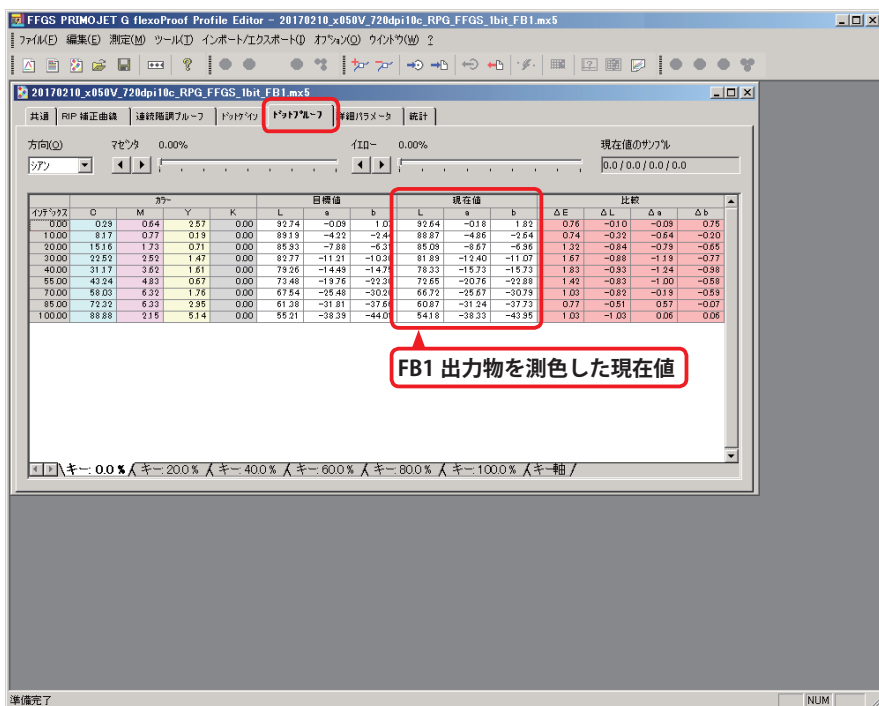
リアルプルーフ G/H/R/W/O/P : 5分
 リアルプルーフ MK : 10分

STEP 5 **STEP 4** のチャートを測色 → ターゲットと比較 → **2** 回目のFB

28 カットしたチャートを測色器にセットしたら、プロファイルエディタの「測定」メニューから「すべての現在値」をクリックします。測色が始まります。



29 測色が終了すると、「ドットブルーフ」タブの「現在値」欄に測色値が表示されます。



FB1 出力物を測色した現在値

30 「統計」タブ (1) の「ドットプルーフ」シート (2) をクリックし、「すべての平均」と「最大ΔE」が17番で控えた数値より小さくなっていることを確認します。合わせて「すべての平均」が「1.0」を下回っていない場合、確認した数値をメモ等に控えて次に進みます。

目安となる目標精度

品質保証紙・推奨紙の場合、「すべての値の平均」の目安が「1.0」程度です。ターゲットの刷りムラなどが原因で「1.0」程度にならないことがあります。

平均ΔE 1.68
最大ΔE 6.01

CHECK!
図に示した「平均ΔE」と「最大ΔE」が共にFB0より小さくなっていることを確認してください。

色ゲタツス		目標値				現在値				比較				
C	M	Y	K	C	M	Y	K	L	a	b	b	ΔL	Δa	Δb
10.00	0.00	85.00	0.00	6.95	6.80	66.80	0.00	83.98	-9.05	61.7	6.01	-0.92	-1.12	5.83
30.00	30.00	100.00	0.00	22.23	31.46	81.17	12.07	62.99	1.22	63.8	4.90	-2.47	2.23	-2.80
70.00	30.00	0.00	0.00	59.55	25.54	3.28	3.81	56.29	-8.02	-33.60	5.70	-5.11	-34.67	4.04
10.00	30.00	100.00	0.00	14.34	35.92	36.38	2.86	69.53	11.83	64.93	7.38	14.36	66.93	3.98
85.00	55.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10.00	30.00	85.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
20.00	30.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
85.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	10.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
40.00	55.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	20.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
85.00	55.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10.00	20.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
30.00	20.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	30.00	85.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
30.00	10.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
70.00	20.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
55.00	40.00	0.00	0.00	46.25	33.89	3.90	5.04	57.06	5.02	-28.01	54.39	7.21	-28.82	3.55
70.00	40.00	10.00	0.00	58.36	30.47	5.52	11.68	51.70	-3.34	-29.16	48.97	-2.07	-30.42	3.54
20.00	40.00	100.00	0.00	18.11	41.81	80.36	9.84	62.55	13.12	55.42	60.74	14.76	52.88	3.92
70.00	40.00	0.00	0.00	61.41	33.04	3.88	6.62	52.23	-1.83	-34.65	49.59	0.26	-35.51	3.46

1 事前準備

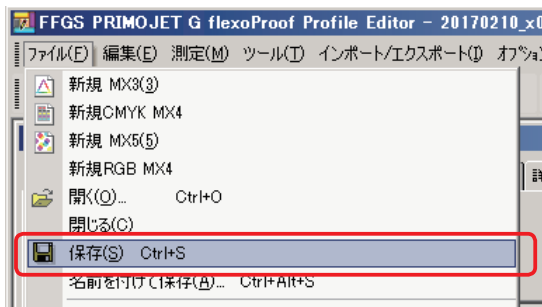
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

5 その他

31 「ファイル」メニューから「保存」をクリックします。



memo

ここで上書き保存しておくことで ΔE 値表示が保持されます。つまり、FB1のプロファイルにFB1の測色結果が記録されます。上書き保存しないと次のステップで行う作業によって表示が消えてしまいます。あくまで表示が消えるだけで作業に問題はありませんが、後の工程で前作業に立ち戻って ΔE 値を確認したいケースなどに備え、上書き保存して ΔE 表示を保持しておくことをおすすめします。

事前準備 **1**章

プロファイルの作成 **2**章

プロファイルの修正 **3**章

プロファイルの適用 **4**章

その他 **5**章

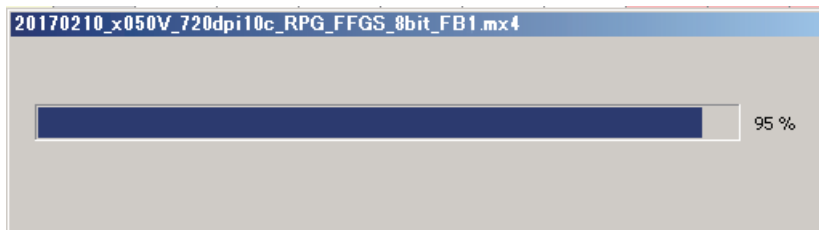
1bit プロファイル 2回目のフィードバック

32 再度「ドットプルーフ」タブをクリックし、「測定」メニューから「目標値と現在値を使用して計算」をクリックします。

※必ず「ドットプルーフ」タブを選択した状態で「目標値と現在値を使用して計算」をクリックしてください。

インデックス	カラー				目標値				現在値				比較		
	C	M	Y	K	L	a	b	L	a	b	ΔE	ΔL	Δa	Δb	
0.00	0.29	0.64	0.57	0.00	92.74	-0.09	1.07	92.64	-0.18	1.22	0.76	-0.10	-0.09	0.76	
10.00	8.17	0.97	0.19	0.00	89.19	-8.22	-9.44	88.97	-8.86	-9.64	0.74	-0.32	-0.64	-0.20	
20.00	15.16	1.73	0.71	0.00	85.93	-7.88	-6.31	85.09	-8.67	-5.96	1.32	-0.84	-0.79	-0.65	
30.00	22.52	2.52	1.47	0.00	82.77	-11.21	-10.30	81.89	-12.40	-11.07	1.67	-0.88	-1.13	-0.77	
40.00	31.17	3.82	1.81	0.00	79.26	-14.48	-14.75	78.23	-15.73	-15.73	1.83	-0.93	-1.24	-0.98	
55.00	42.24	4.83	0.67	0.00	72.48	-19.76	-22.30	72.65	-20.76	-22.98	1.42	-0.93	-1.00	-0.56	
70.00	58.03	6.32	1.76	0.00	67.54	-25.48	-30.20	66.72	-25.67	-30.78	1.03	-0.82	-0.19	-0.59	
85.00	72.32	6.33	2.95	0.00	61.38	-31.81	-37.66	60.87	-31.24	-37.73	0.77	-0.51	0.57	-0.07	
100.00	88.88	2.15	5.14	0.00	55.21	-38.39	-44.01	54.18	-38.33	-43.95	1.03	-1.03	0.06	0.06	

33 計算の進捗状況が表示されます。



34 計算が終了すると「現在値」の表示が消え、「カラー」の値が修正されます。

行番号	カラー				目標値			現在値			比較			
	O	M	Y	K	L	a	b	L	a	b	ΔE	ΔL	Δa	Δb
0.00	0.28	0.64	2.57	0.00	32.74	-0.08	1.07	32.64	-0.18	1.82	0.76	-0.10	-0.08	0.75
10.00	7.46	0.87	0.00	0.00	89.19	-4.22	-2.48							
20.00	13.77	1.44	0.39	0.00	85.93	-7.38	-6.34							
30.00	20.93	2.40	1.17	0.00	82.77	-11.21	-10.30							
40.00	29.49	3.50	1.41	0.00	79.26	-14.48	-14.78							
55.00	41.81	4.61	0.25	0.00	73.48	-19.76	-22.30							
70.00	67.06	5.71	1.39	0.00	67.54	-26.46	-30.26							
85.00	79.04	5.54	2.56	0.00	61.38	-31.81	-37.65							
100.00	88.03	1.38	4.13	0.00	55.21	-38.38	-44.00							

準備完了

1 章 事前準備

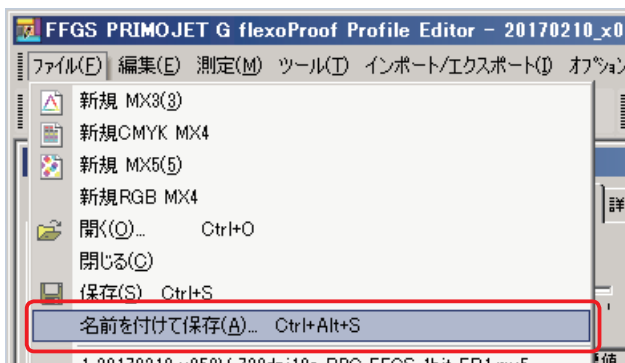
2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

35 「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリックします。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

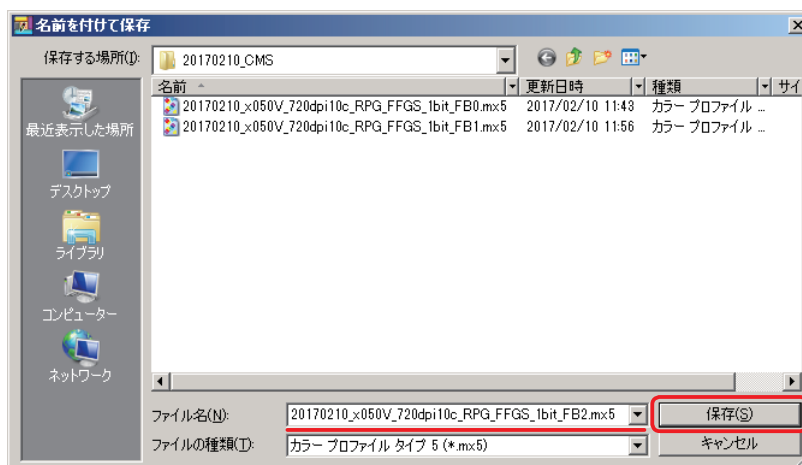
4章

その他

5章

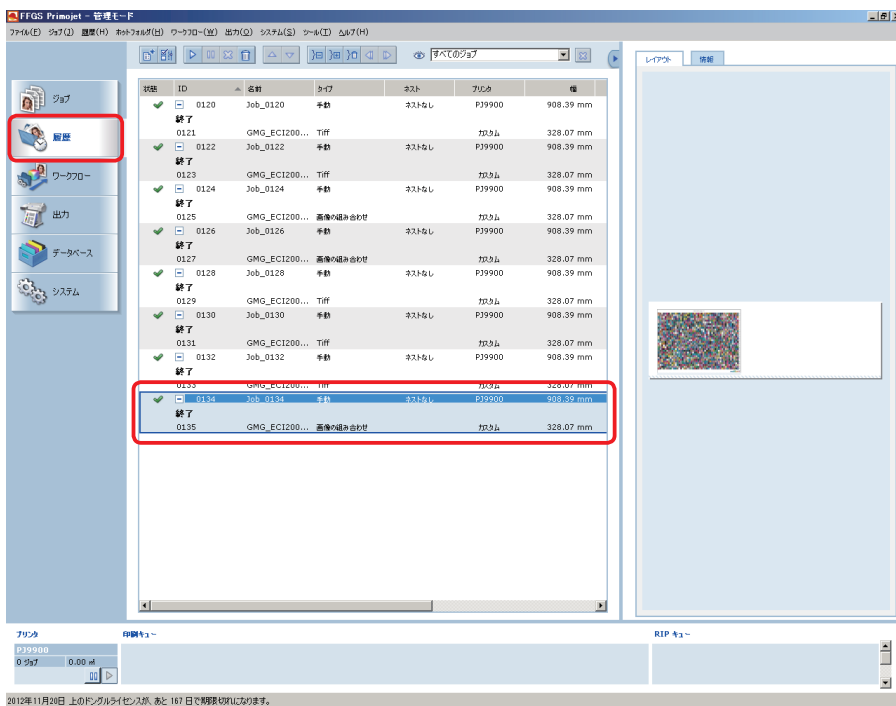
36 ファイル名を入力したら「保存」をクリックします。ファイル名は任意で構いませんが、便宜上日付や用紙などの情報を入れておくと便利です。種類とフィードバック回数は必ず入れてください（赤文字部分）。

例) xxxxxx_x050V_720dpi10c_RPG_FFGS_1bit_FB2.mx5
日付 用紙 種類 フィードバック回数



STEP 6 STEP 5 の (FB2) 回の mx5 を適用してチャート出力

37 PRIMOJET SOFT-XGに戻ります。「履歴」ビューをクリックし、先ほど出力したジョブをダブルクリックします。



1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

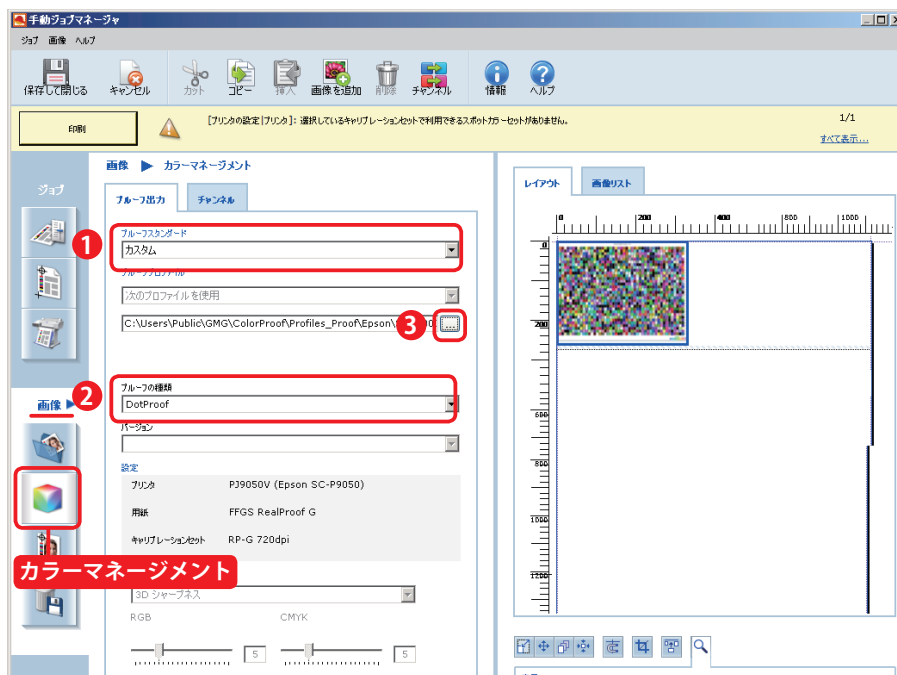
3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

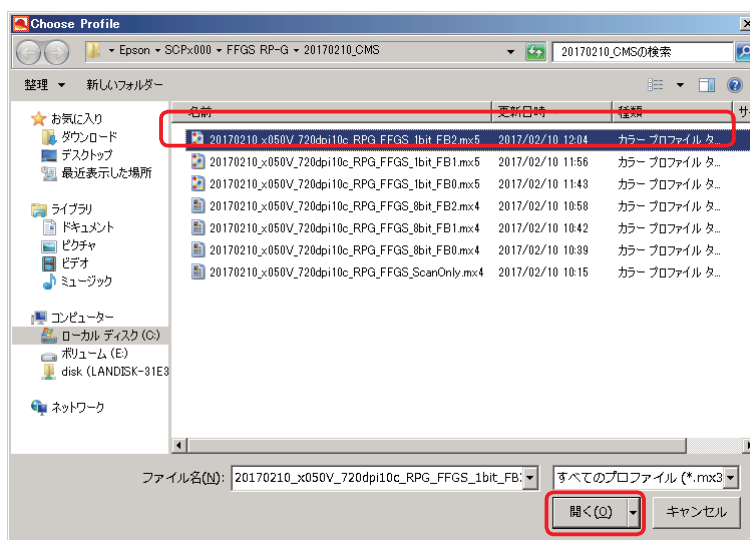
5 章 その他

38 手動ジョブマネージャが表示されたら以下の設定を行います (1~3)。

画像 / カラーマネージメント

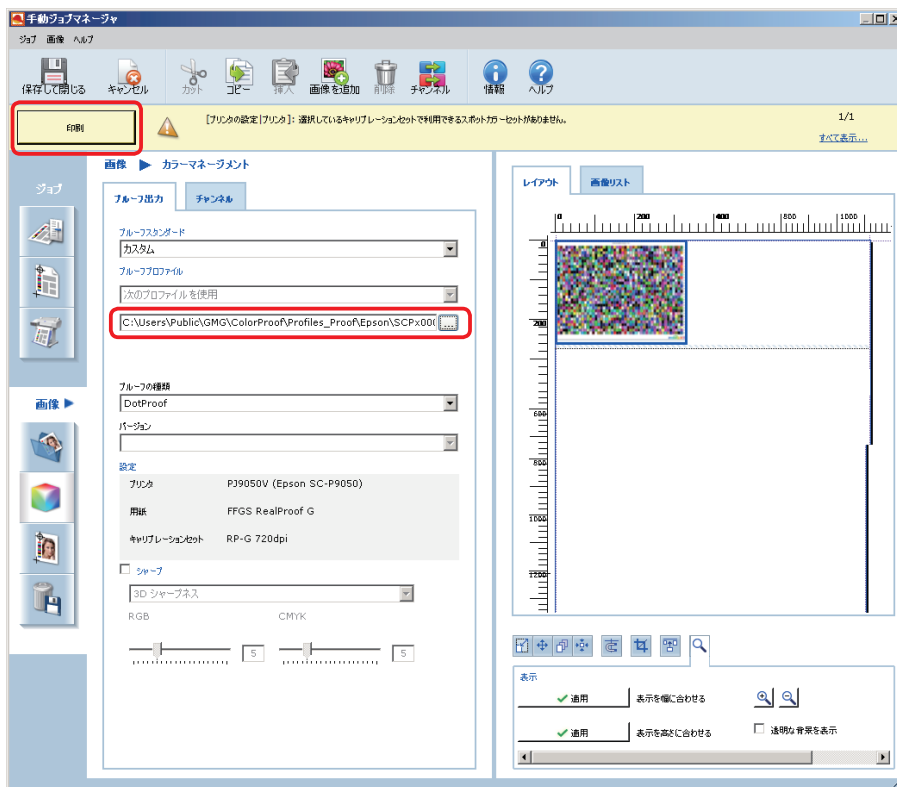


- ① 「プルーフスタンダード」 → 「カスタム」 が選択されていることを確認
- ② 「プルーフの種類」 → 「DotProof」 が選択されていることを確認
- ③ をクリック

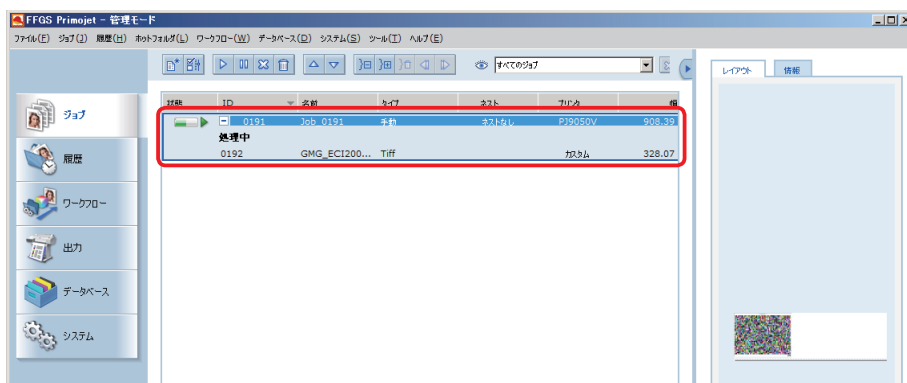


36 番で保存したプロファイル (*.mx5) を選択し、「開く」をクリックします。

39 選択したプロファイルが指定されていることを確認したら「印刷」をクリックします。



40 チャート出力後、乾燥時間を設けてからカットしてください。
 ※色を安定させる為、必ず乾燥時間を設けてください。
 ※カットする際、印刷部分に定規などが当たってこすれたり剥げたりしないようご注意ください。



<乾燥時間>

リアルブルーフ G/H/R/W/O/P : 5分
 リアルブルーフ MK : 10分

1章 事前準備

2章 プロファイルの作成

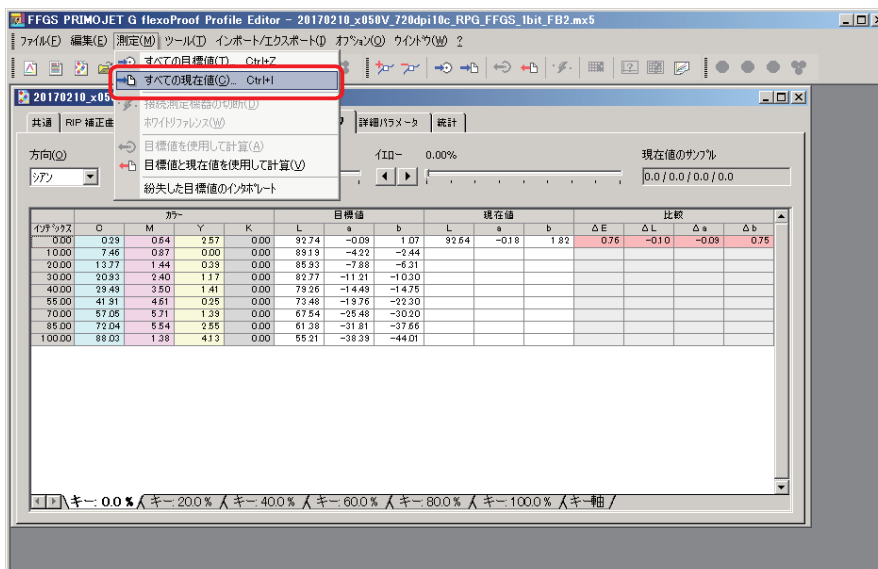
3章 プロファイルの修正

4章 プロファイルの適用

5章 その他

STEP 7 **STEP 6** のチャートを測色 → ターゲットと比較

41 カットしたチャートを測色器にセットしたら、プロファイルエディタの「測定」メニューから「すべての現在値」をクリックします。測色が始まります。



事前準備 1章

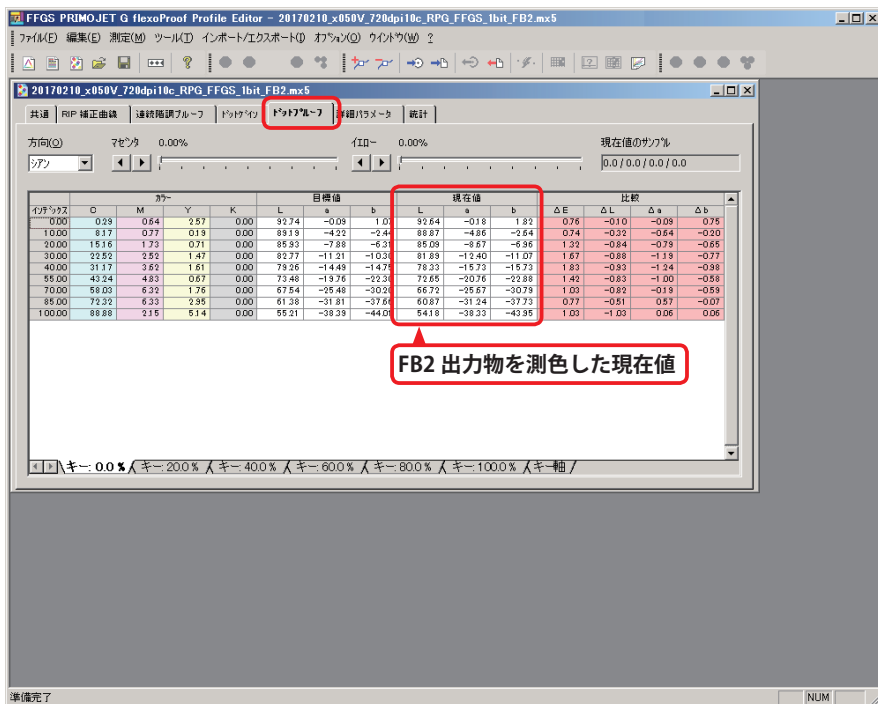
プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

42 測色が終了すると、「ドットプルーフ」タブの「現在値」欄に測色値が表示されます。



43

ここでターゲット印刷物(出力物)とプリンタ出力物の色差(ΔE)を確認するため、「統計」タブ(①)の「ドットプルーフ」シート(②)をクリックします。下図に示した「平均 ΔE 」と「最大 ΔE 」が共にFB0(=30番で控えた数値)より小さくなっていることを確認します。また、ここでも「平均 ΔE 」と「最大 ΔE 」を控えておきましょう。

目安となる目標精度

品質保証紙・推奨紙の場合、「すべての値の平均」の目安が「1.0」程度です。ターゲットの刷りムラなどが原因で「1.0」程度にならないことがあります。

図に示した「平均 ΔE 」と「最大 ΔE 」が共にFB1より小さくなっていることを確認してください。

1 事前準備

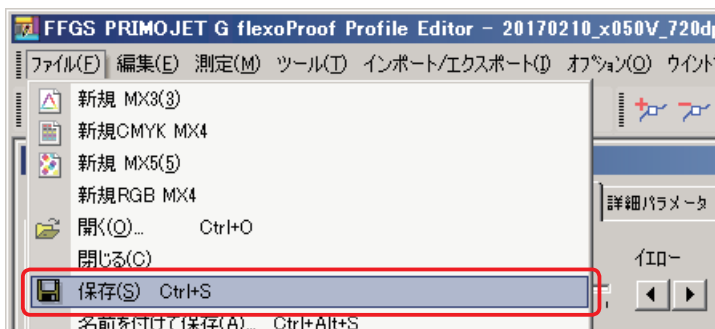
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

5 その他

続いて「ファイル」メニューから「保存」をクリックします。



memo

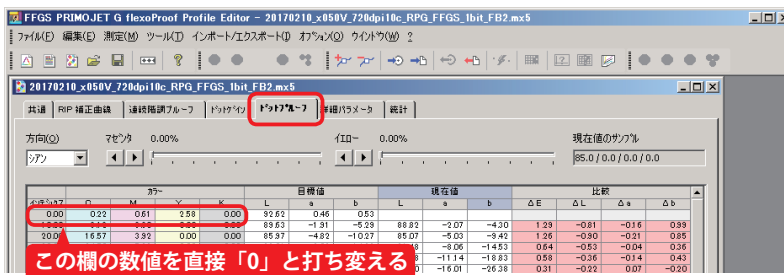
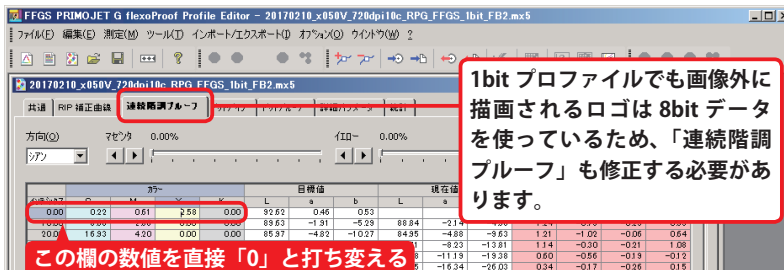
ここで上書き保存しておくことで ΔE 値表示が保持されます。つまり、FB2のプロファイルにFB2の測色結果が記録されます。上書き保存しないと次のステップで行う作業によって表示が消えてしまいます。あくまで表示が消えるだけで作業に問題はありませんが、後の工程で前作業に立ち戻って ΔE 値を確認したいケースなどに備え、上書き保存して ΔE 表示を保持しておくことをおすすめします。

紙白除去

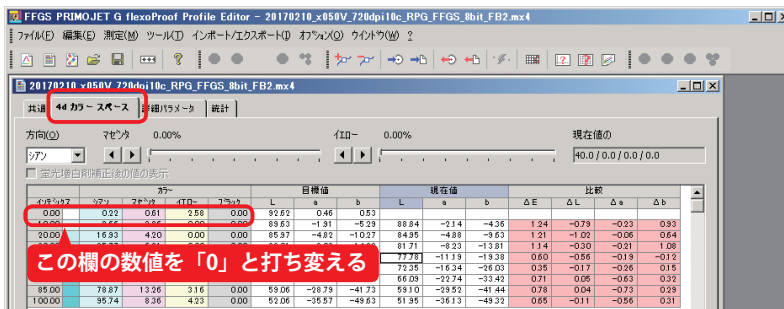
44

「0.00 (%)」の「シアン」「マゼンダ」「イエロー」「ブラック」に数値が入っている場合、印刷すると紙白部分にうっすら色がつきます。紙白を除去したい場合は、下図のタブに対し各欄をクリック→直接「0」と入力してください。

1bit プロファイル 「連続階調プルーフ」「ドットプルーフ」タブを修正



8bit プロファイル 「4d カラースペース」タブを修正

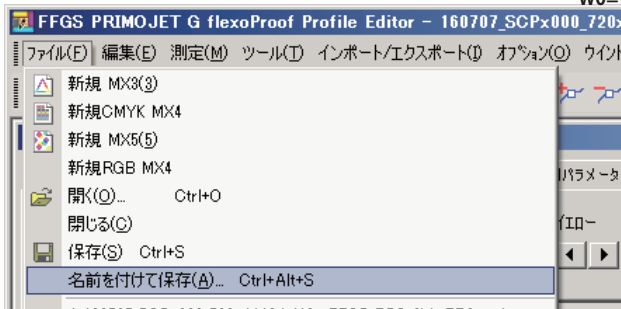


45

紙白調整したことが分かるような名称を入力し、「保存」をクリックします。別名保存したい場合は「名前を付けて保存」してください。

例) xxxxxx_x050V_720dpi10c_RPG_FFGS_1bit_FB2_W0.mx5

W0=White ゼロの意



STEP 8

ターゲット出力物と目視の比較 → 良ければ終了

● 必要であればプロファイルを調整

この段階で絵柄も含めた品質確認の出力を行い、必要であればプロファイルの色調整を行います。

1bit 運用する場合	
色調整する 必要がない	色調整する 必要がある
終了	P88

1章 事前準備

2章 プロファイルの作成

3章 プロファイルの修正

4章 プロファイルの適用

5章 その他

MEMO

3 章

プロフィールの修正

3-1 カーブ調整をする ...P88

3-2 部分調整をする ...P98

3-3 グラデーション全体の色調を補正する ...P108

3章

1

カーブ調整をする

HOW TO



以下の手順に従って操作してください。

注意



下記手順は 1bit 用 mx5 の調整方法です。

➡ 8bit 用 mx4 の調整方法→ P96 をご参照ください。

事前準備

1章

作業の流れ

STEP 1

(P89) プロファイルエディタで調整したい mx5 プロファイルを開く

STEP 2

(P91) 調整ポイントの数値を変更

STEP 3

(P92) 調整ポイントの削除・追加

STEP 4

(P95) 名前を付けてプロファイルを別名保存

STEP 5

(P95) STEP 4 のプロファイルをジョブに適用して出力確認

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

4章

その他

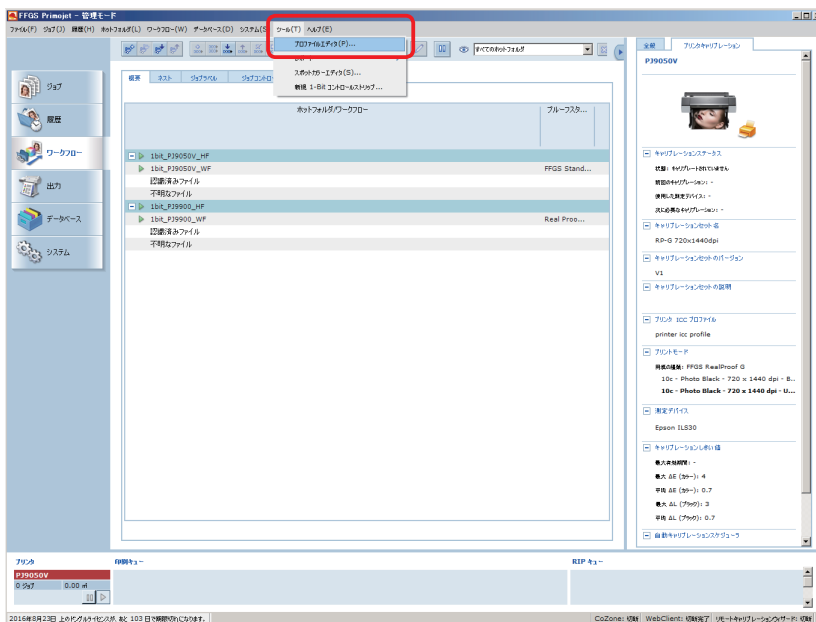
5章

STEP 1 プロファイルエディタで調整したいプロファイルを開く

1 PRIMOJET SOFT-XGの「ツール」メニューから「プロファイルエディタ」をクリックします。

※前章から引き続き作業する場合はP84の**52**番のプロファイルを開いた状態で

STEP 2 へ進みます。

例 中間の赤を下げたい

1 事前準備

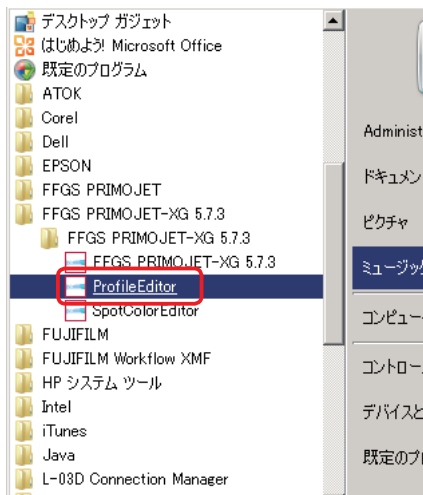
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

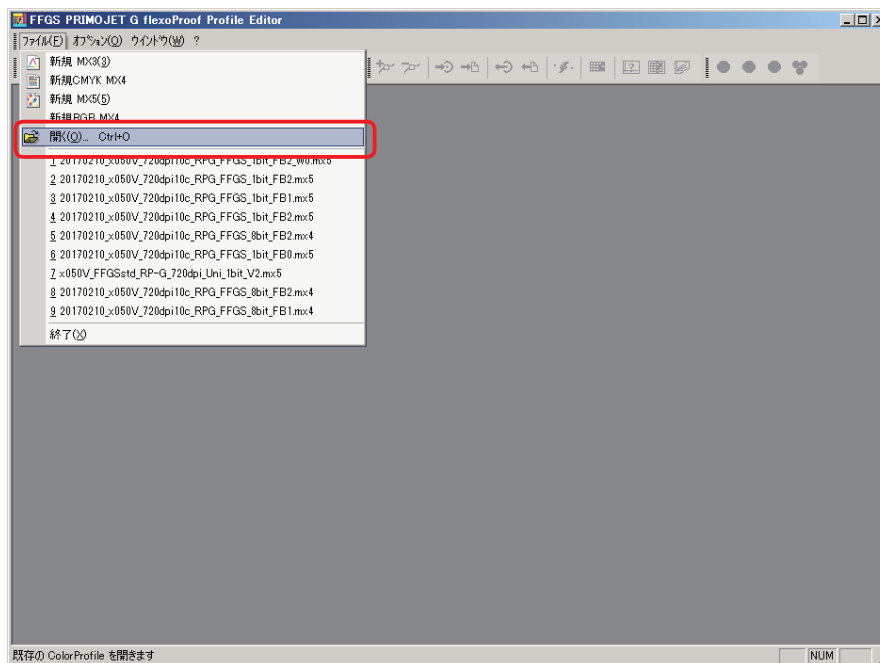
4 プロファイルの適用

5 その他

もしくは、Windowsの「スタート」メニューから「FFGS PRIMOJET-XG 5.x.x」下の「ProfileEditor」をクリックします。



- 2** プロファイルエディタ (= FFGS PRIMOJET G flexProof Profile Editor) が起動したら、「ファイル」メニューから「開く」をクリックします。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

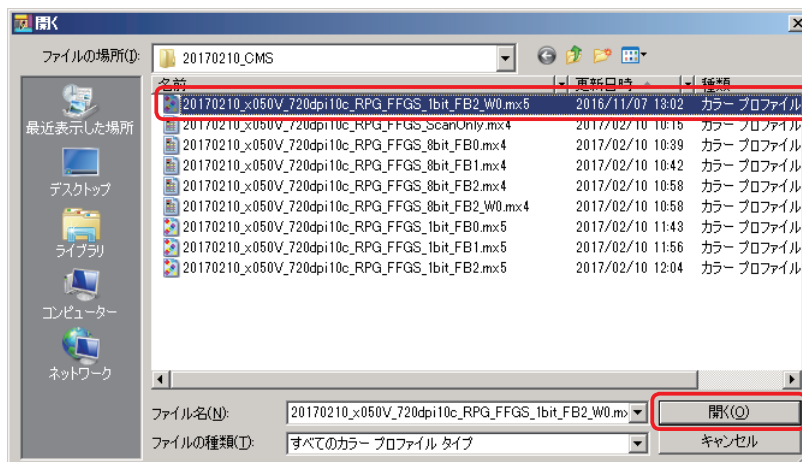
プロファイル
の適用

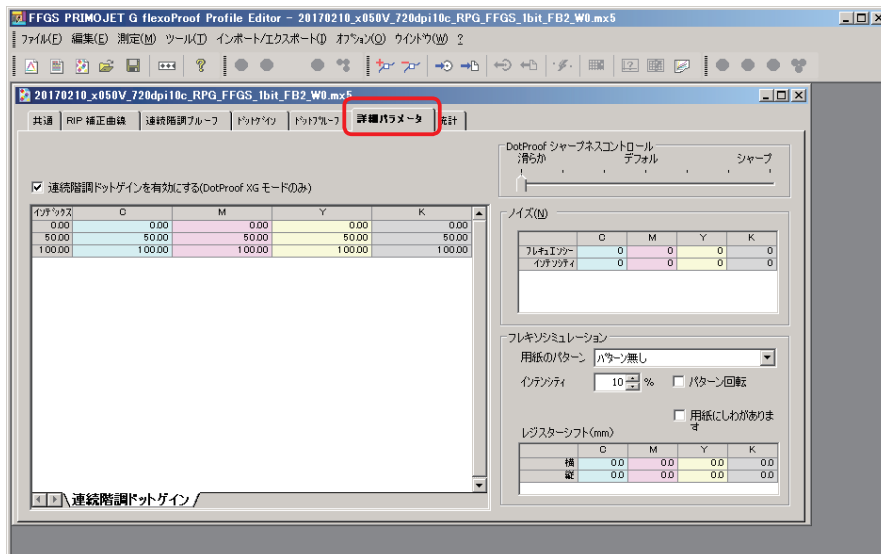
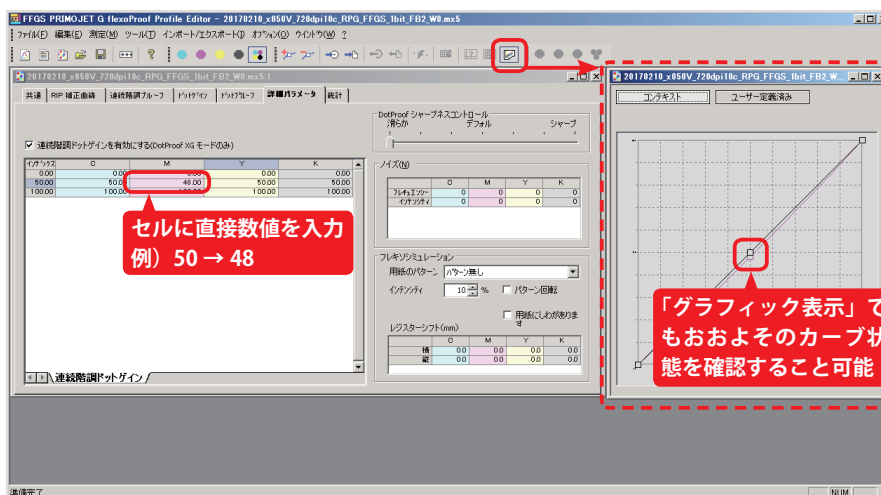
4章

その他

5章

- 3** 調整したいプロファイル (*.mx5) を選択し、「開く」をクリックします。



STEP 2 調整ポイントの数値を変更**4** 「詳細パラメータ」タブをクリックします。**5** 調整したい数値を直接セルに入力します。ここでは中間の赤みを抑える目的でマゼンタを「50 → 48」へ変更しています。「グラフィック表示」ボタンをクリックするとカーブが表示されますので、目視でイメージしやすくなります。

1 事前準備

2 プロファイルの作成

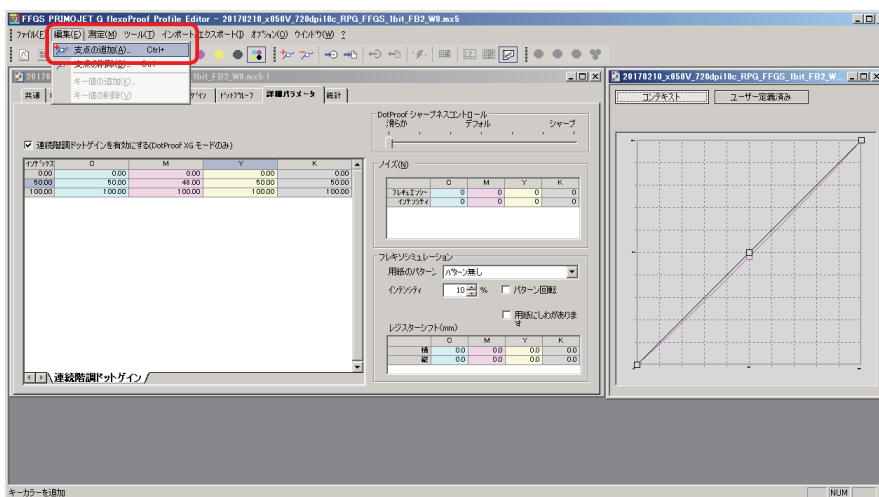
3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

5 その他

STEP 3 調整ポイントの削除・追加

6 デフォルトでは調整ポイントが「0」「50」「100」の3点ですが、調整したいポイント(=支点)を任意に追加出来ます。「編集」メニューから「支点の追加」をクリックします。



事前準備 1章

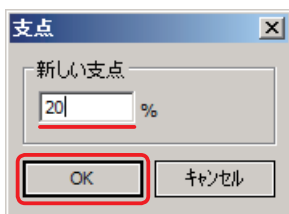
プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

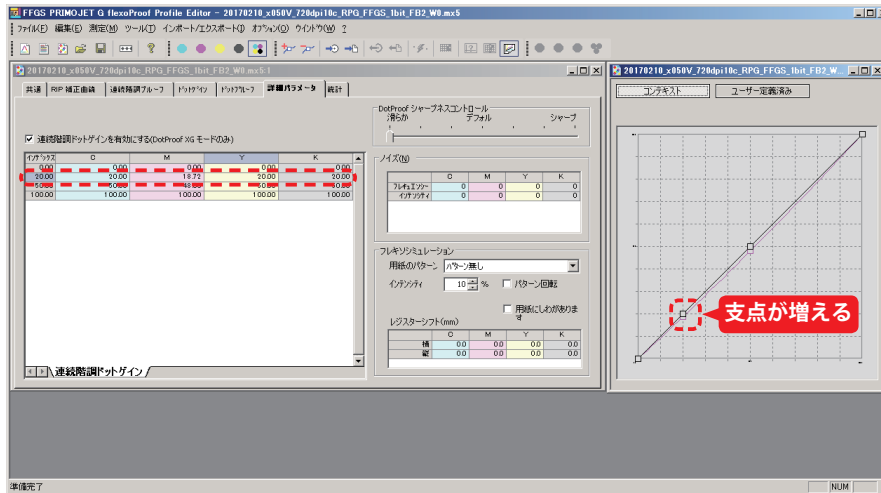
その他 5章

7 以下ウィンドウが表示されたら、調整したいパーセンテージを入力して「OK」をクリックします。ここでは「20」と入力します。



8

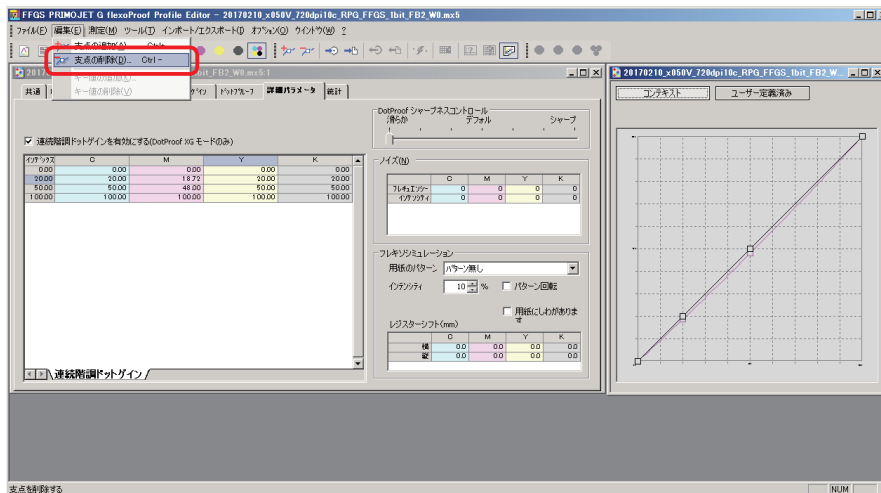
支点「20」が増えました。



1章 事前準備

9

支点を削除したい場合、「編集」メニューから「支点の削除」をクリックします。



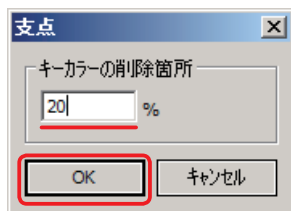
2章 プロファイルの作成

3章 プロファイルの修正

4章 プロファイルの適用

5章 その他

- 10** 以下ウィンドウが表示されたら、削除したいパーセンテージを入力して「OK」をクリックします。ここでは「20」と入力します。



ハイライト側を調整したいが中間以降を止めたいなどの場合、調整する前に50%の支点を追加しておくことをおすすめします。止めたい支点を追加せずにハイライト側を調整するとカーブ全体が持ち上がり山形カーブになります。後から止めたい支点を追加して持ち上がったカーブを0%にしても構いませんが、止めたい支点が分かっている時は先に支点を追加しておく方が操作が簡便です。

事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

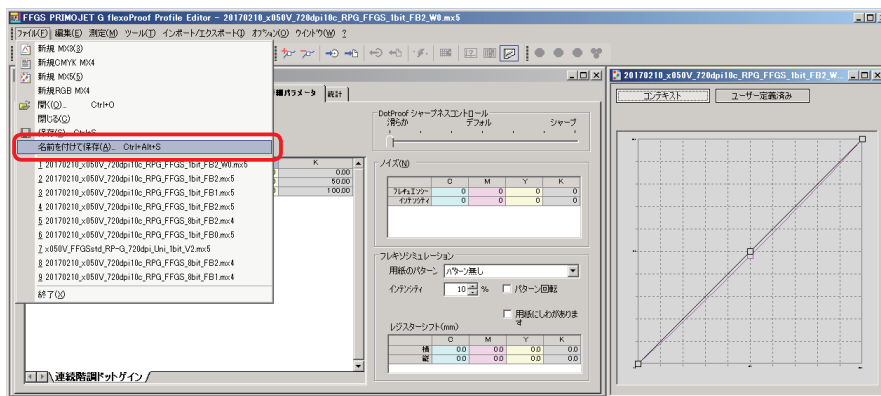
プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

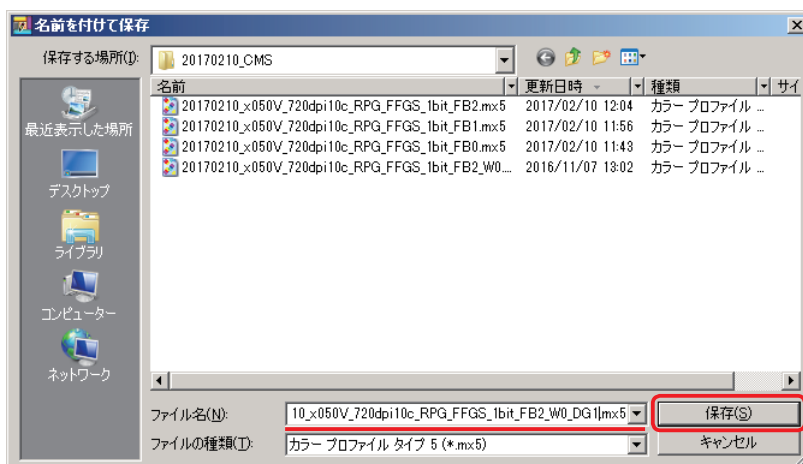
その他 5章

STEP 4 名前を付けてプロファイルを別名保存

11 調整したい支点を追加・削除しながら必要な作業を繰り返します。調整が終了したら、「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリックします。



12 調整したことが分かる名称を入力し、「保存」をクリックします。
例) xxxxxx_x050V_720dpi10c_RPG_FFGS_1bit_FB2_W0_DG1.mx5
(DG = Dotgain/ ドットゲインの略)

**STEP 5** STEP 4 のプロファイルをジョブに適用して出力確認

13 出力確認を行ってください。出力結果を確認した上で更に調整を加えたい場合、**12**番のプロファイルを開いて追加調整し、別名保存してください。
xxxxxx_x050V_720dpi10c_RPG_FFGS_1bit_FB2_W0_DG2.mx5

1 事前準備

2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

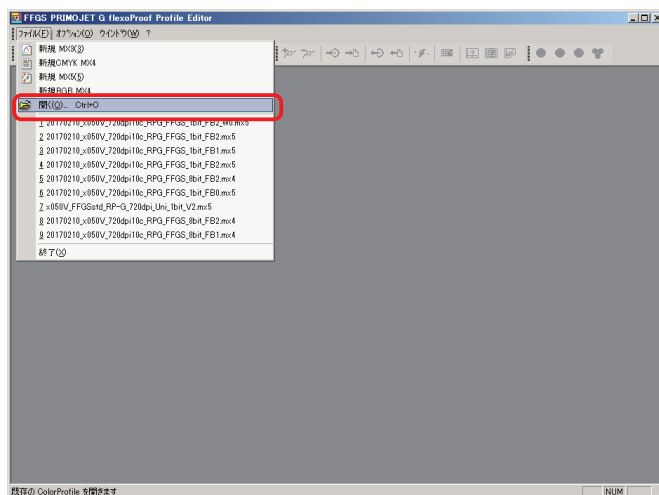
4 プロファイルの適用

5 その他

8bit プロファイル (mx4) をカーブ調整する場合

1

「ファイル」メニューから「開く」をクリックします。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

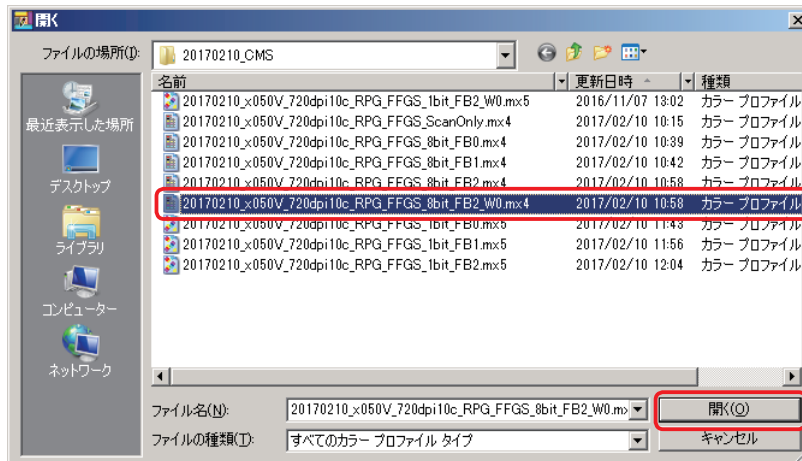
4章

その他

5章

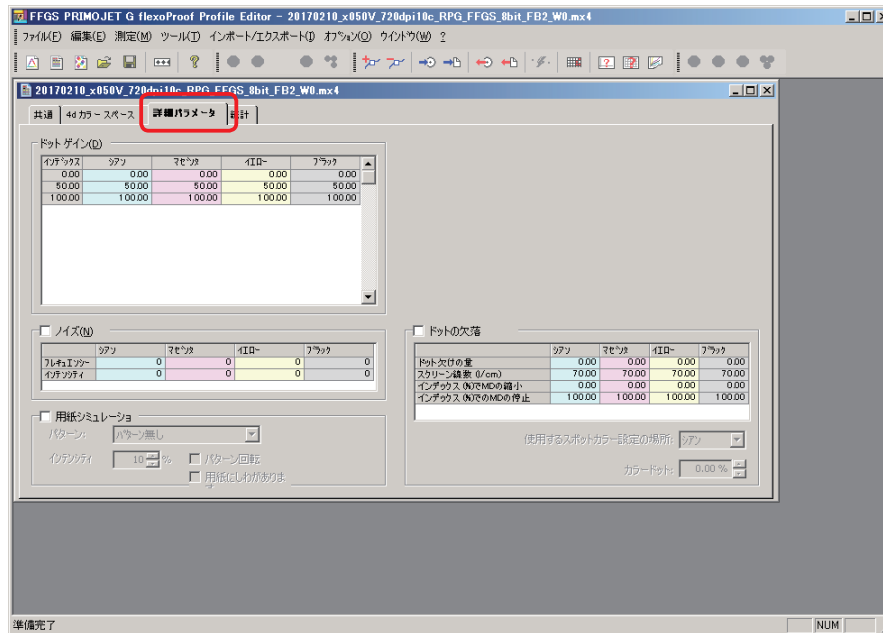
2

調整したいプロファイル (*.mx4) を選択し、「開く」をクリックします。



3

プロファイルが開いたら、「詳細パラメータ」タブを選択します。



4

ここからは1bit用プロファイルと同じ手順となります。P91の**5**番以降で参照ください。

1章

事前準備

2章

プロファイルの作成

3章

プロファイルの修正

4章

プロファイルの適用

5章

その他

3章

2

部分調整をする

HOW TO



以下の手順に従って操作してください。

注意



下記手順は 1bit 用 mx5 の調整方法です。

➡ 8bit 用 mx4 の調整方法→ P106 をご参照ください。

作業の流れ

STEP 1

(P99) プロファイルエディターで調整したい mx5 プロファイルを開く

STEP 2

(P101) 「ドットプルーフ」タブを選択

STEP 3

(P102) 調整カラー値を入力・調整

STEP 4

(P104) 名前を付けてプロファイルを別名保存

STEP 5

(P105) STEP 4 のプロファイルをジョブに適用して出力確認

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

4章

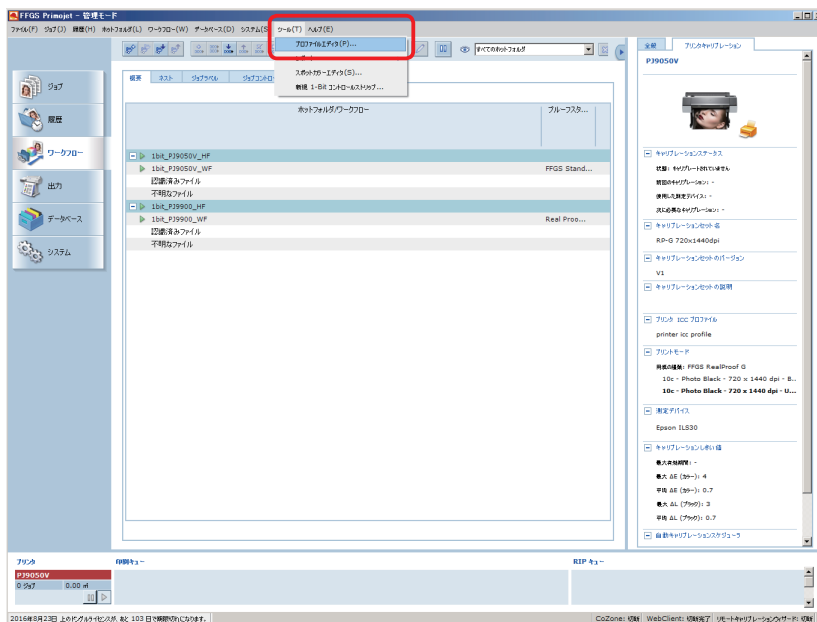
その他

5章

STEP 1 プロファイルエディターで調整したいプロファイルを開く

1 PRIMOJET SOFT-XGの「ツール」メニューから「プロファイルエディタ」をクリックします。

※前章から引き続き作業する場合はP84の**52**番もしくはP95の**12**番のプロファイルを開いた状態で**STEP 2**へ進みます。

例 肌の赤みを下げたい

1 事前準備

2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

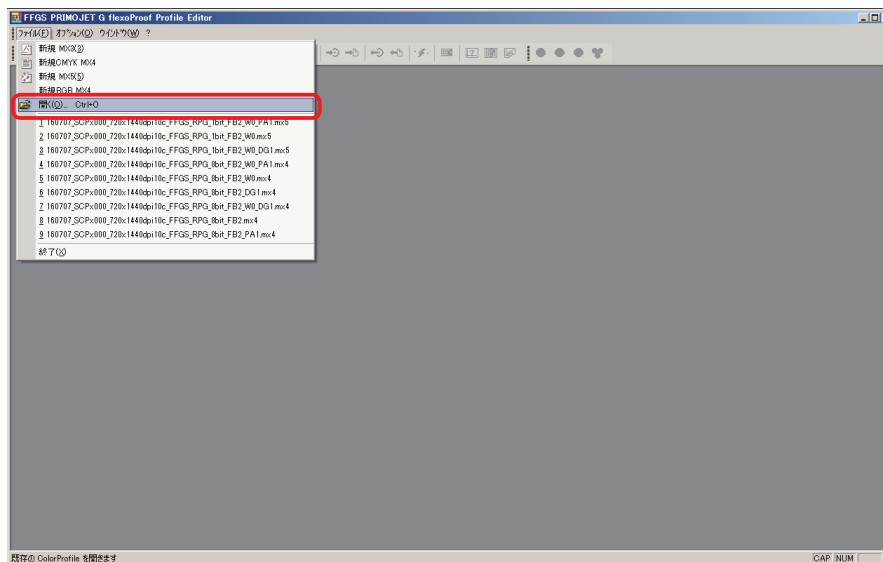
4 プロファイルの適用

5 その他

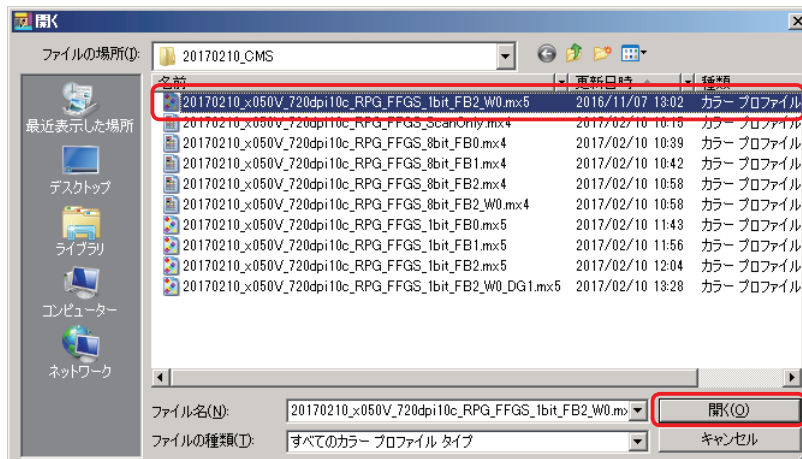
もしくは、Windowsの「スタート」メニューから「FFGS PRIMOJET-XG 5.x.x」下の「ProfileEditor」をクリックします。



- 2** プロファイルエディタ (= FFGS PRIMOJET G flexProof Profile Editor) が起動したら、「ファイル」メニューから「開く」をクリックします。

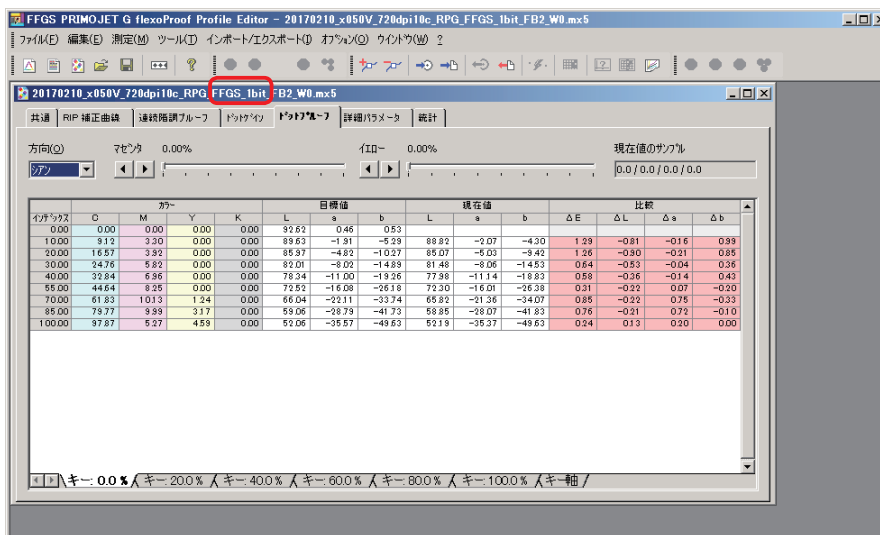
事前準備 **1**章プロファイル
の作成 **2**章プロファイル
の修正 **3**章プロファイル
の適用 **4**章その他 **5**章

- 3** 調整したいプロファイル (*.mx5) を選択し、「開く」をクリックします。



STEP 2 「ドットプルーフ」タブを選択

4 プロファイルが開いたら、「ドットプルーフ」タブを選択します。

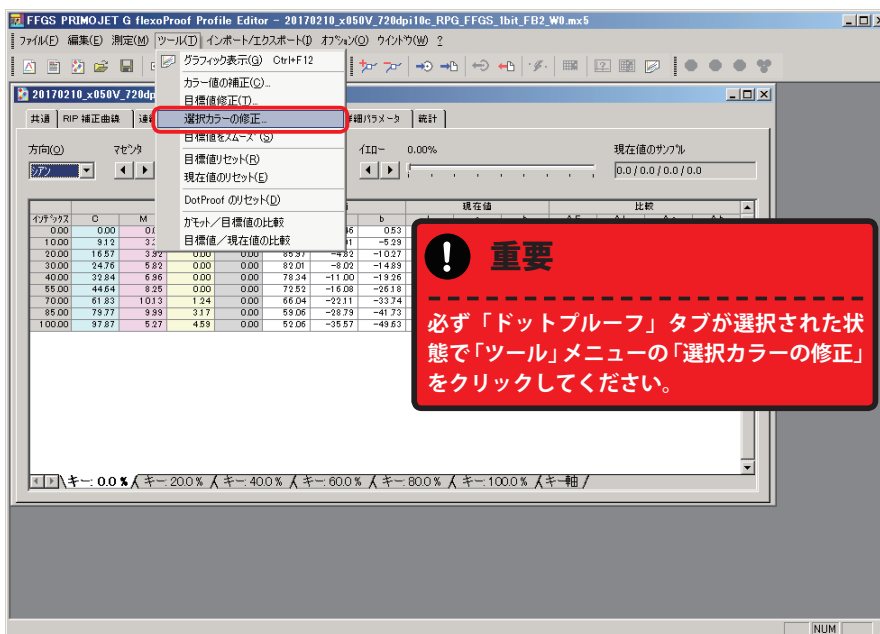


1章 事前準備

2章 プロファイルの作成

3章 プロファイルの修正

5 「ドットプルーフ」タブを選択した状態で「ツール」メニューから「選択カラーの修正」をクリックします。

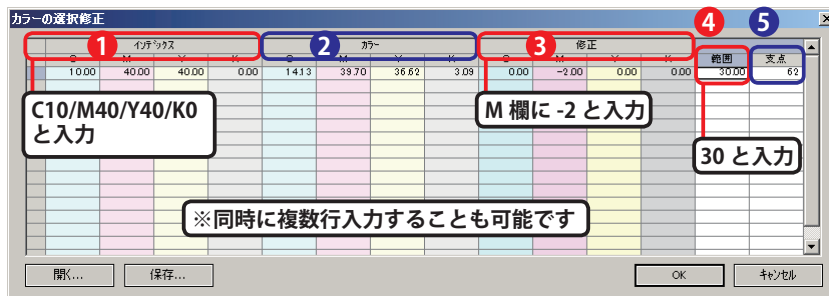


4章 プロファイルの適用

5章 その他

STEP 3 調整カラー値を入力・調整

6 「カラーの選択修正」ウィンドウが表示されます。このウィンドウで部分調整します。



— 入力欄

— 自動表示欄（入力することは出来ません）

- ① 「インデックス」・・・修正したいカラー値（色）を入力
- ② 「カラー」・・・インデックスに対するプロファイル内のインク吐出量（自動表示）
- ③ 「修正」・・・インデックスのカラー値に対する調整数値を入力
- ④ 「範囲」・・・修正したいカラー値の前後何%に影響させるかを入力
- ⑤ 「支点」・・・影響を受けるプロファイル内の支点の数（自動表示）

補足

◆ 範囲：

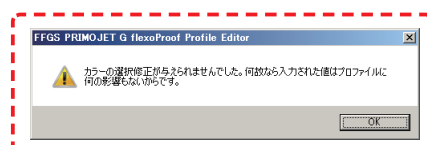
仮にインデックス「M40」に対し範囲「30」の場合、「40」を中心に 10%～70%まで影響を受けます。

◆ 「範囲」の目安：

「30～50」を初期値とし、画像への影響を見て必要であれば徐々に減らしてください。ただし、あまり小さい数値に設定するとトーンジャンプが懸念されますのでご注意ください。

注意

「範囲」が「0」のまま「OK」をクリックすると以下のようなメッセージが表示されます。「0」は色の影響を受ける範囲（支点）が無いため調整不可という意味になります。つまりピンポイントで部分調整することは出来ない為、指定した色の周囲を若干馴染ませる（ジャンプを防ぐ）必要があります。「範囲」には必ず数値を入力してください。

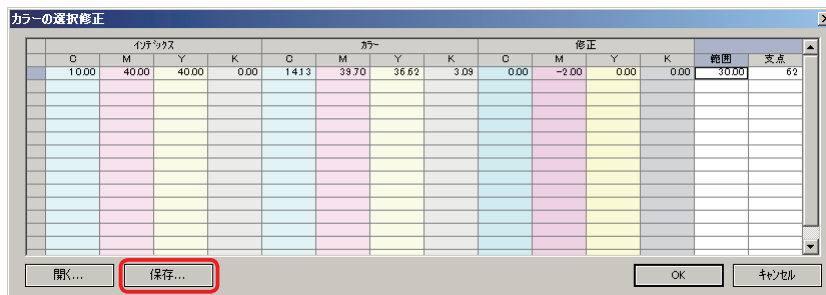


「範囲」が「0」のまま OK すると・・・

参考

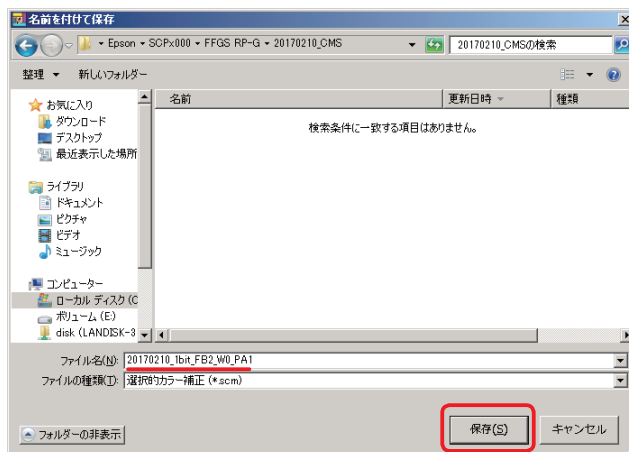


「カラーの選択修正」ウィンドウを一度閉じてしまうと、次に開いた際、前回の数値は残っていません。調整経緯を残しておきたい場合は「保存」をクリックすると情報ファイルを外部に書き出すことが可能です。

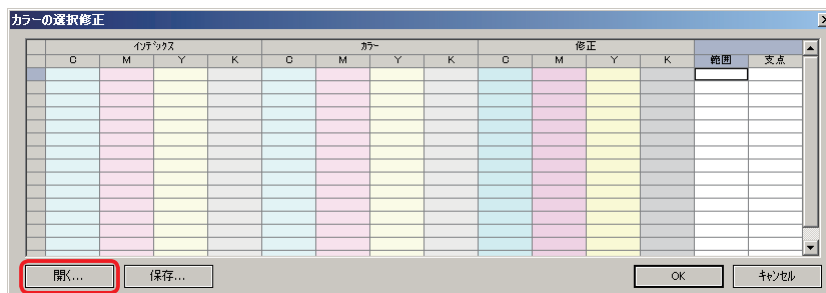


どのプロファイルに対する調整経緯ファイルが分かるような名称を付けて「保存」をクリックします。

例) xxxxxx_x050V_720dpi10c_RPG_FFGS_1bit_FB2_W0_PA1.scm
(PA=Partial Adjustment/ 部分調整の略)



保存したファイルを開く際は「開く」をクリックし、保存したファイル（.scmという拡張子がついたファイル）を選択すると調整経緯を呼び出すことができます。



1 事前準備

2 プロファイルの作成

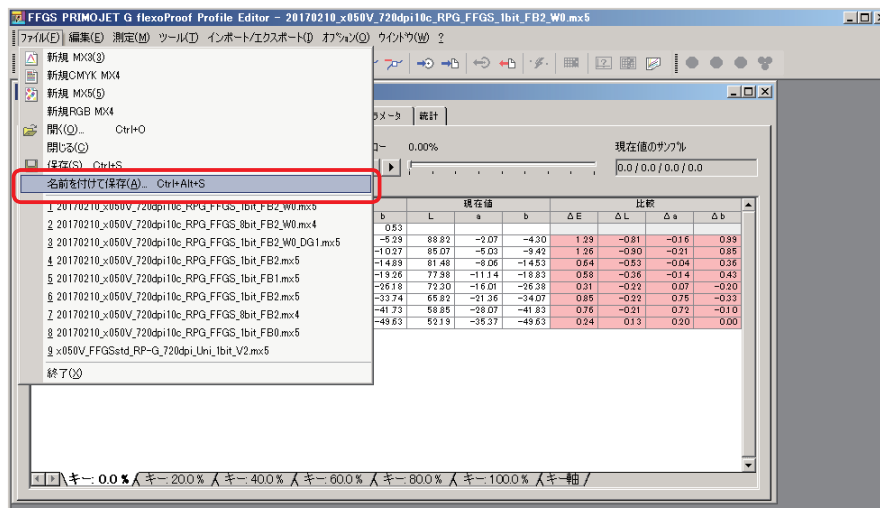
3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

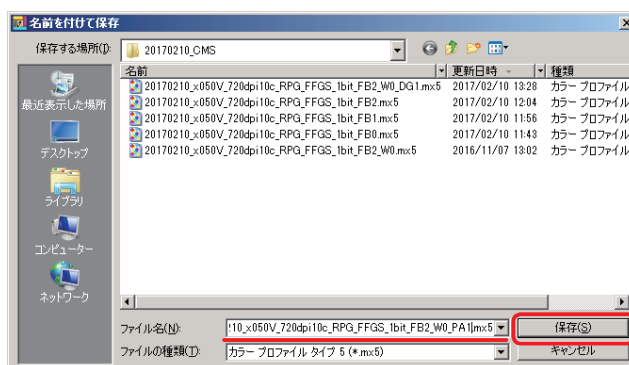
5 その他

STEP 4 名前を付けてプロファイルを別名保存

8 調整が終わったら「ファイル」メニューから「名前をつけて保存」をクリックします。



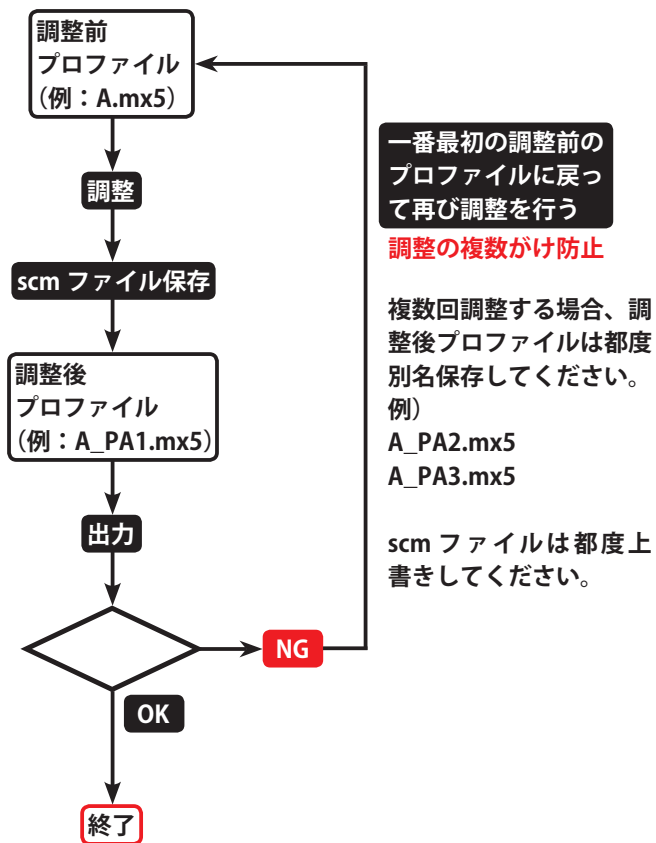
9 部分調整したことが分かるような名称を入力し、「保存」をクリックします。
例) 160707_x050V_720x1440dpi10c_RPG_FFGS_1bit_FB2_WO_PA1.mx5
(PA=Partial Adjustment/ 部分調整の略)

**重要**

調整経緯を保存した scm ファイルを活用し、複数回に渡って調整を行う場合、注意点があります。次頁のチャート図をご参照ください。

STEP 5**STEP 4** のプロファイルをジョブに適用して出力確認**10** 出力確認を行ってください。**scm ファイル使用時の注意点**

出力結果を確認した上で更に調整を加える場合、一度部分調整したプロファイルに対し scm ファイルを開いて調整すると、二重に調整がかかってしまいます。必ず部分調整する前のプロファイルに対し scm ファイルを開いて調整を続けてください。



1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

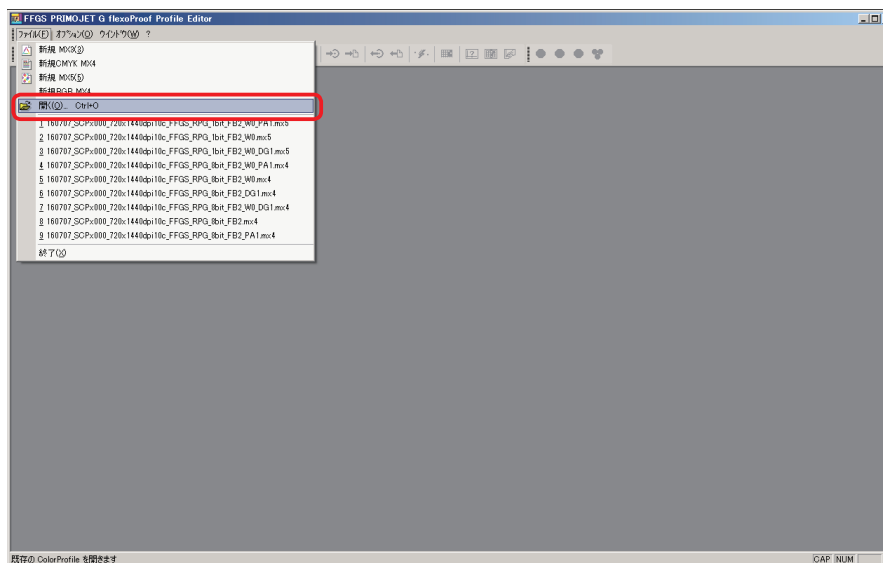
4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

8bit プロファイル (mx4) を部分調整する場合

1

「ファイル」メニューから「開く」をクリックします。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

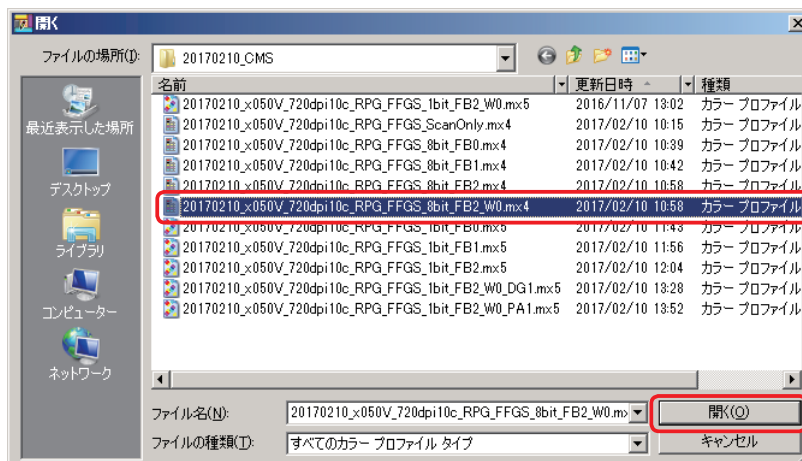
4章

その他

5章

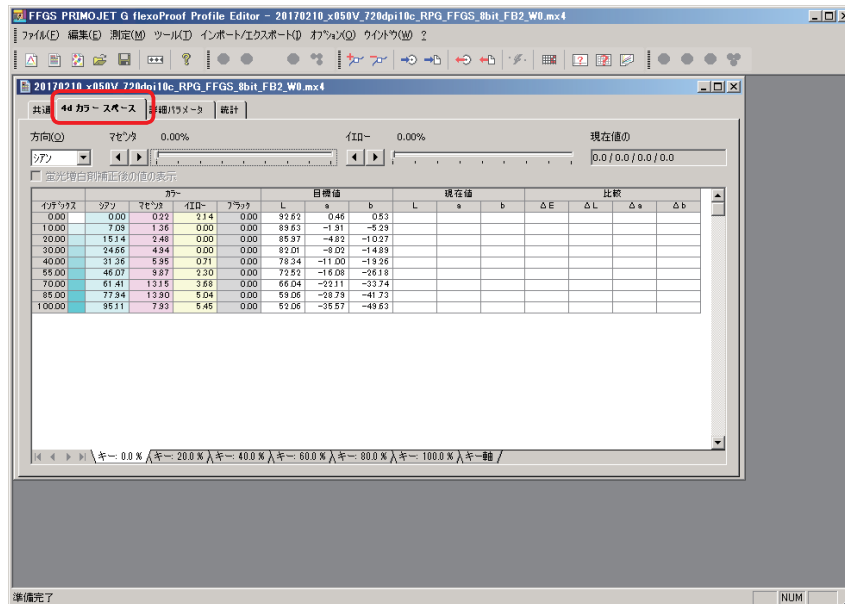
2

調整したいプロファイル (*.mx4) を選択し、「開く」をクリックします。



3

プロファイルが開いたら、「4d カラースペース」タブを選択します。



4

ここからは1bit用プロファイルと同じ手順となります。P101の4番をご参照ください。

1 事前準備

2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

5 その他

3章
3

グラデーション全体の色調を補正する



以下の手順に従って操作してください。



下記手順は 1bit 用 mx5 の調整方法です。
➡ 8bit 用 mx4 の調整方法→ P128 をご参照ください。

作業の流れ

STEP 1

(P109) プロファイルエディターで調整したい mx5 プロファイルを開く

STEP 2

(P111) 「ドットプルーフ」タブを選択

STEP 3

(P113) 調整カラー値を入力・調整

STEP 4

(P115) 名前を付けてプロファイルを別名保存

STEP 5

(P116) STEP 4 のプロファイルをジョブに適用して出力確認

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

4章

その他

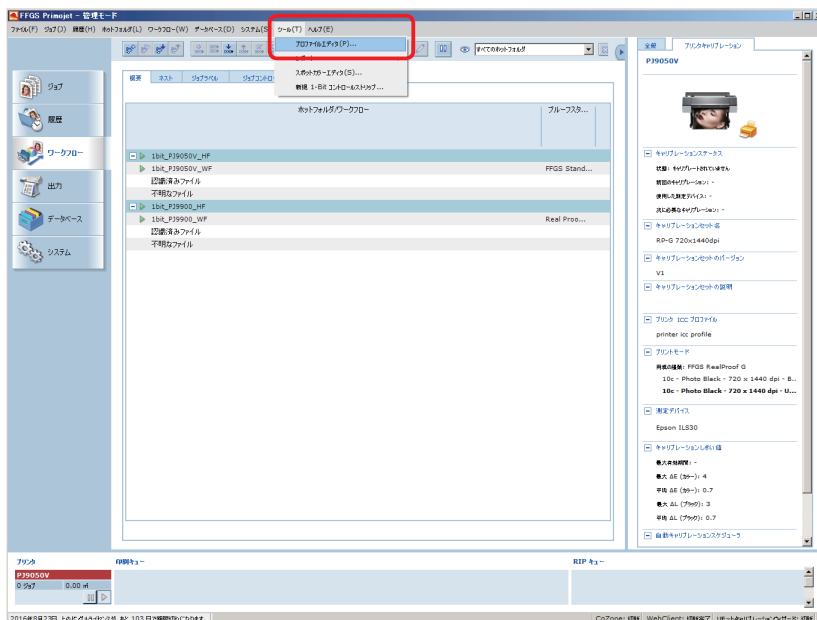
5章

STEP 1 プロファイルエディターで調整したい mx5 プロファイルを開く

1 PRIMOJET SOFT-XG の「ツール」メニューから「プロファイルエディタ」をクリックします。

※前章から引き続き作業する場合は P84 の **52** 番、P95 の **12** 番、もしくは P104 の **9** 番のプロファイルを開いた状態で **STEP 2** へ進みます。

例 イエローのグラデーション全体に赤みを足したい



1 事前準備

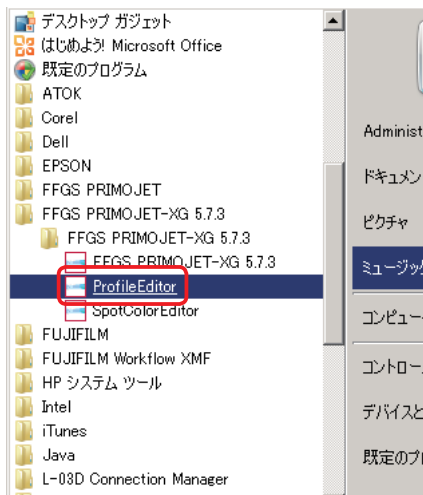
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

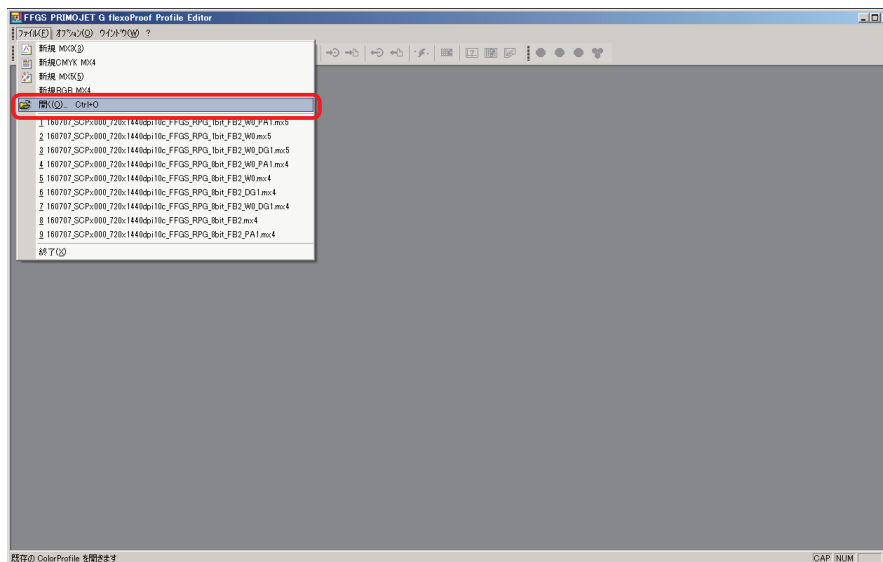
4 プロファイルの適用

5 その他

もしくは、Windows の「スタート」メニューから「FFGS PRIMOJET-XG 5.x.x」下の「ProfileEditor」をクリックします。



2 プロファイルエディタ (= FFGS PRIMOJET G flexProof Profile Editor) が起動したら、「ファイル」メニューから「開く」をクリックします。



事前準備 **1**章

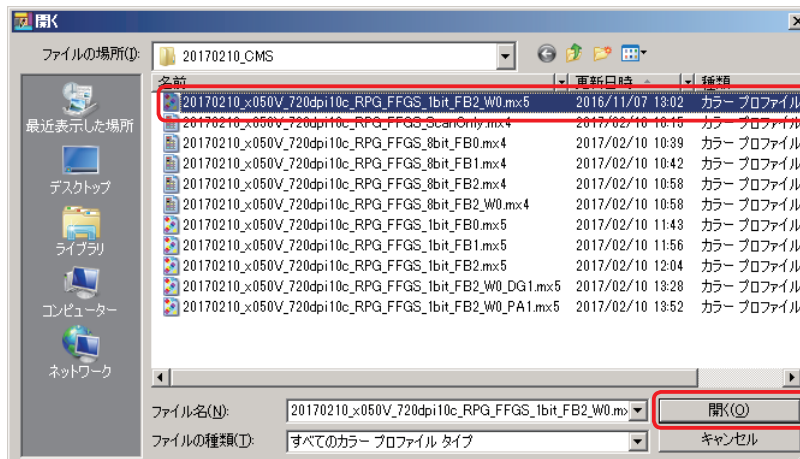
プロファイルの作成 **2**章

プロファイルの修正 **3**章

プロファイルの適用 **4**章

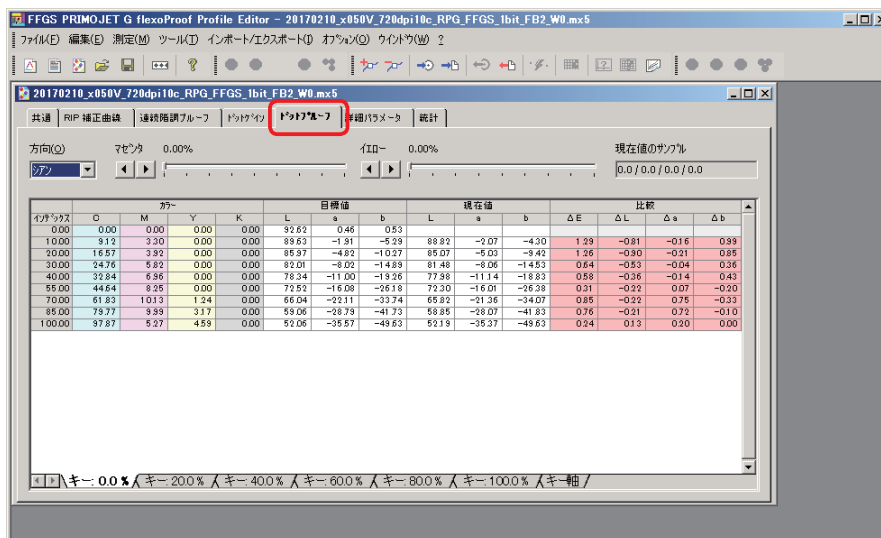
その他 **5**章

3 調整したいプロファイル (*.mx5) を選択し、「開く」をクリックします。



STEP 2 「ドットプルーフ」タブを選択**4**

プロファイルが開いたら、「ドットプルーフ」タブを選択します。



1章

事前準備

2章

プロファイルの作成

3章

プロファイルの修正

4章

プロファイルの適用

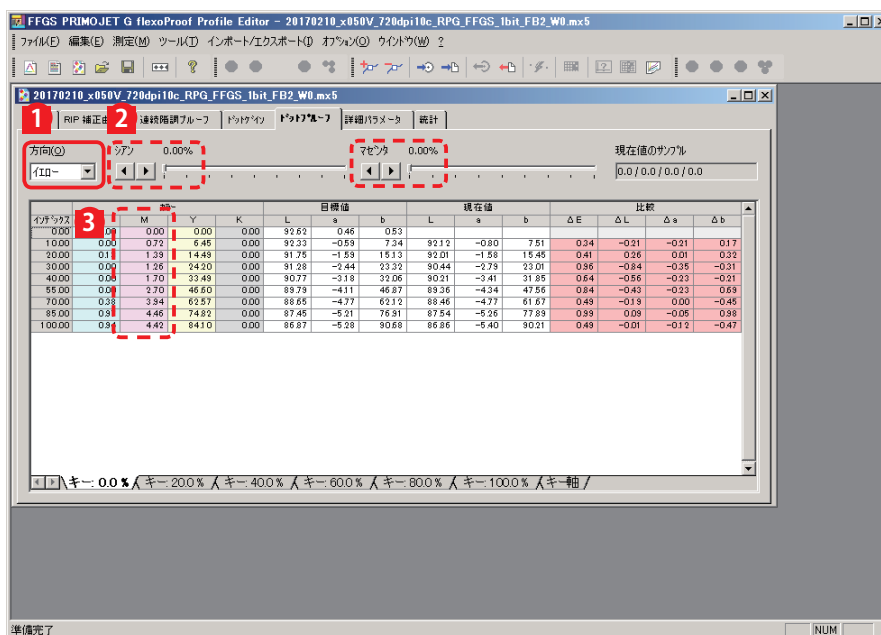
5章

その他

5

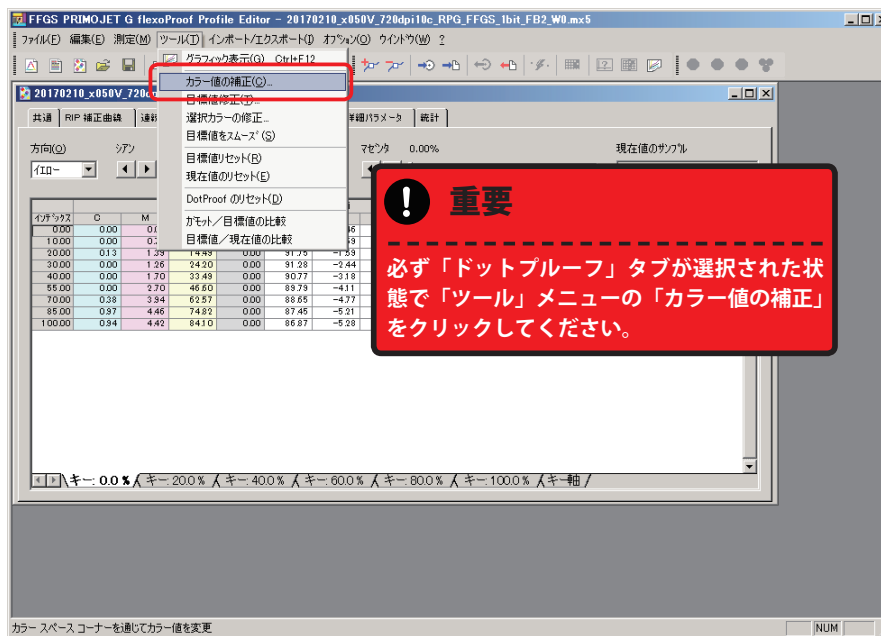
「方向」から「イエロー」を選択します (①)。また、他成分のスライダーが 0.00% (一番左) になっていることを確認してください (※ ②)。これからイエローに含まれるマゼンタの数値を増やしていきます。後続作業の為、この時点でマゼンタの数値を控えておくと効果が分かりやすいです (③)。

※) イエローの単色グラデーションにマゼンタを足すことを例としている為です。



6

「ドットプルーフ」タブを選択した状態で「ツール」メニューから「カラー値の補正」をクリックします。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

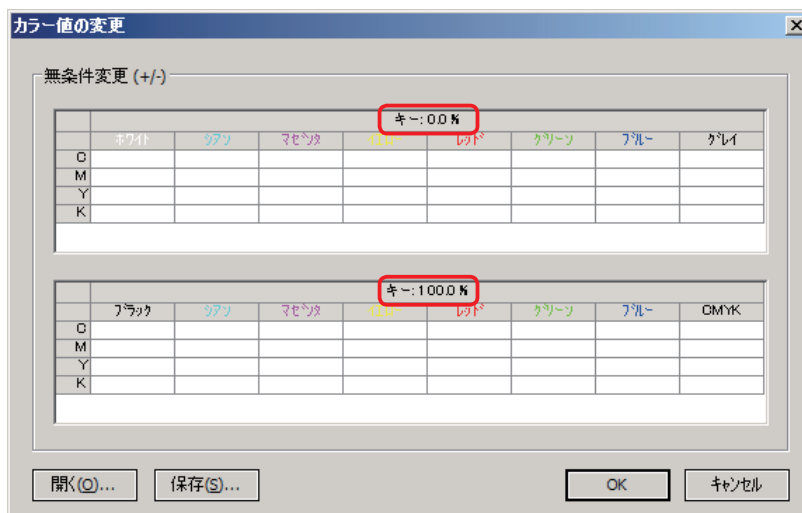
4章

その他

5章

7

「カラー値の変更」ウィンドウが表示されます。このウィンドウで調整します。2つの表のうち、上部にある「キー：0.0%」は各色BK0%、「キー：100.0%」は各色BK100%の部分を示しており、各々の要素は次ページにまとめた通りです。



各成分の要素

	ホワイト	シアン	マゼンタ	イエロー	レッド	グリーン	ブルー	グレイ
キー： 0.0%	C : 0%	C : 100%	C : 0%	C : 0%	C : 0%	C : 100%	C : 100%	C : 100%
	M : 0%	M : 0%	M : 100%	M : 0%	M : 100%	M : 0%	M : 100%	M : 100%
	Y : 0%	Y : 0%	Y : 0%	Y : 100%	Y : 100%	Y : 100%	Y : 0%	Y : 100%
	K : 0%	K : 0%	K : 0%	K : 0%	K : 0%	K : 0%	K : 0%	K : 0%

	ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー	レッド	グリーン	ブルー	グレイ
キー： 100.0%	C : 0%	C : 100%	C : 0%	C : 0%	C : 0%	C : 100%	C : 100%	C : 100%
	M : 0%	M : 0%	M : 100%	M : 0%	M : 100%	M : 0%	M : 100%	M : 100%
	Y : 0%	Y : 0%	Y : 0%	Y : 100%	Y : 100%	Y : 100%	Y : 0%	Y : 100%
	K : 0%	K : 100%	K : 100%	K : 100%	K : 100%	K : 100%	K : 100%	K : 100%

STEP 3 調整カラー値を入力・調整

8

ここでは例としてキー：0.0%の「イエロー」の中の「M」成分に3と入力します。

無条件変更 (+/-)

キー: 0.0%

	ホワイト	シアン	マゼンタ	イエロー	レッド	グリーン	ブルー	グレイ
C								
M				3.00				
Y								
K								

キー: 100.0%

	ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー	レッド	グリーン	ブルー	CMYK
C								
M								
Y								
K								

開く(O)... 保存(S)... OK キャンセル

1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

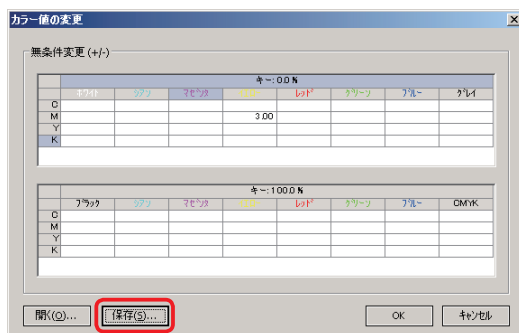
3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

参考

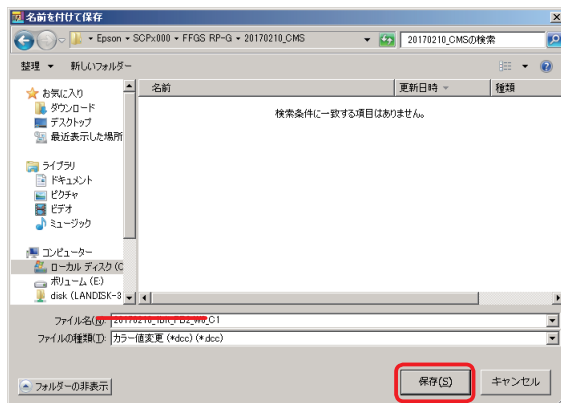
「カラー値の補正」ウィンドウを一度閉じてしまうと、次に開いた際、前回の数値は残っていません。調整経緯を残しておきたい場合は「保存」をクリックすると情報ファイルを外部に書き出すことが可能です。



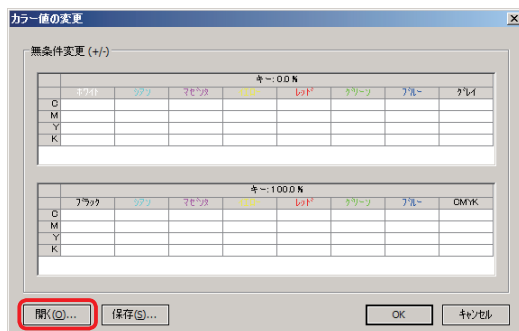
どのプロファイルに対する調整経緯ファイルが分かるよう、プロファイルと同じ名前をつけて「保存」をクリックします。

例) xxxxxx_x050V_720dpi10c_RPG_FFGS_1bit_FB2_W0_C1.dcc

(C=Correction/ 補正の略)



保存したファイルを開く際は「開く」をクリックし、保存したファイル (dcc という拡張子がついたファイル) を選択すると調整経緯を呼び出すことができます。



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

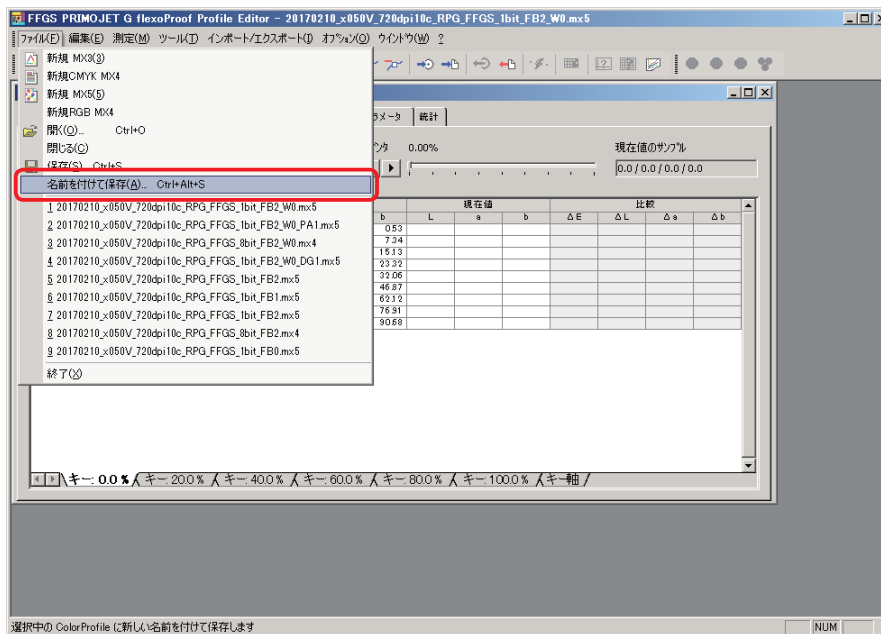
プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

STEP 4 名前を付けてプロファイルを別名保存**8**

調整が終わったら「ファイル」メニューから「名前をつけて保存」をクリックします。



1章

事前準備

2章

プロファイルの作成

3章

プロファイルの修正

4章

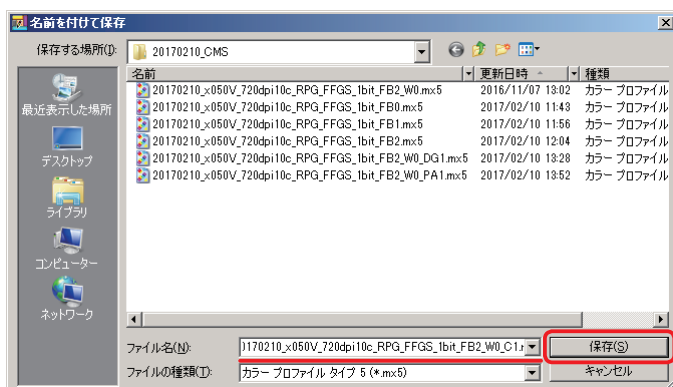
プロファイルの適用

5章

その他

9

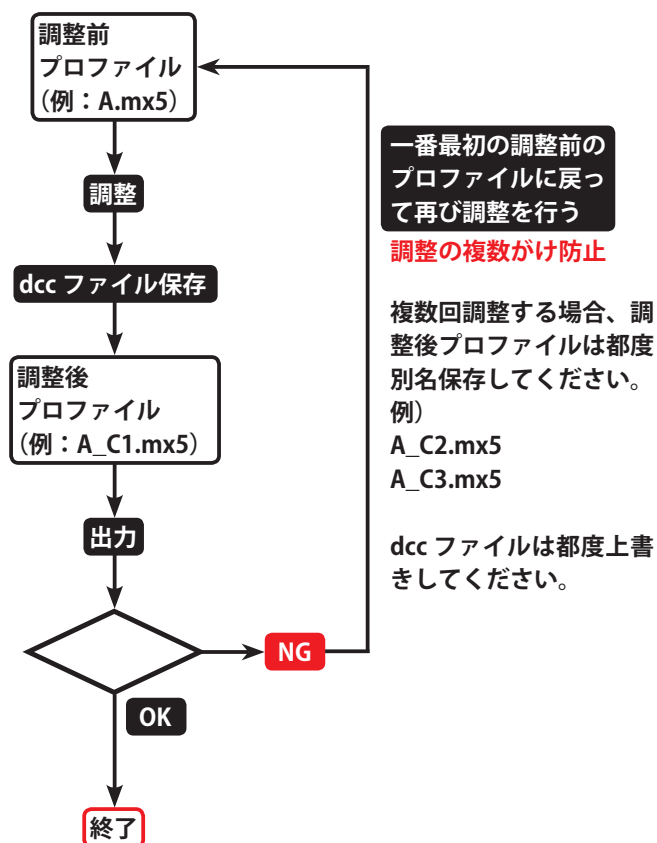
調整したことが分かるような名称を入力し、「保存」をクリックします。

例) xxxxxx_x050V_720dpi10c_RPG_FFGS_1bit_FB2_W0_C1.mx5
(C=Correction/ 補正の略)**重要**

調整経緯を保存した dcc ファイルを活用し、複数回に渡って調整を行う場合、注意点があります。次頁のチャート図をご参照ください。

STEP 5 **STEP 4** のプロファイルをジョブに適用して出力確認**10** 出力確認を行ってください。**dcc ファイル使用時の注意点**

出力結果を確認した上で更に調整を加える場合、一度部分調整したプロファイルに対し dcc ファイルを開いて調整すると、二重に調整がかかってしまいます。必ず調整する前のプロファイルに対し dcc ファイルを開いて調整を続けてください。

事前準備 **1**章プロファイルの作成 **2**章プロファイルの修正 **3**章プロファイルの適用 **4**章その他 **5**章

調整前後の数値変化

例 イエローのグラデーション全体に赤みを足したい

調整前

インテックス	カラー				目標値			現在値	
	C	M	Y	K	L	a	b	L	a
0.00	0.22	0.61	2.58	0.00	92.74	-0.09	1.07		
10.00	0.39	1.42	5.99	0.00	92.33	-0.59	7.24		
20.00	0.17	1.78	14.25	0.00	91.75	-1.59	15.13		
30.00	0.00	2.17	22.18	0.00	91.28	-2.44	23.04		
40.00	0.00	2.40	30.02	0.00	90.77	-3.18	31.34		
55.00	0.00	3.42	43.94	0.00	89.79	-4.11	45.43		
70.00	0.00	4.35	59.94	0.00	88.65	-4.77	60.35		
85.00	1.41	5.35	74.38	0.00	87.36	-5.21	75.50		
100.00	0.95	3.48	88.00	0.00	86.87	-5.28	90.68		

調整後

インテックス	カラー				目標値			現在値	
	C	M	Y	K	L	a	b	L	a
0.00	0.22	0.61	2.58	0.00	92.74	-0.09	1.07		
10.00	0.39	1.72	5.99	0.00	92.33	-0.59	7.24		
20.00	0.17	2.38	14.25	0.00	91.75	-1.59	15.13		
30.00	0.00	3.07	22.18	0.00	91.28	-2.44	23.04		
40.00	0.00	3.60	30.02	0.00	90.77	-3.18	31.34		
55.00	0.00	5.07	43.94	0.00	89.79	-4.11	45.43		
70.00	0.00	6.45	59.94	0.00	88.65	-4.77	60.35		
85.00	1.41	7.90	74.38	0.00	87.36	-5.21	75.50		
100.00	0.95	6.48	88.00	0.00	86.87	-5.28	90.68		

今回の例では、「イエロー」の中の「M」100%部分が「3.48」から「6.48」に+3%の変動をしており、そこからライト側に向けてなだらかに変化しています。

1章 事前準備

2章 プロファイルの作成

3章 プロファイルの修正

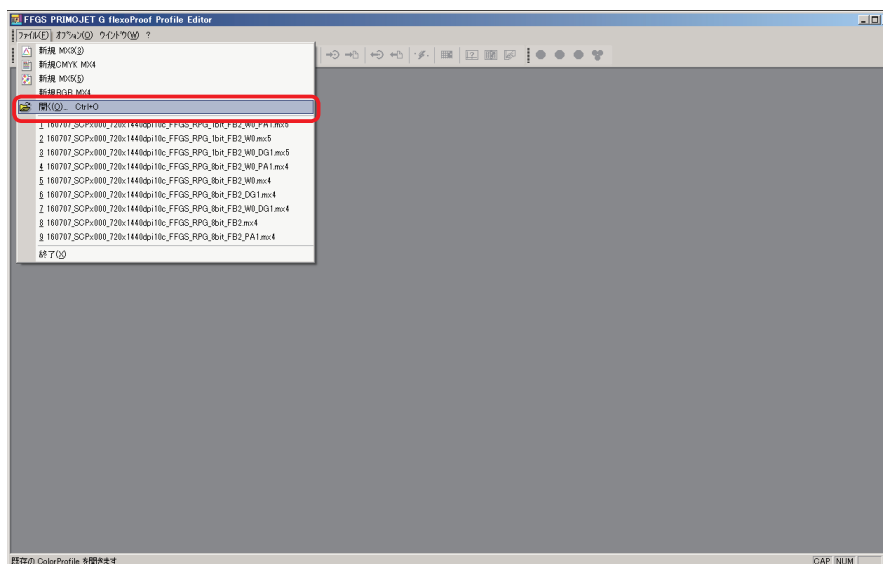
4章 プロファイルの適用

5章 その他

8bit プロファイル (mx4) でカラー値の補正をする場合

1

「ファイル」メニューから「開く」をクリックします。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

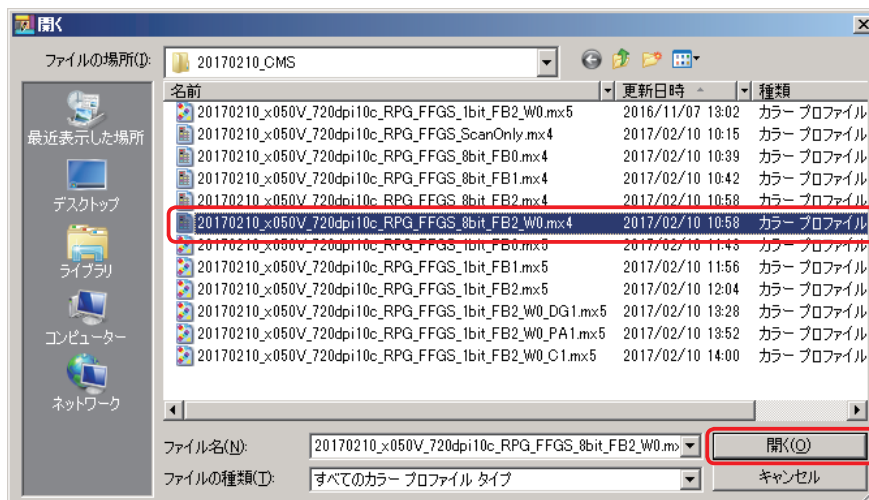
4章

その他

5章

2

調整したいプロファイル (*.mx4) を選択し、「開く」をクリックします。



MEMO

4 章

プロフィールの適用

- 4-1 新規プルーフスタンダードを作成する ...P122
- 4-2 ホットフォルダに適用する ...P128

4章

1

新規プルーフスタンダードを作成する

HOW TO

以下の手順に従って操作してください。

参考

新規プルーフスタンダードを作成する方法をご説明していますが、既存のプルーフスタンダードを変更しても構いません。

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

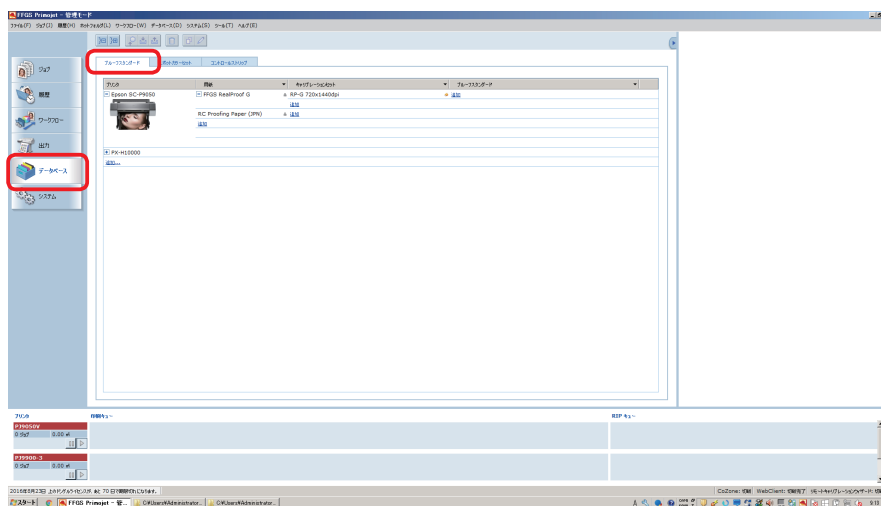
4章

その他

5章

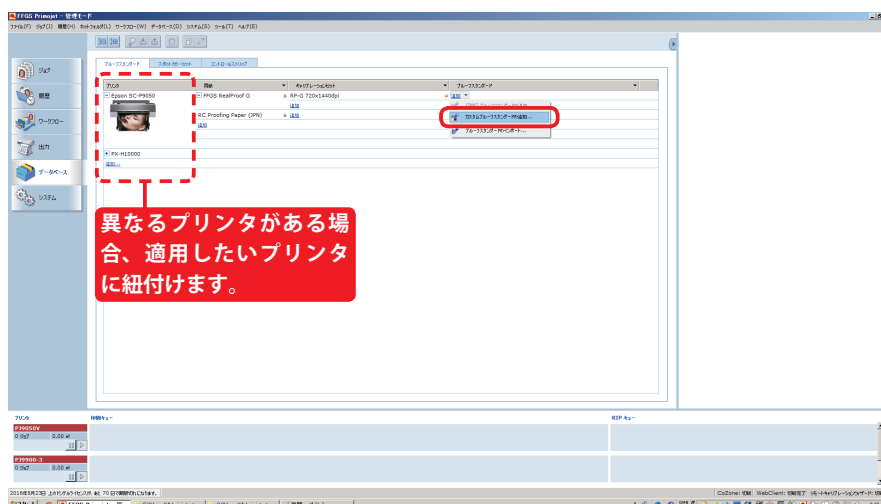
1

「データベース」ビューの「プルーフスタンダード」タブをクリックします。



2

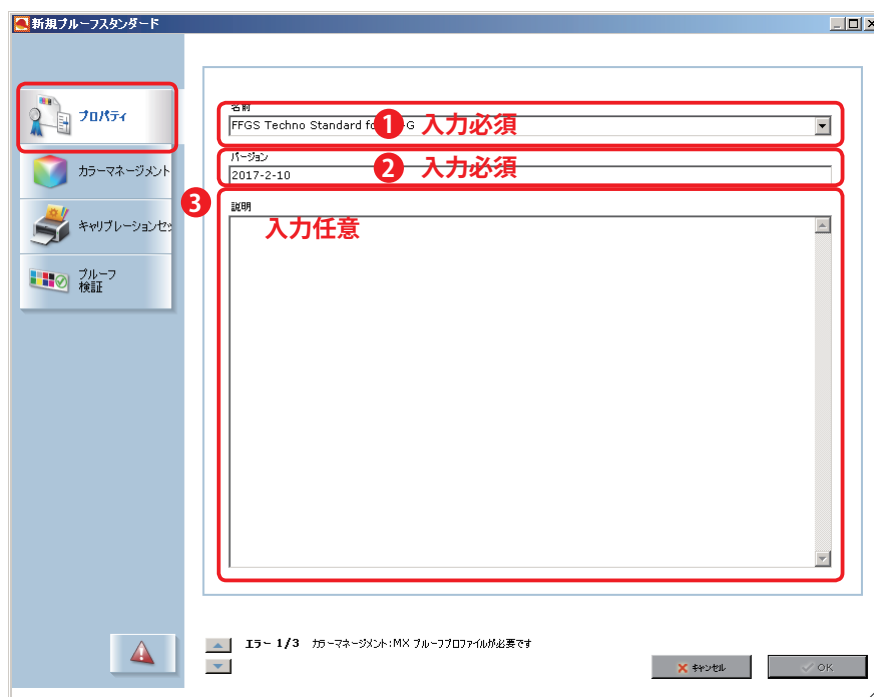
「プルーフスタンダード」の「追加」から「カスタムプルーフスタンダードの追加」をクリックします。異なる機種プリンタがある場合、適用したいプリンタの右側にある「プルーフスタンダード」の「追加」から「カスタムプルーフスタンダードの追加」をクリックします。



3

下図ウィンドウが表示されたら、「プロパティ」ビューの「名前(1)」に任意の名称を、「バージョン(2)」に日付を記入します。

※「説明(3)」欄には自由にコメントを記入することが出来ます。




1 事前準備

2 プロファイルの作成

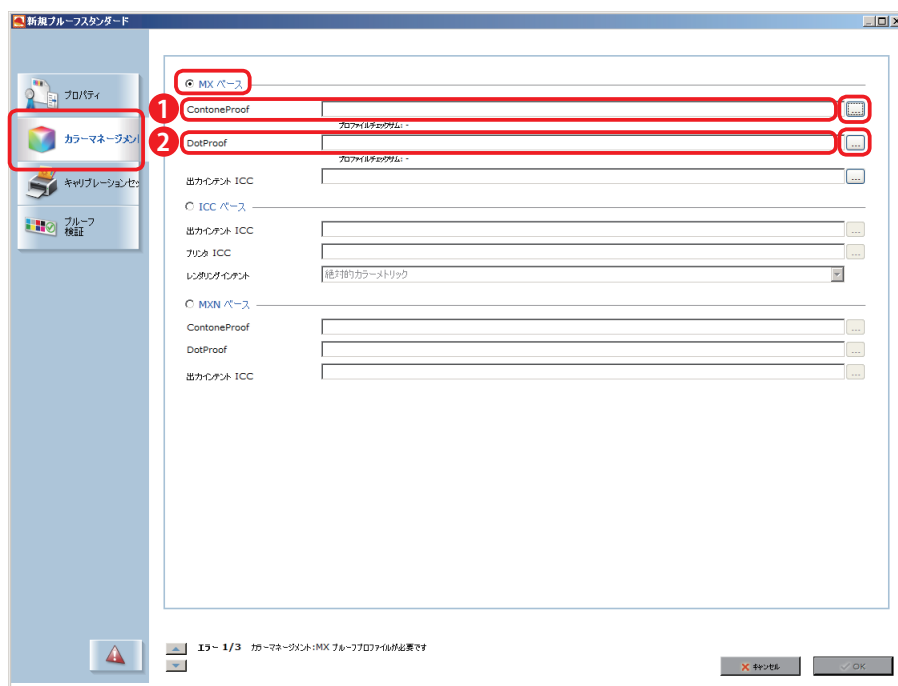
3 プロファイルの修正

4

「カラーマネージメント」ビューの「MX ベース」にチェックが入っていることを確認し、「ContoneProof(1)」と「DotProof(2)」の  をそれぞれクリックします。

1 「ContoneProof」・・・ 8bit 用プロファイル (= mx4) を適用

2 「DotProof」・・・ 1bit 用プロファイル (= mx5) を適用

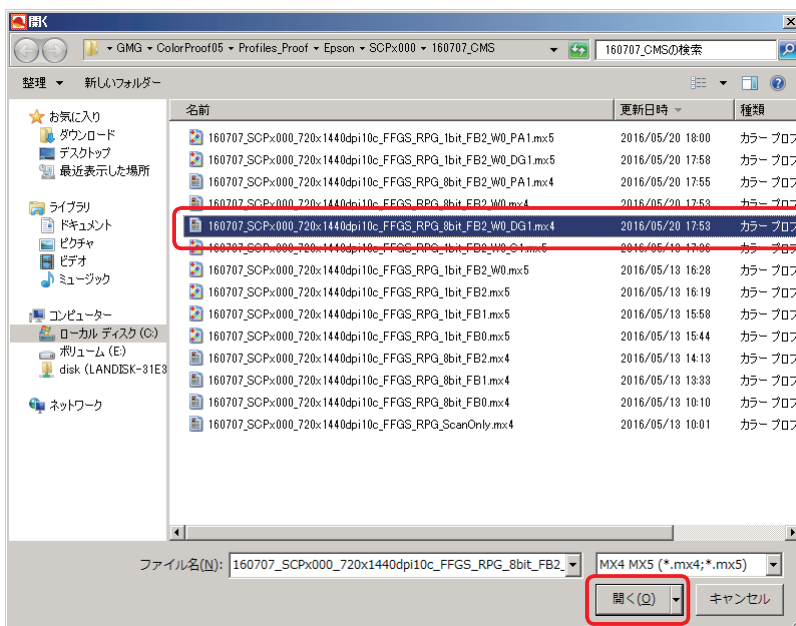


4 プロファイルの適用

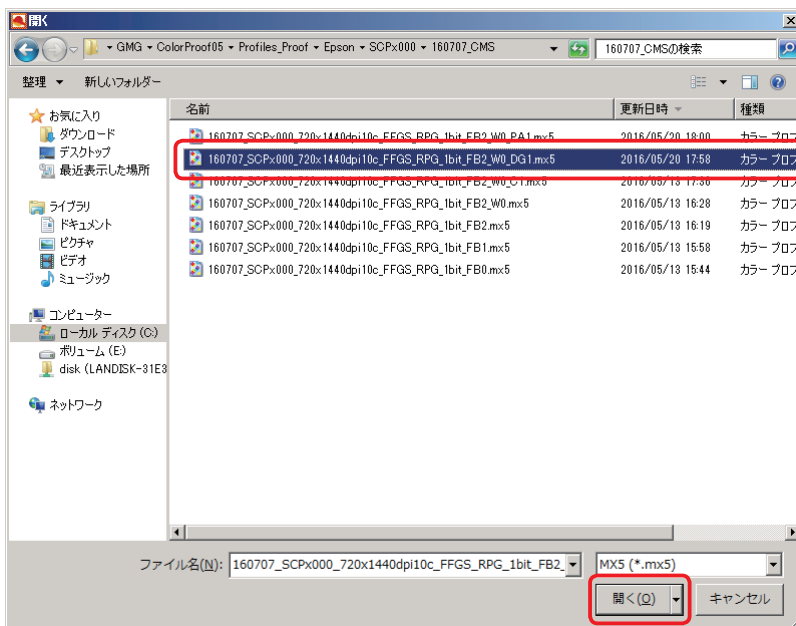
5 その他

5 「ContoneProof」には mx4 を、「DotProof」には mx5 を選択し、「開く」をクリックします。

ContoneProof mx4

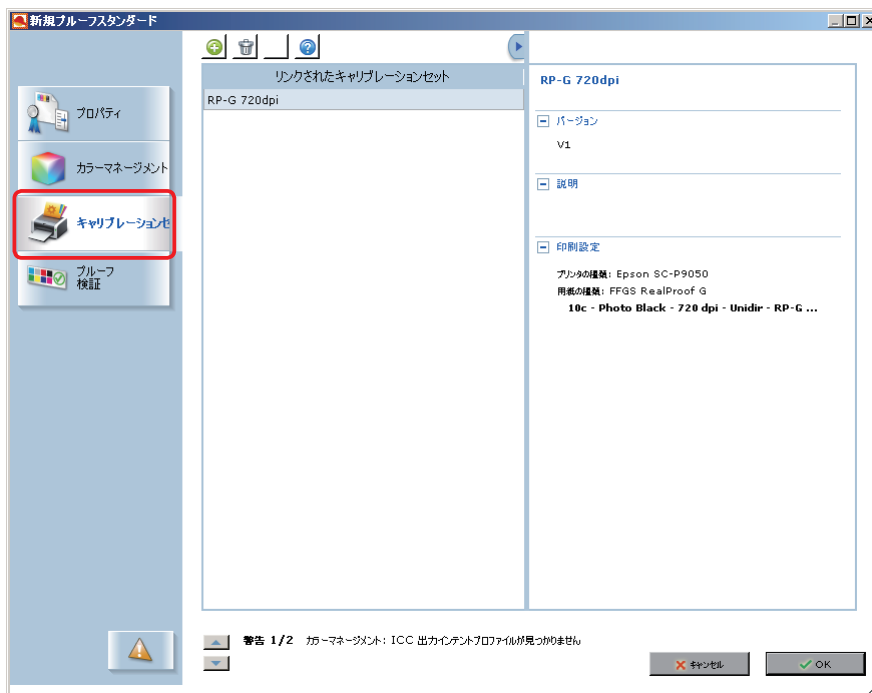


DotProof mx5



6

「キャリブレーションセット」ビューは既に選択されているので、設定する必要はありません。



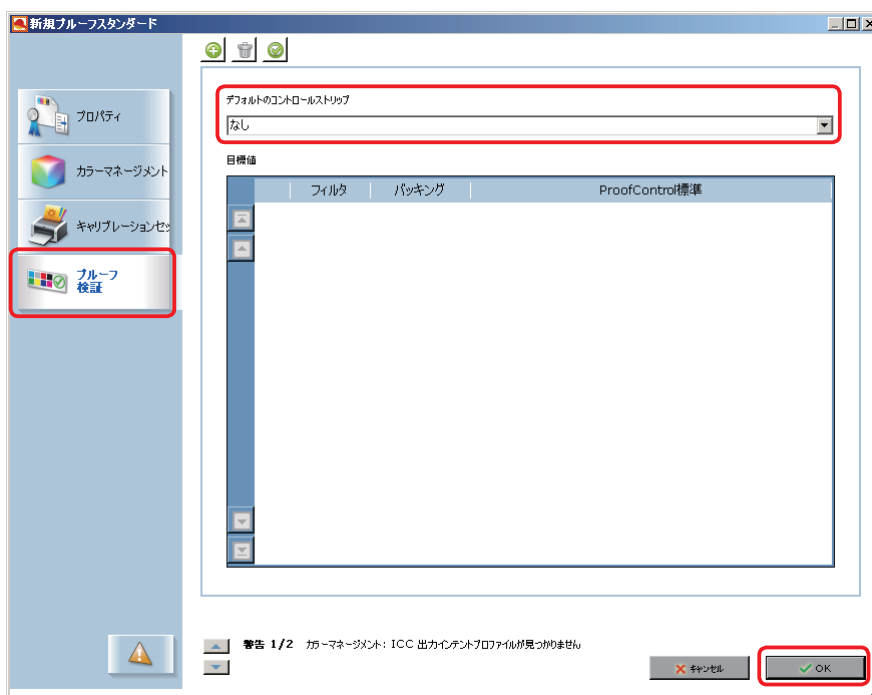
1 事前準備

2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

7

「ブーフ検証」ビューの「デフォルトのコントロールストリップ」は「なし」を選択し、「OK」をクリックします。

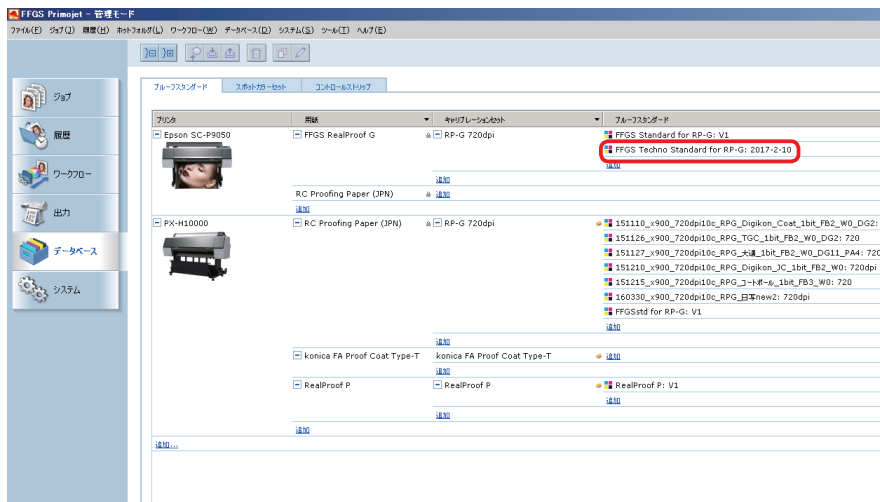


4 プロファイルの適用

5 その他

8

新たにプルーフスタンダードが作成されました。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

4章

その他

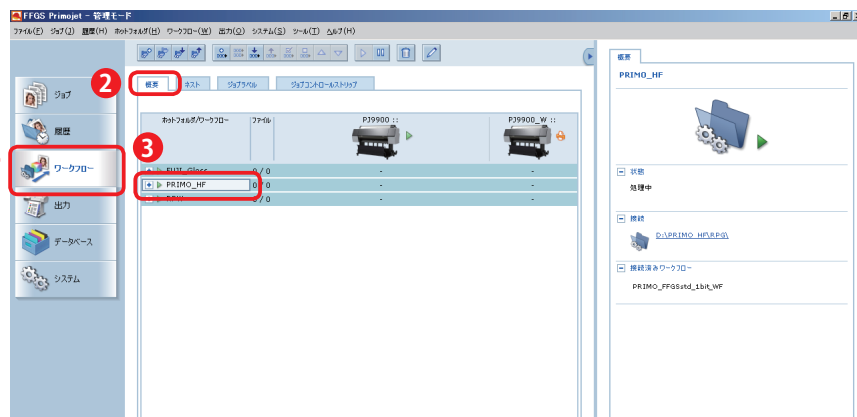
5章

MEMO

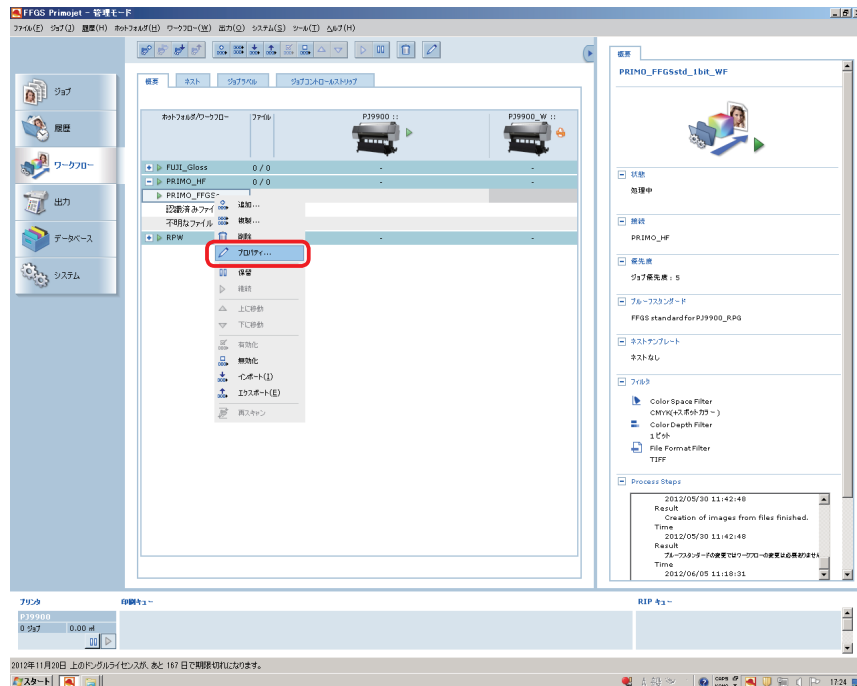
4章 2 ホットフォルダに適用する

HOW TO 以下の手順に従って操作してください。

1 「ワークフロー」ビュー (1) の「概要」タブ (2) で、適用したいホットフォルダの「+」アイコン (3) をクリックし「-」表記に展開します。



2 「-」展開するとホットフォルダに紐付いた「ワークフロー」が表示されますので、その上で右クリック→「プロパティ」をクリックします。



事前準備 1章

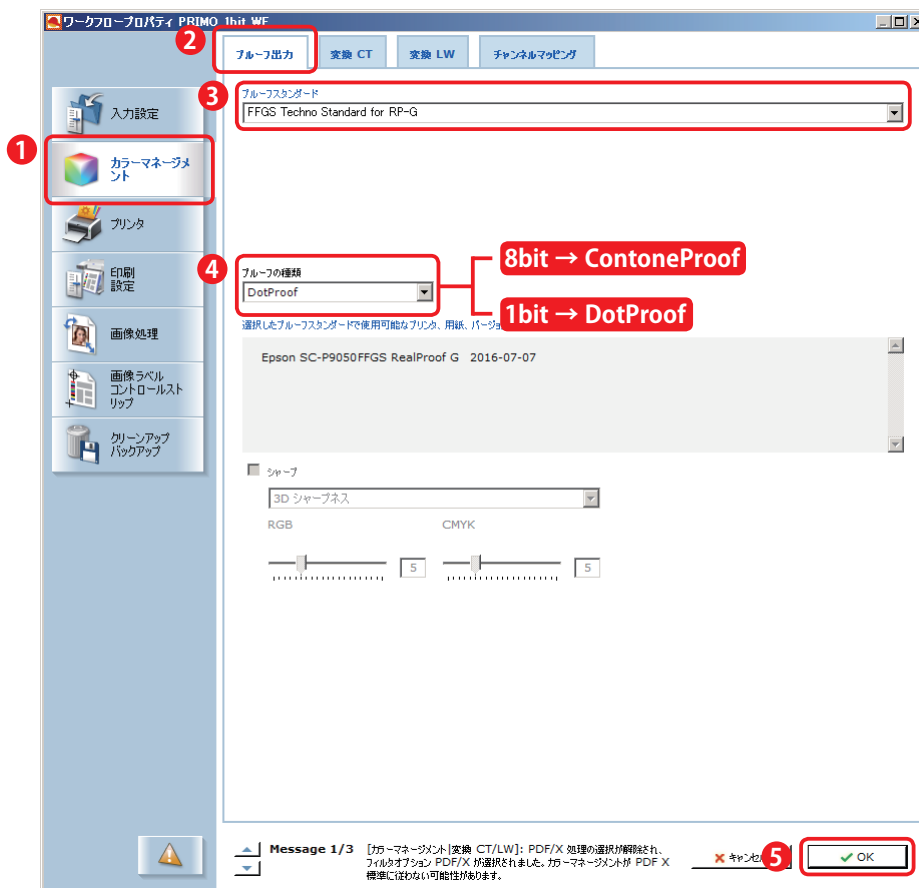
プロファイルの作成 2章

プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

- 3** 「カラーマネージメント」ビュー (1) の「プルーフ出力」タブ (2) をクリックし、「プルーフスタンダード (3)」から前章で作成したプルーフスタンダードを選択します。その際、「プルーフの種類 (4)」は 8bit 運用の場合「ContoneProof」、1bit 運用の場合は「DotProof」を選択します。「OK (5)」をクリックします。



- 4** PRIMOJET SOFT-XG を一度終了し、再度起動した後、出力確認を行ってください。
※変更したプルーフスタンダードに設定されたプロファイルのリンク先を正しく認識させる為。

1 章 事前準備

2 章 プロファイルの作成

3 章 プロファイルの修正

4 章 プロファイルの適用

5 章 その他

MEMO

5 章

その他

- 5-1 目標値をエクスポート/インポートする ...P132
- 5-2 icc プロファイルをインポートするP136
- 5-3 各測色器の動作についてP142

5章

1

目標値をエクスポート / インポートする

HOW TO

以下の手順に従って操作してください。

参考

旧バージョンのソフト及びプリンター（PJ7900、PJ9900）で使用していたプロファイルのターゲット測色値を新たなプロファイルに移殖し、新たな環境でプロファイルを作成することで、バージョンや異なるプリンター環境でも同等の色再現を実現することが出来ます。

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

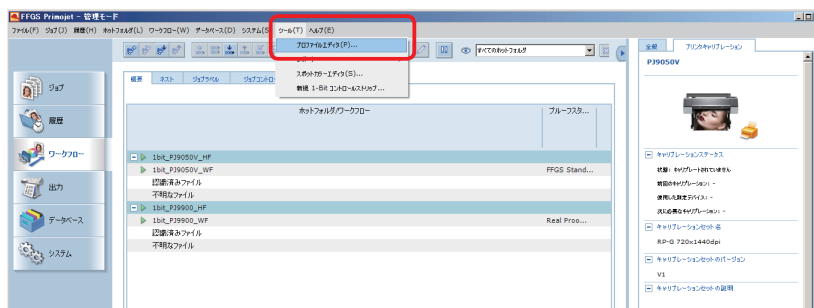
プロファイル
の適用

4章

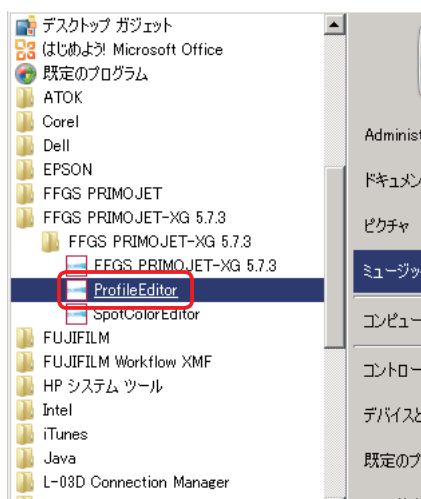
その他

5章

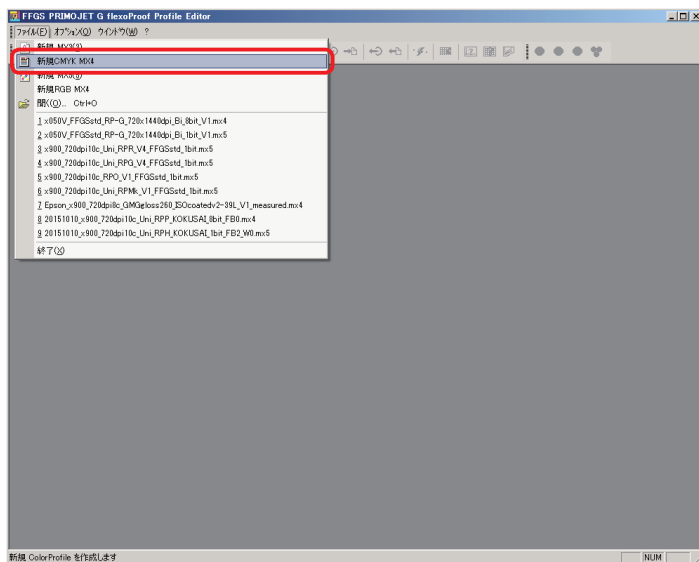
- PRIMOJET SOFT-XG の「ツール」メニューから「プロファイルエディタ」をクリックします。



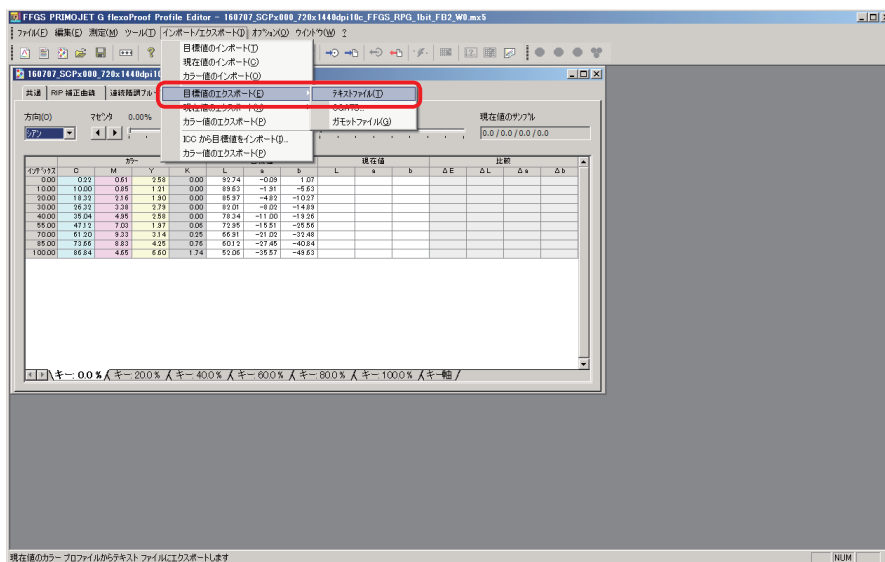
もしくは、Windows の「スタート」メニューから「FFGS PRIMOJET-XG 5.x.x」下の「ProfileEditor」をクリックします。



- 2** プロファイルエディタ (= FFGS PRIMOJET G flexProof Profile Editor) が起動したら、「ファイル」メニューから「新規 CMYK MX4」をクリックします。



- 3** 新規 mx4 プロファイルを作成したら、「4d カラースペース」タブを選択した状態で「インポート / エクスポート」メニューから「目標値のエクスポート」-「テキストファイル」をクリックします。



1 事前準備

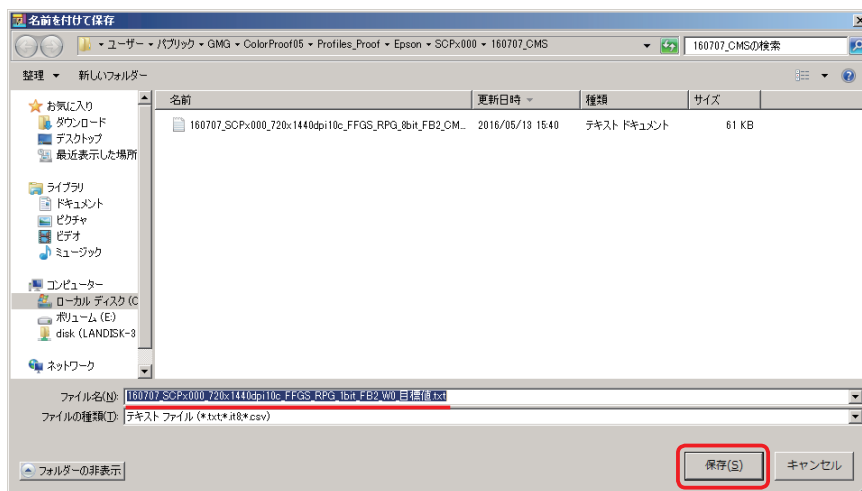
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

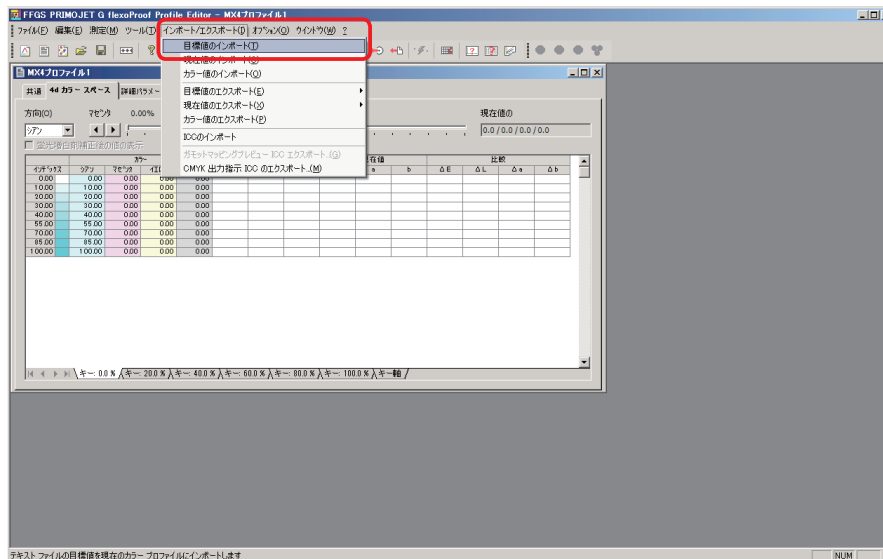
4 プロファイルの適用

5 その他

- 4** プロファイルが保存されている階層と同じ階層が表示されますので、そのまま「保存」をクリックします。「ファイル名」は基本変更する必要はありませんが、任意に変更することも出来ます。



- 5** 新規 mx4 プロファイルを作成し、「4d カラースペース」タブをクリックした状態で「インポート / エクスポート」メニューから「目標値のインポート」をクリックします。



事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

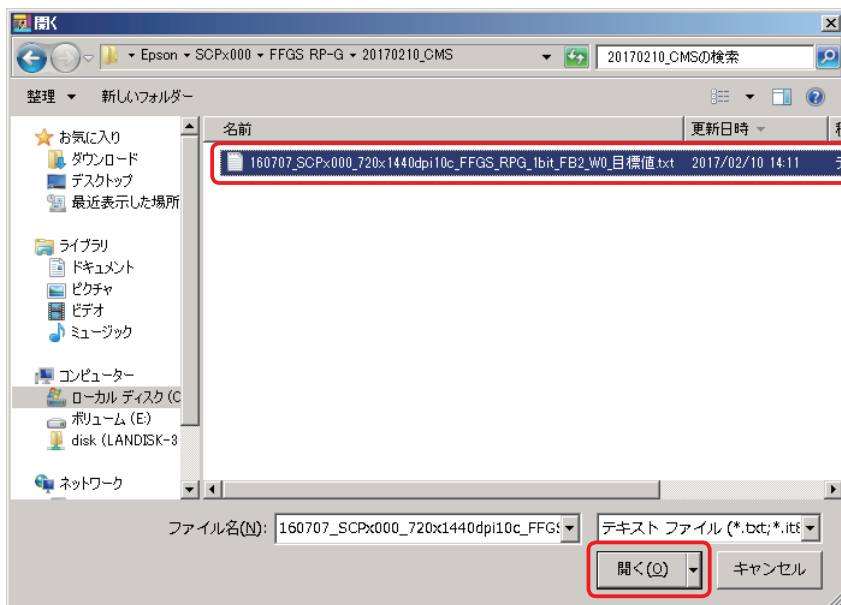
プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

その他 5章

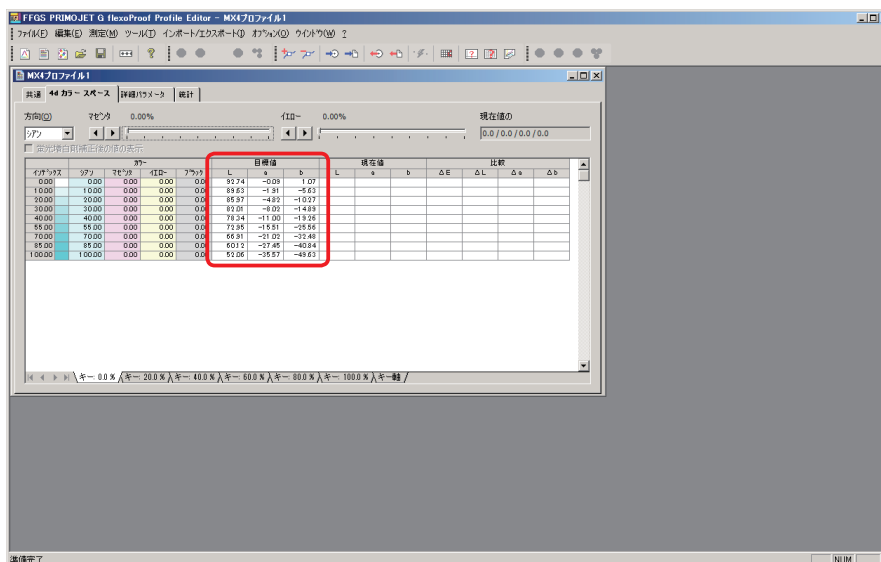
6

4番で保存したテキストファイルを選択し、「開く」をクリックします。



7

新たなプロファイルに目標値がインポートされました。ここから本書に沿ってプロファイル作成を行ってください。



1章

事前準備

2章

プロファイル
の作成

3章

プロファイル
の修正

4章

プロファイル
の適用

5章

その他

5章
2

ICC プロファイルをインポートする

HOW TO

以下の手順に従って設定してください。

参考

JapanColor への色合わせなどターゲットの測色値が ICC プロファイルで存在する場合、ICC プロファイルのインポート機能を使って新たなプロファイルに目標値として取り込むことができます。ただし、他のデバイスで色合わせする為に演算を行った後の ICC プロファイルに関しては、元々の目標値から変化している為使用出来ません。

【測色フィルターについて】

JapanColor プルーフ運用認証取得を前提としたプロファイル作成を行う場合は、測色器により以下のフィルターを設定してください。

- iSis・iSis2** 「M2 (UV-Cut)」推奨
- i1i0** Eye-One の種類により「M0 (UV-Cut なし)」か「M2 (UV-Cut)」
- i1i02** 「M0 (UV-Cut なし)」推奨

事前準備 1章

プロファイルの作成 2章

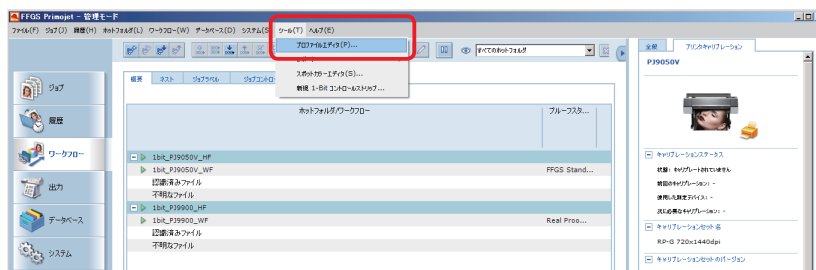
プロファイルの修正 3章

プロファイルの適用 4章

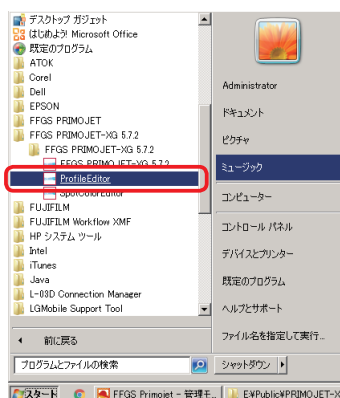
その他 5章

1

PRIMOJET SOFT-XG の「ツール」メニューから「プロファイルエディタ」をクリックします。

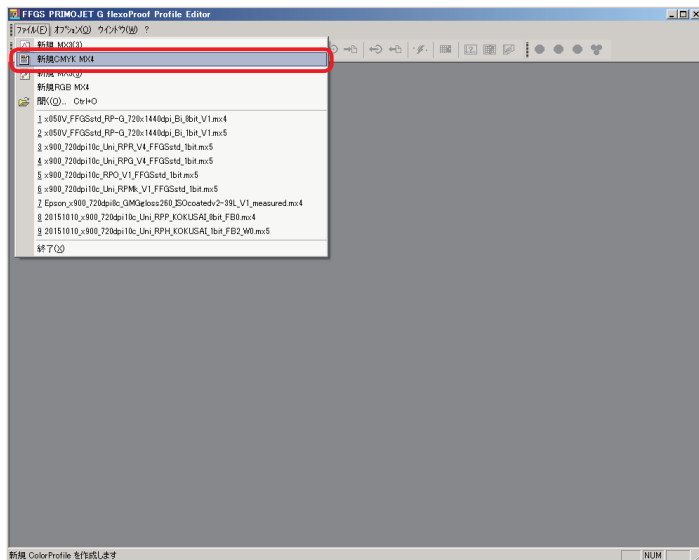


もしくは、Windows の「スタート」メニューから「FFGS PRIMOJET-XG 5.x.x」下の「ProfileEditor」をクリックします。



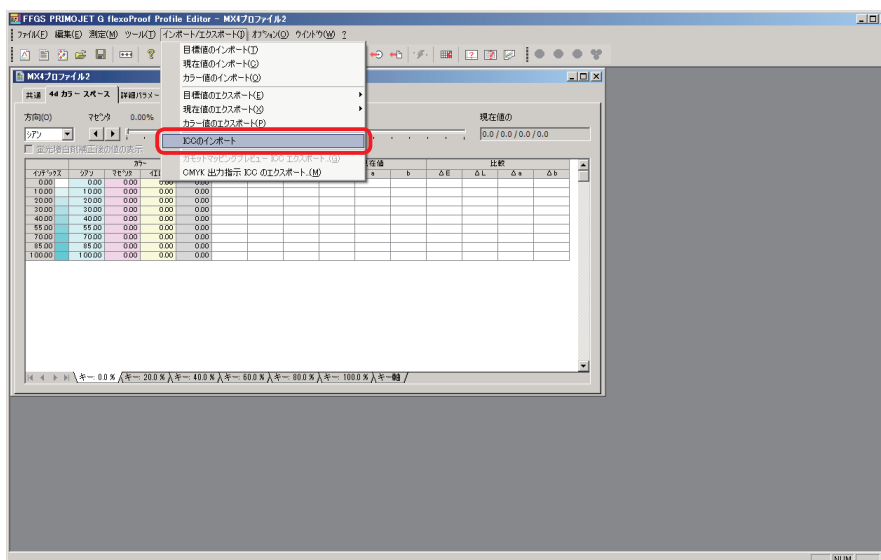
3

プロファイルエディタ (= FFGS PRIMOJET G flexProof Profile Editor) が起動したら、「ファイル」メニューから「新規 CMYK MX4」をクリックします。



4

新規 mx4 プロファイルを作成したら、「4d カラースペース」タブを選択した状態で「インポート / エクスポート」メニューから「ICC のインポート」をクリックします。



1章

事前準備

2章

プロファイルの作成

3章


プロファイルの修正

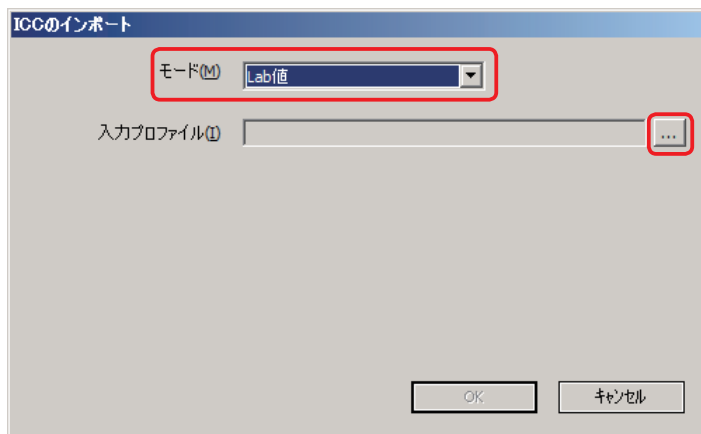
4章


プロファイルの適用

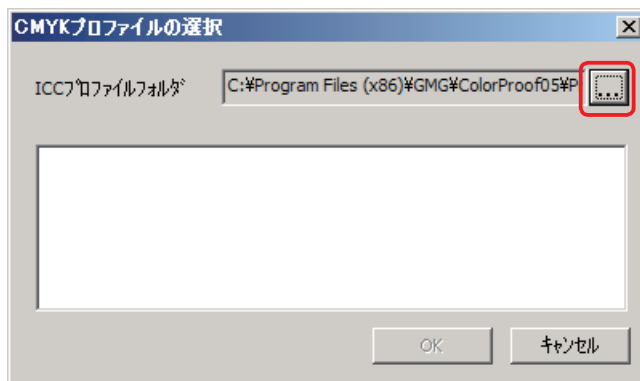
5章

その他

- 5 以下のウィンドウが表示されたら、「モード」から「Lab 値」を選択し、 をクリックします。



- 6 以下のウィンドウが表示されたら  をクリックします。



- 7 入力する ICC プロファイルが保存されたフォルダを選択し、「OK」をクリックします。



事前準備 1章

1章

プロファイルの作成 2章

2章

プロファイルの修正 3章

3章

プロファイルの適用 4章

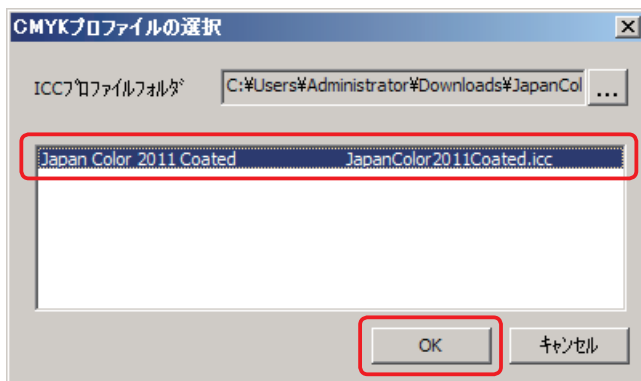
4章

その他 5章

5章

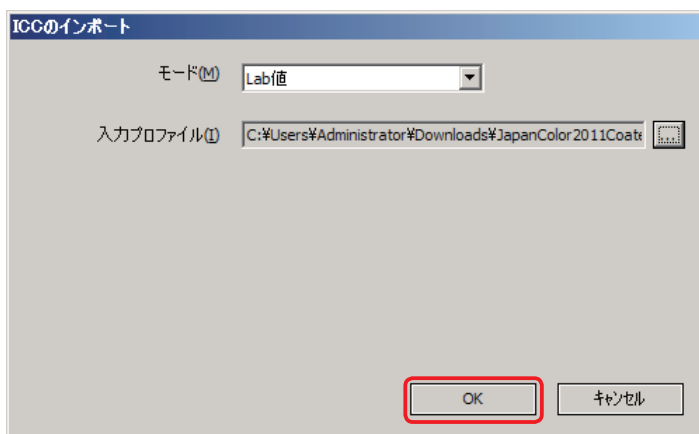
8

ICC プロファイルが表示されますので「OK」をクリックします。



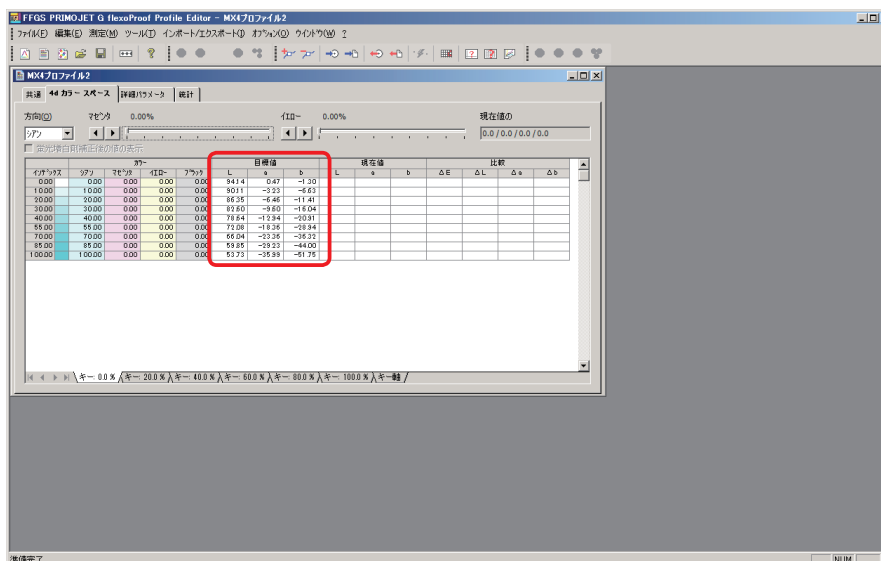
9

以下のウィンドウに戻ったら「OK」をクリックします。



10

ICC プロファイルから「目標値」が取り込まれます。



1章

事前準備

2章

プロファイルの作成

3章

プロファイルの修正

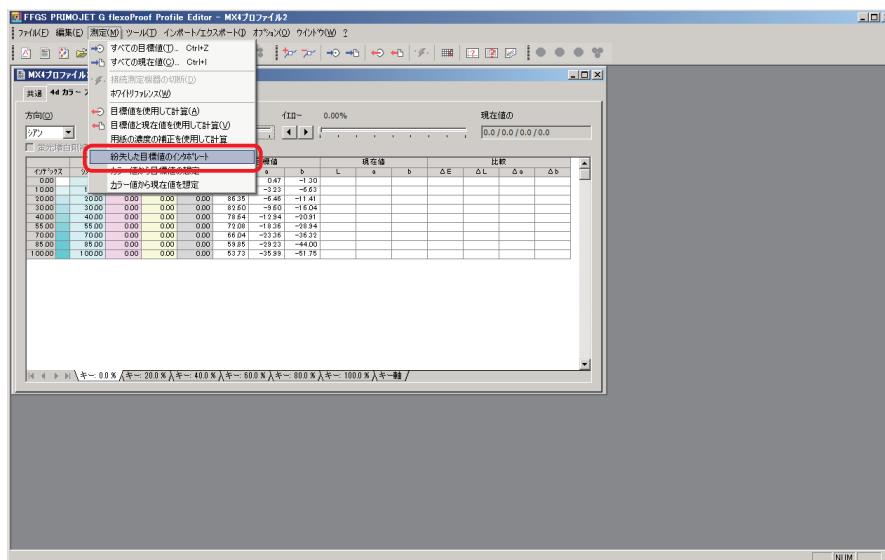
4章

プロファイルの適用

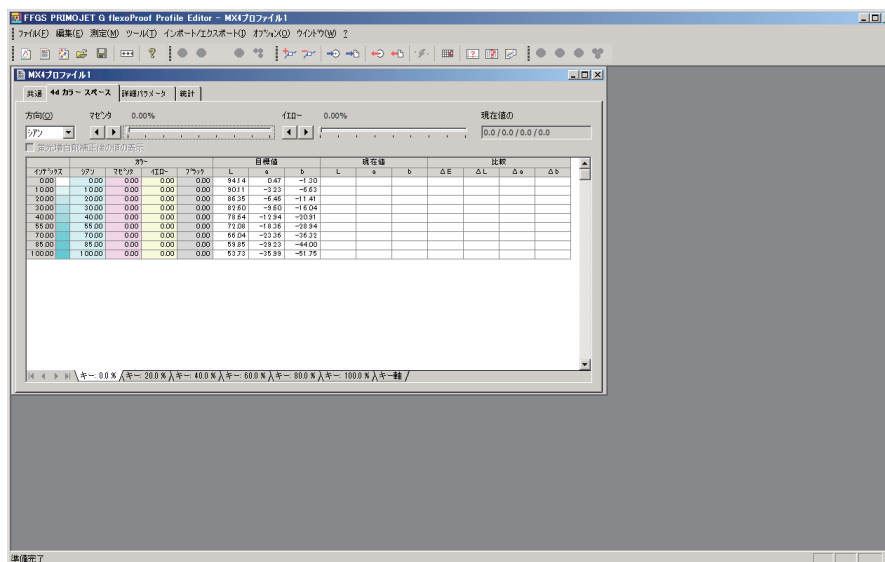
5章

その他

- 11** 「測定」メニューから「紛失した目標値のインタポレート」をクリックします。取り込んだICCプロファイルの中にソフトが必要とする測色データが存在しない時、そのパッチデータをシミュレートし補完する機能です。



- 12** ICCプロファイルから目標値がインポートされました。ここから本書に沿ってプロファイル作成を行ってください。



MEMO

5章

3

各測色器の動作について

HOW TO



本書は i1i0/i1i02 の使用を想定していますが、i1 iSis/iSis2 の場合、測色時の動作に若干差異があります。

参考



i1i0/もしくはi1i02 をお使いの場合、本書手順通り操作してください。本書はそれらに即して説明しています。

事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

プロファイル
の適用

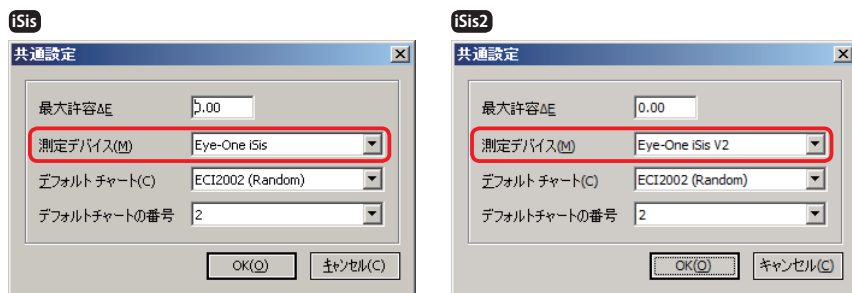
4章

その他

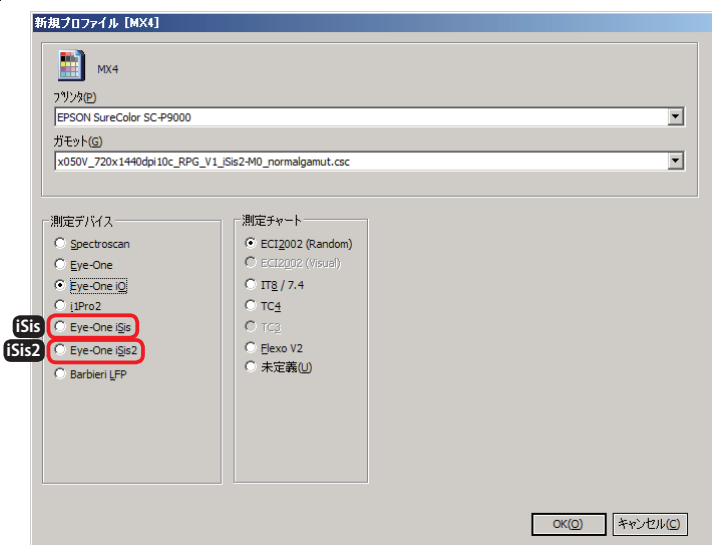
5章

11 iSis/iSis2

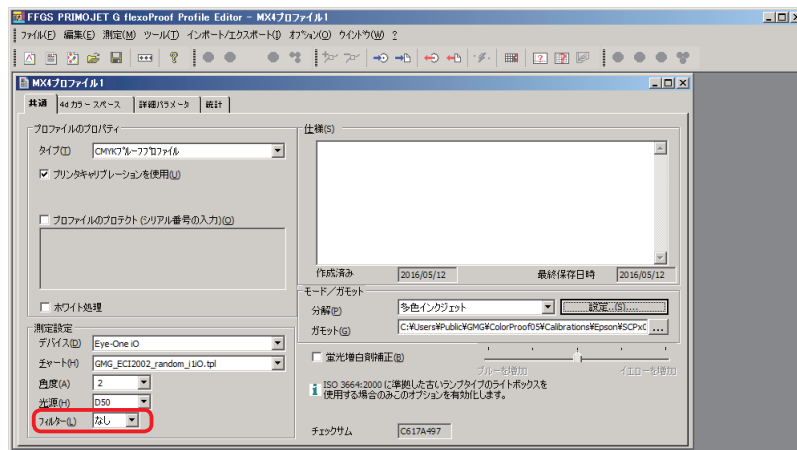
- 1** 「共通設定」の「測定デバイス」は iSis → 「Eye-One iSis」、iSis2 → 「Eye-One iSis V2」を選択します。



- 2** 「新規プロファイル」の「測定デバイス」は iSis → 「Eye-One iSis」、iSis2 → 「Eye-One iSis V2」を選択します。



- 3** 「フィルター」から「UV-Cut」を選択します。



1 事前準備

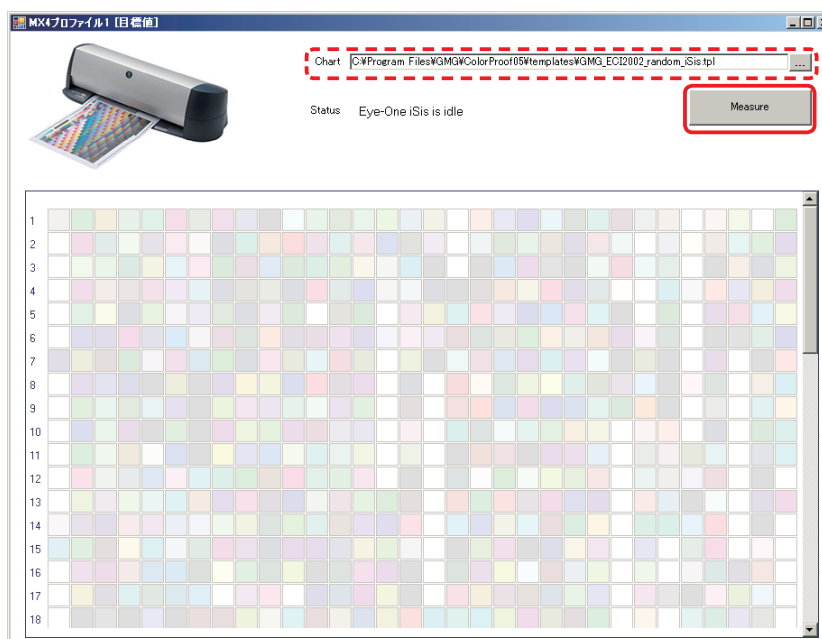
2 プロファイルの作成

3 プロファイルの修正

4 プロファイルの適用

5 その他

- 4** 測色ウィンドウが表示されたら「Measure」をクリックします。「Insert Chart」というメッセージが表示されたらチャートを所定の位置にセットします。
※「Chart」には iSis のテンプレートファイルが選択されていることを確認。



事前準備

1章

プロファイル
の作成

2章

プロファイル
の修正

3章

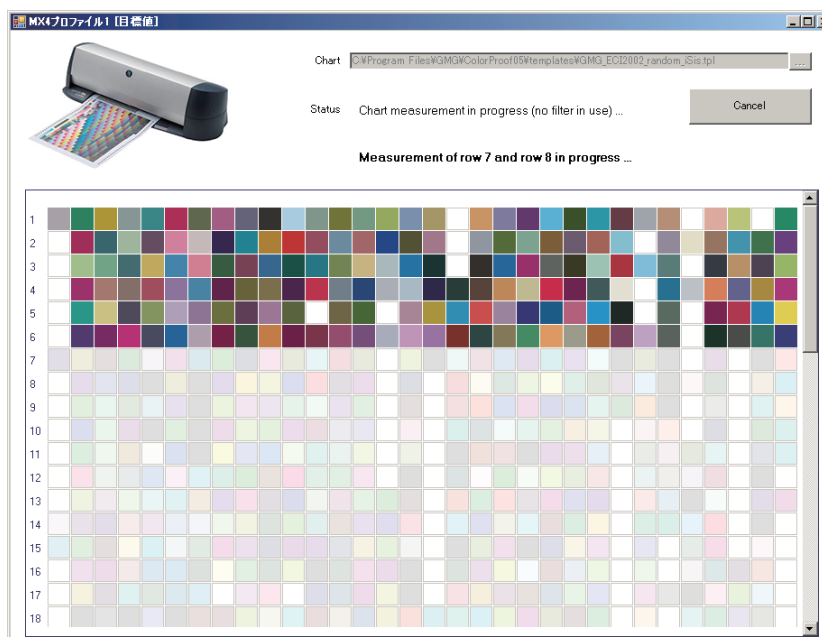
プロファイル
の適用

4章

その他

5章

- 5** チャートが搬送され、測色が始まります。



- 6** 自動的に測色ウィンドウが閉じ、プロファイルに測色値が反映されます。

MEMO

「FFGS サポートタウン」のご案内

「FFGS サポートタウン」は、FFGS が提供する各種ソフトウェア製品の便利な機能、困ったときの解決策など、お仕事で役立つさまざまな活用情報をご案内するサポートサイトです。対象製品のサポートサービスにご契約頂くことで、本マニュアルを始め、技術情報の閲覧やアップデートのダウンロードなど、ユーザー様限定のコンテンツをご利用頂けます。
URL : <https://www.ffgs-sup.jp/town/>

PRIMOJET-XG プロファイルエディタ操作手順書

2017 年 2 月版

発行 富士フイルムGSテクノ株式会社

- 無断転載・コピーを禁じます。
- 乱丁、落丁本はお取り替え致します。

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布 2-26-30 富士フイルム西麻布ビル

富士フイルムGSテクノ株式会社

〒135-0053 東京都江東区辰巳 1-4-11 STビル辰巳別館